

設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ 設置者	コクリツダイガクホウジン シマネダイガク 国立大学法人 島根大学
フリガナ 大学の名称	シマネダイガク 島根大学 (Shimane University)
新設学部等において 養成する人材像	<p>【生物資源科学部】 ①生命科学、農林生産、食料、農業経営・経済、生態環境に関する幅広い知識と、生物資源を有効に活用できる技術や知識、さらに生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を有し、国際的視野に立って、これらを活用した産業・地方自治体に貢献できる人材を育成する。 ②自然豊かな環境のもとで、豊かな人間性と幅広い教養を築き、生命現象及び循環・再生の概念の理解に基づき、生物資源の利活用、生物生産技術の開発と普及、6次産業化、環境の保全・管理・修復などに関する専門知識を習得させる。さらに、これらの諸課題を解決するため、主体性、協調性及び高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動し、自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身に付けさせる。</p> <p>【生物資源科学部 生命科学科】 ①基本的生命現象を総合的に理解する能力と、生命・生物資源を解析する高度な技術を身につけ、それらの知識や技術を利用することにより社会に貢献できる人材を養成する。 ②生命科学・食品科学の分野の基礎から応用にわたる専門知識・技術を習得させ、社会の知的発展に貢献できる能力を培う。 ③大学院進学、生物関連産業、化学関連産業、食品・医薬品関連産業、教育界・教育関連産業で研究者・技術者、販売員、教員、学芸員等</p> <p>【生物資源科学部 農林生産学科】 ①農林産物に関する持続可能な生産技術や、農業経営・経済についての総合的な知識を身につけ、農林業がもたらす豊かな人間生活の実現に貢献できる人材を養成する。 ②農業生産の技術と農業経営、農畜産物の流通機構、森林環境の保全と修復についての知識と解析手法を習得させ、高品質化や生産効率の向上、産地形成や販売促進、六次産業化に応用するための課題解決能力を身に付けさせる。 ③食品関連企業、飼料・肥料・種苗関連企業、農業関係団体、流通関連企業、環境関連企業、農業自営、金融業、公務員、教員、大学院進学等</p> <p>【生物資源科学部 環境共生科学科】 ①環境調和型社会の確立を目指し土・水・生物などの資源の調査・評価及び生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を習得し社会に貢献できる人材を養成する。 ②人間と生物を取り巻く、山から海に至る広範囲の環境を創造・修復・保全・管理・利用するための高度な科学知識や技術を習得させる。 ③建設関連企業、設計コンサルタント企業、農業関連団体、流通関連企業、公務員、大学院進学等</p>
既設学部等において 養成する人材像	<p>【生物資源科学部】 ①生物・生命・生産・生活・環境に関する総合的な基礎学力や生物資源の利活用や生態環境を総合的に保全・管理するための技術や知識を有し、これらを活用した企業や地域社会に貢献できる人材を養成する。 ②自然豊かな環境を活用したフィールド教育等の体験を通じて、生物資源の利活用や生態環境を保全・管理するために必要とされる柔軟な思考力・実践力・課題解決能力・プレゼンテーション/コミュニケーション能力を身に付けさせる。</p> <p>【生物資源科学部 生物科学科】 ①生物の基本原則を明らかにし、生命現象の普遍性と多様性を理解して、教員や学芸員、生物関連産業での研究・開発・製造・販売等に従事する人材を養成する。 ②細胞内のタンパク質や核酸がもつ分子機能、細胞・組織・器官の生理現象、個体としての体のしくみなど、生命現象の普遍性に注目する領域と、発生・進化・遺伝といった時間の流れによって生み出される生物の多様性等に関する知識・技術を身につける。 ③大学院進学、生物関連産業、教育界・教育関連産業で研究者・技術者、教育者、販売員、学芸員等。</p> <p>【生物資源科学部 生命工学科】 ①生命そのものを科学するライフサイエンスと、生物の持ちうる力を最大限に引き出し共有していく技術であるバイオテクノロジーを身につけ、食品・医薬品の研究、開発、製造、販売等を行う人材を養成する。 ②ライフサイエンス、バイオテクノロジー等に関する知識や技術を修得するのに必要な教育を行ってきた。そのために、細胞生物学、有機化学、生化学、遺伝子工学の講義を通じた専門的な知識の提供と、基礎から最先端に至る実験等により、実践的な技術を身につけさせる。 ③大学院進学、生物関連産業、化学関連産業、食品・医薬品関連産業の研究者・技術者、販売員等。</p> <p>【生物資源科学部 農林生産学科】 ①国内外の農業生産現場での生産技術の向上、生産物の品質改善、新しい生産技術の開発に資する人材を育成する。 ②農畜林産業における生物の利用について基礎的に理解し、先進的な品種改良、生産技術の開発、生産管理を行うことができるための必要な教育を行ってきた。そのために、農業生産分野・農業経済・農業生産環境・森林学に重点をおく講義・実習を通じて必要な知識・技術を身に付けさせている。 ③JA、農林業法人・公社、農林業関連地方公務員、大学院進学等。</p> <p>【生物資源科学部 地域環境科学科】 ①地域社会と経済を活性化し、安全で効率的な食糧生産環境を整えて、快適な地域環境の創造に資する人材を養成する。 ②「生活環境を豊かにするための科学技術」と「生存環境を保全するための科学技術」の均衡を図りつつ、地域社会の創造を目指すのに必要な教育を行ってきた。そのために、環境分野と環境科学分野に重点をおく講義・実習を通じて必要な知識・技術を身に付けさせている。 ③環境調査・水処理関連産業、JA、農林業法人・公社、農林業関連地方公務員、農業土木・環境関連産業、環境コンサルタント、大学院進学等。</p>

<p>新設学部等において取得可能な資格</p>	<p>【生命科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種（理科）・高校教諭一種（理科） ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <p>【生命科学科（細胞生物学教育コース、水圏・多様性生物学教育コース）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、博物館関連科目の履修が必要 <p>【生命科学科（生命機能化学教育コース、食生命科学教育コース）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生監視員及び食品衛生管理者 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、食品に関する所定の科目を履修し、関係事業所に勤務し所要の手続きが必要 <p>【農林生産学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種（理科）・高校教諭一種（理科，農業） ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <p>【環境共生科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種（理科）・高校教諭一種（理科，農業） ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <p>【環境共生科学科（環境生物学教育コース、生態環境学教育コース）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、博物館関連科目の履修が必要 <p>【環境共生科学科（地域工学教育コース）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量士 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、測量関連科目の履修と1年以上の実務経験が必要 ・測量士補 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、測量関連科目の履修が必要 ・技術士補 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位を履修することが必要
<p>既設学部等において取得可能な資格</p>	<p>【生物科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種（理科）・高校教諭一種（理科） ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、博物館関連科目の履修が必要 <p>【生命工学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種（理科）・高校教諭一種（理科） ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生監視員及び食品衛生管理者 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、食品に関する所定の科目を履修し、関係事業所に勤務し所要の手続きが必要 <p>【農林生産学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種（理科）・高校教諭一種（理科，農業） ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <p>【農林生産学科（森林学教育コース、農林生態科学教育コース）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、博物館関連科目の履修が必要 <p>【地域環境科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭一種（理科）・高校教諭一種（理科，農業） ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <p>【地域環境科学科（生態環境科学教育コース）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、博物館関連科目の履修が必要 <p>【地域環境科学科（地域工学教育コース）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量士 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、測量関連科目の履修と1年以上の実務経験が必要 ・測量士補 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位に含まれる科目のほか、測量関連科目の履修が必要 ・技術士補 ①国家資格 ②資格取得可能 ③卒業要件単位を履修することが必要

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
生物資源科学部	生物資源科学部 Faculty of Life and Environmental Sciences	生命科学科 Department of Life Sciences	4	70	3年次 3	286	学士 (生物資源科学)	理学関係 農学関係	平成30年4月 3年次 平成32年4月	生物科学科 生命工学科 附属生物資源教育研究センター 汽水域研究センター 総合科学研究支援センター 新規採用 計	9 14 1 1 1 2 28	4 5 1 1 0 0 11
		農林生産学科 Department of Agricultural and Forest Sciences	4	60	3年次 9	258	学士 (生物資源科学)	理学関係 農学関係	平成30年4月 3年次 平成32年4月	農林生産学科 新規採用 計	25 1 26	8 0 8
		環境共生科学科 Department of Environmental and Sustainability Sciences	4	70	3年次 3	286	学士 (生物資源科学)	理学関係 農学関係	平成30年4月 3年次 平成32年4月	農林生産学科 地域環境科学科 汽水域研究センター 新規採用 計	12 18 1 1 32	4 5 0 0 9
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
生物資源科学部	生物資源科学部	生物科学科 (廃止)	4	30	3年次 20 (4学科)	120	学士 (生物資源科学)	理学関係 農学関係	平成7年10月	生命科学科 退職 計	9 4 13	4 1 5
		生命工学科 (廃止)	4	40		160	学士 (生物資源科学)	理学関係 農学関係	平成7年10月	生命科学科 退職 計	14 1 15	5 1 6
		農林生産学科 (廃止)	4	85		340	学士 (生物資源科学)	理学関係 農学関係	平成24年4月	農林生産学科 環境共生科学科 退職 計	25 12 1 38	8 4 1 13
		地域環境科学科 (廃止)	4	45		180	学士 (生物資源科学)	理学関係 農学関係	平成24年4月	環境共生科学科 退職 計	18 1 19	5 1 6
【備考欄】												
<p>《研究科の設置》 総合理工学研究科博士前期課程（△124名）（廃止） 総合理工学専攻（△124） ※平成30年4月学生募集停止</p> <p>生物資源科学研究科修士課程（△60名）（廃止） 生物生命科学専攻（△20） 農林生産科学専攻（△22） 環境資源科学専攻（△18） ※平成30年4月学生募集停止</p> <p>《学部の学科の設置》 総合理工学部（△400名） [3年次編入学定員12名] 物質科学科（△130）（廃止） 地球資源環境学科（△50）（廃止） 数理・情報システム学科（△100）（廃止） 機械・電気電子工学科（△80）（廃止） 建築・生産設計工学科（△40）（廃止） ※平成30年4月学生募集停止</p> <p>自然科学研究科博士前期課程（200名）（平成29年4月届出予定） 理工学専攻（79） 環境システム科学専攻（78） 農生命科学専攻（43）</p> <p>総合理工学部（400名） [3年次編入学定員12名] 物理・マテリアル工学科（73）（平成29年4月届出予定） 物質化学科（73）（平成29年4月届出予定） 地球科学科（50）（平成29年4月届出予定） 数理科学科（50）（平成29年4月届出予定） 知能情報デザイン学科（50）（平成29年4月届出予定） 機械・電気電子工学科（64）（平成29年4月届出予定） 建築デザイン学科（40）（平成29年4月届出予定）</p>												

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 生命科学科 細胞生物学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然科学系学部共通科目 (学部共通科目)		基礎微積分学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2		○									兼1
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○									兼1
		アルゴリズム基礎	1後		2		○									兼1
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○									兼1
		化学基礎A	1前		2		○									兼1
		化学基礎B	1前		2		○									兼1
		地球環境科学概論	1後		2		○									兼1
		電気電子工学概論	1前		2		○									兼3
		建築デザイン概論	1前		2		○									兼11
		小計(12科目)		—	0	22	0	—								
基盤科目 (学部共通科目)		細胞生物学	1前		2		○				1			1		○ムニハス
		遺伝学	1後		2		○				1			1		兼1
		動物学	1後		2		○				1	2				兼1
		植物学	1後		2		○				1	1				兼2
		生態学	1後		2		○				1					兼4
		微生物学	1後		2		○				1	1				兼1
		物理化学	1後		2		○				1					
		有機化学Ⅰ	1後		2		○				1					
		基礎分子生物学	1後		2		○					1				
		生物化学Ⅰ	1後		2		○				1					
		物理学	1前		2		○				1	1		1		兼3
		化学	1前		2		○				2	1				兼3
		化学通論	2前		2		○				1					
		生物学	1前		2		○				1	2				兼3
		地学	1前		2		○									兼2
		生物資源と農学	1後		2		○									兼3
		フードビジネス論入門	1後		2		○									兼1
		統計学	1前		2		○									兼3
		基礎フィールド演習	1通		2			○			1					兼4
		基礎土壌学	1後		2		○									兼2
		農学原論	1後		2		○									兼1
		水環境学	1後		2		○									兼2
		基礎水理学	1後		2		○									兼1
	経済原論	1後		2		○									兼1	
	農業キャリア論	3前		2		○									兼1	
	資源作物・畜産学概論	1後		1		○									兼2	
	園芸生産学概論	1後		1		○									兼3	
	森林学概論	1後		1		○									兼4	
	食と農の経済概論	1後		1		○									兼7	
	小計(29科目)		—	0	54	0	—			11	7		2			兼36
		生命科学基礎セミナーⅠ	1前	2			○			13	13			8		○ムニハス
		生命科学基礎セミナーⅡ	1後	2			○			13	13			8		○ムニハス
		卒業研究	4通	8				○		12	11			7		
		細胞生物学セミナーⅠ	2前	2				○		7	4			4		○ムニハス

細胞生物学コース	水圏・多様性生物学セミナー I	2後	2				○	7	4	4		オムニバス		
	細胞生物学セミナー II	3後	2				○	7	4	4		オムニバス		
	基礎生物科学実験	2前	2				○	7	4	4		オムニバス		
	生物科学実験	2前	2				○	7	4	4		オムニバス		
	細胞生物学実験 I	2後	2				○	7	4	4		オムニバス		
	細胞生物学実験 II	3前	2				○	7	4	4		オムニバス		
	水圏・多様性生物学実験 I	2後	2				○	7	4	4		オムニバス		
	水圏・多様性生物学実験 II	3前	2				○	7	4	4		オムニバス		
	動物生理学	2前	2				○	2						
	発生生物学	2後	2				○	1						
	植物生理学	2後	2				○	1						
	植物系統分類学	2前		2			○	1						
	進化遺伝学	3前		2			○	1						
	生態学通論	2後	2				○		1					
	臨海実習 I	2前	1					○	2				兼1	
	臨海実習 II	2前	1					○	2				兼1	
	臨海実習 III	2前	1					○	2				兼1	
	分子細胞生物学 I	2前	2				○			1				
	分子細胞生物学 II	2後	2				○			1				
	遺伝子工学	2後	2				○	1						
	組織・細胞構造学	2後	2				○			1				
	植物分子生物学	3前	2				○				1			
	細胞生理学	3前	2				○			1				
	免疫学	2後	2				○	1						
	動物生理生態学	2後	2				○					1		
	分子細胞学	2前	2				○	1						
	遺伝子機能学	2後	2				○	1						
	動物系統学	2前	2				○	1						
	環境生理学	2後	2				○	1				1		
	形態形成学	3前	2				○	2						
	多様性植物学	3後	2				○	1						
	海洋生物学	3前	2				○	1						
	生物統計解析学	3前	2				○				2			
	生物科学特論	2後	2				○						兼1	
	細胞生物学特論	2前	2				○						兼1	
	水圏・多様性生物学特論	2前	2				○						兼1	
	森林実習 I	1前	1					○						
	森林実習 II	1後	1					○						
	森林実習 III	2前	1					○						
	森林実習 IV	2後	1					○						
	汽水域生態学	3前	2				○						兼1	
	環境汚染化学	1後	2				○						兼1	
	土壌微生物学	2前	2				○						兼1	
	水圏生態学	2後	2				○						兼1	
	基礎化学実験(*)	3前						○						
	物理学概論(*)	2前					○							
	地学通論(*)	2後					○							
	基礎物理学実験(*)	2前						○						
	地学実験(*)	3前						○						
	小計 (53科目)	—	36	59	0	—	—	—	13	13		8	兼7	—
	専門科	就業体験 I	2前		1			○						
		就業体験 II	2前		1			○						
		臨海実習 IV	2前		1			○						
臨海実習 V		2前		1			○							
森林実習 V		1前		1			○							
里山フィールド演習		1前		2			○							
果樹園芸の里フィールド演習		1前		2			○							
里海フィールド演習	1前		2			○								

科目 (学部共通科目)	森林フィールド演習	1前	2			○														
	酪農フィールド科学演習	1前	2			○														
	森・里・海フィールド演習	1前	2			○														
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1					○												
	作物生産科学フィールド演習	1前	2			○														
	臨海資源科学演習	1前	2			○														
	食品資源フィールド科学演習	1前	2			○														
	傾斜地フィールド演習	1前	2			○														
	島根県立大学開講科目(*)																			
	環境共生学(英語)		2					○												
	農林生産学概論(英語)		2					○												
	基礎生物学(英語)		2					○												
	小計(20科目)		—	0	32	0			—											—
	合計(114科目)			—	36	167	0		—											—
学位又は称号		学士(生物資源科学)		学位又は学科の分野				理学関係				農学関係								

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格 A 4 縦型)

教育課程等の概要(事前伺い)															
(生物資源科学部 生命科学科 水圏・多様性生物学コース)															
教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
自然科学系学部共通科目(学部共通科目)		基礎微積分学Ⅰ	1前	2		○									兼1
		基礎微積分学Ⅱ	1後	2		○									兼1
		基礎線形代数学Ⅰ	1前	2		○									兼1
		基礎線形代数学Ⅱ	1後	2		○									兼1
		アルゴリズム基礎	1後	2		○									兼1
		基礎物理学Ⅰ	1前	2		○									兼1
		基礎物理学Ⅱ	1後	2		○									兼1
		化学基礎A	1前	2		○									兼1
		化学基礎B	1前	2		○									兼1
		地球環境科学概論	1後	2		○									兼1
		電気電子工学概論	1前	2		○									兼3 オムニバス
		建築デザイン概論	1前	2		○									兼11 オムニバス
		小計(12科目)		—	0	22	0		—						兼23
基盤科目(学部共通)		細胞生物学	1前	2		○					1				兼1 オムニバス
		遺伝学	1後	2		○					1		1		兼1 オムニバス
		動物学	1後	2		○				1	2				兼1 オムニバス
		植物学	1後	2		○				1	1				兼2 オムニバス
		生態学	1後	2		○				1					兼4 オムニバス
		微生物学	1後	2		○				1	1				兼1 オムニバス
		物理化学	1後	2		○				1					
		有機化学Ⅰ	1後	2		○				1					
		基礎分子生物学	1後	2		○					1				
		生物化学Ⅰ	1後	2		○				1					
		物理学	1前	2		○				1	1		1		兼3 オムニバス
		化学	1前	2		○				2	1				兼3 オムニバス
		化学通論	2前	2		○				1					
		生物学	1前	2		○				1	2				兼3 オムニバス
		地学	1前	2		○									兼2 オムニバス
	生物資源と農学	1後	2		○									兼3 オムニバス	
	フードビジネス論入門	1後	2		○									兼1	

(科目)	統計学	1前	2		○							兼3	オムニバ`ス	
	基礎フィールド演習	1通	2			○		1				兼4	オムニバ`ス	
	基礎土壌学	1後	2		○							兼2	オムニバ`ス	
	農学原論	1後	2		○							兼1		
	水環境学	1後	2		○							兼2	オムニバ`ス	
	基礎水理学	1後	2		○							兼1		
	経済原論	1後	2		○							兼1		
	農業キャリア論	3前	2		○							兼1		
	資源作物・畜産学概論	1後	1		○							兼2	オムニバ`ス	
	園芸生産学概論	1後	1		○							兼3	オムニバ`ス	
	森林学概論	1後	1		○							兼4	オムニバ`ス	
	食と農の経済概論	1後	1		○							兼7	オムニバ`ス	
	小計 (29科目)	—	0	54	0	—		11	7		2	兼36	—	
	水圏・多様性生物学コース	生命科学基礎セミナー I	1前	2			○		13	13		8		オムニバ`ス
		生命科学基礎セミナー II	1後	2			○		13	13		8		オムニバ`ス
		卒業研究	4通	8				○	12	11		7		
		細胞生物学セミナー I	2前	2			○		7	4		4		オムニバ`ス
		水圏・多様性生物学セミナー I	2後	2			○		7	4		4		オムニバ`ス
		水圏・多様性生物学セミナー II	3後	2			○		7	4		4		オムニバ`ス
		基礎生物科学実験	2前	2				○	7	4		4		オムニバ`ス
生物科学実験		2前	2				○	7	4		4		オムニバ`ス	
細胞生物学実験 I		2後	2				○	7	4		4		オムニバ`ス	
細胞生物学実験 II		3前	2				○	7	4		4		オムニバ`ス	
水圏・多様性生物学実験 I		2後	2				○	7	4		4		オムニバ`ス	
水圏・多様性生物学実験 II		3前	2				○	7	4		4		オムニバ`ス	
植物系統分類学		2前	2			○		1						
進化遺伝学		3前	2			○		1						
生態学通論		2後	2			○			1					
動物生理学		2前	2			○		2						
発生生物学		2後	2			○		1						
植物生理学		2後	2			○		1						
臨海実習 I		2前	1				○	2					兼1	
臨海実習 II		2前	1				○	2					兼1	
臨海実習 III		2前	1				○	2					兼1	
動物系統学		2前	2			○		1						
汽水域生態学		3前	2			○							兼1	
水圏生態学		2後	2			○							兼1	
組織・細胞構造学		2後	2			○			1					
植物分子生物学		3前	2			○						1		
細胞生理学		3前	2			○			1					
免疫学		2後	2			○		1						
動物生理生態学		2後	2			○						1		
分子細胞学		2前	2			○		1						
遺伝子機能学		2後	2			○		1						
環境生理学		2後	2			○		1				1		
形態形成学		3前	2			○		2						
多様性植物学		3後	2			○		1						
海洋生物学		3前	2			○		1						
生物統計解析学		3前	2			○						2		
生物科学特論		2後	2			○							兼1	
細胞生物学特論		2前	2			○							兼1	
水圏・多様性生物学特論		2前	2			○							兼1	
分子細胞生物学 I		2前	2			○			1					
分子細胞生物学 II	2後	2			○			1						
遺伝子工学	2後	2			○		1							
森林実習 I	1前	1				○								
森林実習 II	1後	1				○								
森林実習 III	2前	1				○								
専門科目														

基盤科目(学部共通科目)	細胞生物学	1前	2	○			1		1		○ムニハ ^ス
	遺伝学	1後	2	○			1		1		兼1 ○ムニハ ^ス
	動物学	1後	2	○			1	2			兼1 ○ムニハ ^ス
	植物学	1後	2	○			1	1			兼2 ○ムニハ ^ス
	生態学	1後	2	○			1				兼4 ○ムニハ ^ス
	微生物学	1後	2	○			1	1			兼1 ○ムニハ ^ス
	物理化学	1後	2	○			1				
	有機化学Ⅰ	1後	2	○			1				
	基礎分子生物学	1後	2	○				1			
	生物化学Ⅰ	1後	2	○			1				
	物理学	1前	2	○			1	1		1	兼3 ○ムニハ ^ス
	化学	1前	2	○			2	1			兼3 ○ムニハ ^ス
	化学通論	2前	2	○			1				
	生物学	1前	2	○			1	2			兼3 ○ムニハ ^ス
	地学	1前	2	○							兼2 ○ムニハ ^ス
	生物資源と農学	1後	2	○							兼3 ○ムニハ ^ス
	フードビジネス論入門	1後	2	○							兼1
	統計学	1前	2	○							兼3 ○ムニハ ^ス
	基礎フィールド演習	1通	2	○	○		1				兼4 ○ムニハ ^ス
	基礎土壌学	1後	2	○							兼2 ○ムニハ ^ス
	農学原論	1後	2	○							兼1
	水環境学	1後	2	○							兼2 ○ムニハ ^ス
	基礎水理学	1後	2	○							兼1
	経済原論	1後	2	○							兼1
	農業キャリア論	3前	2	○							兼1
	資源作物・畜産学概論	1後	1	○							兼2 ○ムニハ ^ス
	園芸生産学概論	1後	1	○							兼3 ○ムニハ ^ス
	森林学概論	1後	1	○							兼4 ○ムニハ ^ス
	食と農の経済概論	1後	1	○							兼7 ○ムニハ ^ス
	小計(29科目)	—	0	54	0	—	11	7		2	兼36
生命機能化学コース	生命科学基礎セミナーⅠ	1前	2			○	13	13		8	○ムニハ ^ス
	生命科学基礎セミナーⅡ	1後	2			○	13	13		8	○ムニハ ^ス
	卒業研究	4通	8			○	12	11		7	
	基礎化学実験Ⅰ	2前	1			○	1			1	
	有機合成化学実験	2前	1			○				1	
	物理化学実験	2前	1			○				1	
	基礎生命科学実験Ⅰ	2後	1			○		1			
	基礎生命科学実験Ⅱ	2後	1			○		1			
	基礎生化学実験Ⅰ	2後	1			○	1	1			
	基礎生化学実験Ⅱ	2後	1			○		1			
	遺伝子工学実験	3前	1			○	1			1	
	応用生化学実験	3前	1			○		1		1	兼1
	生物物理化学実験	3前	1			○	1			1	
	生命有機化学実験	3前	1			○		1			
	分子細胞工学実験	3前	1			○	1	1			
	専攻特別実験	3後	4			○	6	7		3	○ムニハ ^ス
	化学英語演習	2前	1			○	1	1		1	
	生化学英語演習	2後	1			○	1	3			
	生命科学英語演習	3前	1			○		2		1	
	生命科学演習Ⅰ	3後	1			○	6	7		3	○ムニハ ^ス
	生命科学演習Ⅱ	4前	1			○	6	7		3	○ムニハ ^ス
	生命科学演習Ⅲ	4後	1			○	6	7		3	○ムニハ ^ス
	化学生物学	2前	2			○				1	
	光情報生物化学	2後	2			○	1				
	生物有機化学	2後	2			○		1			
バイオシグナル工学	3前	2			○		1				
分子認識工学	3前	2			○				1		
生物制御化学	3前	2			○		1				

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 生命科学科 食生命科学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
自然科学系学部共通科目 (学部共通科目)		基礎微積分学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		アルゴリズム基礎	1後		2		○									兼1	
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		化学基礎A	1前			2		○								兼1	
		化学基礎B	1前			2		○								兼1	
		地球環境科学概論	1後			2		○								兼1	
		電気電子工学概論	1前			2		○								兼3 オムニバス	
		建築デザイン概論	1前			2		○								兼11 オムニバス	
		小計(12科目)		—	0	22	0		—								兼23
基盤科目(学部共通科目)		細胞生物学	1前		2		○				1			1		兼1	オムニバス
		遺伝学	1後		2		○				1			1		兼1	オムニバス
		動物学	1後		2		○				1	2				兼1	オムニバス
		植物学	1後		2		○				1	1				兼2	オムニバス
		生態学	1後		2		○				1					兼4	オムニバス
		微生物学	1後		2		○				1	1				兼1	オムニバス
		物理化学	1後		2		○				1						
		有機化学Ⅰ	1後		2		○				1						
		基礎分子生物学	1後		2		○					1					
		生物化学Ⅰ	1後		2		○				1						
		物理学	1前		2		○				1	1		1		兼3	オムニバス
		化学	1前		2		○				2	1				兼3	オムニバス
		化学通論	2前		2		○				1						
		生物学	1前		2		○				1	2				兼3	オムニバス
		地学	1前		2		○									兼2	オムニバス
		生物資源と農学	1後		2		○									兼3	オムニバス
		フードビジネス論入門	1後		2		○									兼1	
		統計学	1前		2		○									兼3	オムニバス
		基礎フィールド演習	1通		2				○			1				兼4	オムニバス
		基礎土壌学	1後		2		○									兼2	オムニバス
		農学原論	1後		2		○									兼1	
		水環境学	1後		2		○									兼2	オムニバス
		基礎水理学	1後		2		○									兼1	
		経済原論	1後		2		○									兼1	
農業キャリア論	3前		2		○									兼1			
資源作物・畜産学概論	1後		1		○									兼2	オムニバス		
園芸生産学概論	1後		1		○									兼3	オムニバス		
森林学概論	1後		1		○									兼4	オムニバス		
食と農の経済概論	1後		1		○									兼7	オムニバス		
小計(29科目)		—	0	54	0		—			11	7		2		兼36	—	
		生命科学基礎セミナーⅠ	1前	2				○		13	13			8			オムニバス
		生命科学基礎セミナーⅡ	1後	2				○		13	13			8			オムニバス
		卒業研究	4通	8					○	12	11			7			

専門科目 (学部共通科目)	里山フィールド演習	1前		2			○														
	果樹園芸の里フィールド演習	1前		2			○														
	里海フィールド演習	1前		2			○														
	森林フィールド演習	1前		2			○														
	酪農フィールド科学演習	1前		2			○														
	森・里・海フィールド演習	1前		2			○														
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前		1				○													
	作物生産科学フィールド演習	1前		2				○													
	臨海資源科学演習	1前		2				○													
	食品資源フィールド科学演習	1前		2				○													
	傾斜地フィールド演習	1前		2				○													
	島根県立大学開講科目 (*)																				
	環境共生学 (英語)			2			○														
	農林生産学概論 (英語)			2			○														
	基礎生物学 (英語)			2			○														
	小計 (20科目)		—	0	32	0		—													—
合計 (116科目)			—	34	166	0		—													—
学位又は称号	学士 (生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係		農学関係													

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

① 社会的背景と設置目的

急速なグローバル化への対応、少子高齢化、エネルギー・食料供給の安定化、地球温暖化防止、環境保全など急激な変化に対応した方策が大学にも求められている。地方における人口減少や産業の衰退は大きな社会問題であり、この解決が地方大学の使命のひとつになっている。島根大学では、島根大学憲章に「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すことを謳い、これまで学生・教職員協働のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進してきた。より良い地域の未来創出のため、学部の教育研究体制を見直し、既設の生物資源科学部を改組する。その目的は、地域ニーズを適切に汲み上げ、産業振興による定住人口の拡大に資する理系人材の養成である。

② 教育体制の現状と課題

本学部は、「生物、生命、生産、生活を包含するライフを総合的に科学する学部」を理念として、農学部と理学部の生物学科を統合した新領域の学部として、平成7年10月に5学科（生物科学科、生態環境科学科、生命工学科、農業生産学科、地域開発科学科）で設置された。学部設置15年の間に、資源浪費型社会から生物資源・地域資源の環境に配慮した活用・創造・保全・管理が求められる環境調和型社会へと大きく変化してきた。即ち、環境への負荷を低減しつつ、高付加価値で低コスト化を実現する生産を継続的に行う生産・管理技術が求められるようになった。その結果、地域というエリア内で限られた生物資源・地域資源を環境に配慮して活用・創造・保全・管理していく実学的かつ統合的あるいは俯瞰的な教育を、特に生産、環境の分野において実施し、新技術革新を創造・管理できる人材を育成することが、従来にも増して求められるようになってきた。これに対応すべく、平成24年4月に5学科の内、3学科（生態環境科学科、農業生産学科、地域開発科学科）を再編統合して2学科（農林生産学科、地域環境科学科）を設置し、4学科（生物科学科、生命工学科、農林生産学科、地域環境科学科）に改組・再編し、現在に至っている。これまで、設置当初の理念通り、各学科ともに学生に対し、目的とする知識・技術を身に付けさせており、多くの卒業生が地域産業の技術者・研究者や公務員・関係団体職員等として就職し、各々の専門分野で活躍している。その意味では、学部設置当初に期待された通り、地域・社会の発展を支える人材養成・供給を行っており、一定の成果を上げている。

しかしながら、ここ5年余りの間に、情報化やグローバル化が急速に進展し、農林業を取り巻く社会的環境も大きく変化しつつあり、今後さらに、食料の安全性と品質の向上や持続性の高い食料生産の実現、森林・水・土環境の保全・修復、生命現象の解明とその応用技術の開発や機能性食品・医薬品開発などの領域で、農学系“理工系グローバル人材”を養成することが強く要請されている。特に山陰地域のニーズとして要望が高い食品製造業、ヘルスケア産業、6次産業化分野に資する人材の育成が強く求められているところである。また環境分野においても、人類の持続的社会と持続的生産性の維持という大きな課題のもと、農産物の生産基盤を維持する環境保全が重要な側面である。島根大学に近接する汽水域などの地域的な環境から、森・里・海という一連の広域的な生態的視野、加えて持続的生産性の向上とそれを支える生産基盤という課題を解決する人材養成が急務となっている。

一方で、大学教育に対する期待や価値観も多様性を増し、学士課程教育に求められる目的・期待は、単なる、特定の専門知識・技能の修得から、より幅広い教養的知識に支えられた人間力が必要とされるようになってきている。特に、生命科学や環境科学の分野では新規知見や研究手法の開発が急速に進んでおり、農学分野においても生命科学や環境科学を基盤にしたより幅広い知識や技術を修得した人材を輩出し、健康で豊かな生活の実現に貢献することが強く求められている。

③ 改組の方向性

現行の4学科（生物科学科、生命工学科、農林生産学科、地域環境科学科）を再編統合して3学科（生命科学科、農林生産学科、環境共生科学科）を設置する。

これまで20年間、独立の学科として教育研究体制を維持してきた生物科学科と生命工学科を融合し生命科学科を設置し、基礎的な生物学から応用的なバイオテクノロジーまでを学び、幅広く教育研究する学科とする。農林生産学科は、農林畜産業を中心とした生物生産や森林資源の保全・管理、その経営を学び、6次産業化を推進するための教育研究する学科とする。農林業生産分野に属していた森林環境系と生態環境系の教員を移行し地域環境科学科の教員とともに環境共生科学科を設置し、森、里、海と広範囲な環境を学び、持続的な生物資源を利活用するための教育研究を行なう学科とする。

生物資源科学部改組の必要性

鳥根県総合戦略 (H27.10) 及び鳥根総合発展計画 (H28.3) によると、鳥根県内企業(製造業)が技術開発や販路開拓等に取り組む上で、高度な知識・経験を有する専門的な産業人材(理系プロフェッショナル人材)が必要とされている。

実際、平成28年8月の山陰地方の企業・自治体を対象にしたアンケート調査でも、**食品製造業・ヘルスケア産業・6次産業化、環境技術**分野で活躍できる人材の養成が要望されている。また、生物資源科学部の「ミッションの再定義」(①汽水域の生物資源の利活用、②高齢化社会における豊かな農山村の創造に寄与する学際的研究)をさらに進展させるためにも、これらの分野で活躍できる高度技術者の養成が必要となっている。本学部が担うべき社会的責任に対応する「生命」、「生産」、「環境」に焦点を当て、これら3分野をより明確にした3学科に改組し、特に地域社会から要請の高い分野の理系人材を育成すること目標としている。

生命系・生産系・環境系の3学科に再編

生命系：生命機能の解明と生物資源の利活用(食品製造業・ヘルスケア産業)

生産系：食料生産技術の開発と安定供給(公務員・団体職員・6次産業化)

環境系：生態環境の保全・修復・管理・利用(公務員・環境技術)

- ・生命工学科と生物科学科が融合した生命系学科を新設
- ・農林業の持続可能な生産技術・6次産業化を指向した生産系学科に再編
- ・地域環境科学科に農林生産学科生態分野を融合した環境系学科を新設
- ・一連の再編で地域人材の育成や自然科学研究科博士前期課程での理系人材の育成が可能となる

新たな人材養成像

(新)生物資源科学部 [入学定員200名+3年次編入学定員15名]

生命科学、農林生産、食料、農業経営・経済、生態環境に関する幅広い知識と、生物資源を有効に利活用できる技術や知識、さらに生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を有し、国際的視野に立って、これらを活用した産業・地方自治体に貢献できる人材を育成する。

生命科学科(定員70名)

細胞生物学コース 水圏・多様性生物学コース 生命機能化学コース 食生命科学コース

基本的生命現象を総合的に理解する能力と、生命・生物資源を解析する高度な技術を身につけ、それらの知識や技術を利用することにより社会に貢献できる人材を養成する。

農林生産学科(定員60名)

資源作物・畜産学コース 園芸植物科学コース 農業経済学コース 森林学コース

農林産物に関する持続可能な生産技術や、農業経営・経済についての総合的な知識を身につけ、農林業がもたらす豊かな人間生活の実現に貢献できる人材を養成する。

環境共生科学科(定員70名)

環境生物学コース 生態環境学コース 環境動態学コース 地域工学コース

環境調和型社会の確立を目指し土・水・生物などの資源の調査・評価及び生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を習得し社会に貢献できる人材を養成する。

(現)生物資源科学部

[入学定員200名+3年次編入学定員20名]

生物科学科 (30)

生命工学科 (40)

農林生産学科 (85)

農業生産学コース
森林学コース
農林生態科学コース
農村経済学コース

地域環境科学科 [45]

生態環境科学コース
環境資源工学コース
地域工学コース

学内連携

研究センター 医学部
人間科学部 法文学部 教育学部

④教育研究の理念と目標

(1)生物資源科学部の教育・研究の理念と目標

設置当初の「ライフを総合的に科学する学部」を教育・研究の理念とすることには変わりはないが、これからの時代を担うべき社会的責任に対応する「生命」、「生産」、「環境」に焦点を当て、これら3分野をより明確にした3学科に改組することで、特に地域社会から要請の高い分野の理系人材を育成することを目標としている。

(2)生命科学科の教育・研究の理念と目標

生物を分子、細胞、組織、個体、生態レベルの多様な階層で理解し、微生物、植物、動物の基本的生命現象を総合的に理解すると共に、生命を解析する高度な技術を身につけ、それらの知識や技術を利用することにより社会に貢献できる人材を育成するため、下記の4つの教育コースを設置する。

「細胞生物学コース」

細菌や原生生物から動植物まで、生物が示す様々な生命現象を分子・細胞・個体レベルで捉え、理解する能力を育み、ライフサイエンスの発展に寄与し、様々な分野で活躍する人材を育成する。

「水圏・多様性生物学コース」

日本海から宍道湖・中海を含む湖沼河川まで多様な水域とその周辺の陸環境がもつ豊かな生物多様性を基礎科学の観点から捉え、理解する能力を育み、生物資源の持続・有効利用と環境保全に寄与し、この分野を牽引する人材を育成する。

「生命機能化学コース」

生物学と化学の両方の視点を持ち、その融合分野で生命の機能を分子レベルで理解すると同時に、医薬品や化学系の分野で活躍する技能を有した人材を育成する。

「食生命科学コース」

食品に含まれる栄養成分や有用成分の健康機能、食料の生産に寄与する生命の仕組みを理解すると同時に、食品やバイオテクノロジーの分野で活躍する技能を有した人材を育成する。

⑤養成する人材像

(1)生物資源科学部

生命科学、農林生産、食料、農業経営・経済、生態環境に関する幅広い知識と、生物資源を有効に利活用できる技術や知識、さらに生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を有し、国際的視野に立って、これらを活用した産業・地方自治体に貢献できる人材を育成する。

(2)生命科学科

基本的生命現象を総合的に理解すると共に、生命・生物資源を解析する高度な技術を身につけ、それらの知識や技術を利用することにより社会に貢献できる人材を養成する。特に、生命現象の解明とその応用技術の開発や機能性食品・医薬品開発などの領域で、農学系“理工系グローバル人材”を養成することが強く要請されており、生命科学科では、特に山陰地域のニーズとして要望が高い食品製造業、ヘルスケア産業分野に資する人材を育成する。

⑥3つの方針（ポリシー）

(1)アドミッションポリシー

生命科学科の入学受け入れ方針

生命科学科では、生命が織りなすさまざまな現象について分子、細胞、組織、個体、生物集団など多様な階層での理解を深め、そのメカニズムを探究し、生命を解析する技術を生物資源の利活用へと発展させる意欲がある、次のような人を受け入れる。

1. 高校学校卒業レベルの基礎学力を十分に身に付けている人
2. 自ら学ぼうという学習意欲、論理的な思考とそれを表現する能力を有する人
3. 生命科学を学ぼうとする強い意志を持ち、生命現象への探究心や科学的好奇心に富んだ人
4. バイオテクノロジーや食品科学に強い関心を持ち、この分野の知識・経験を生かして将来活躍したい人

(2)教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

生物資源科学部の教育課程編成・実施の方針

1. 1年次～2年次では、主として全学共通教育を履修する。全学共通教育は、基礎科目として「外国語」「健康・スポーツ、文化・芸術」「情報科学」の科目群、教養育成科目として「人文・社会分野」「自然分野」「学際分野」の科目群がある。全学共通教育は教育目標として「知の探求者として育つ」「市民社会の形成者として育つ」「地域社会の創造者として育つ」「国際社会の貢献者として育つ」「自己の開拓者として育つ」の5つを掲げており、これらの科目を修得することで、専門教育の基礎となる力を養うとともに、教養ある社会人として必要な、幅広い知識、思考力、語学力、コミュニケーション能力を涵養する。

2. 1年次の前期には、それぞれの教育コースで「初年次教育科目」を設けている。専門教育科目を履修する準備として、レポートを書く力やプレゼンテーションする力などの「学ぶ技術」を養う。また、グループ学習によって、他者と協調・協働して行動する力などを身につけることができる。

3. 1年次では、学科・教育コースを問わない学部共通科目として開講される「基盤科目」の中から、それぞれの教育コースで、必修、選択必修、または選択科目に定められた科目を選択して履修する。専門教育科目を履修する準備として、理学や農学に関わる基礎的な知識と総合的視点を身につけることができる。

4. 2年次以降は、それぞれの教育コースで定められたカリキュラムにそって「専門科目」を履修する。なお、各教育コースでの詳細な専門科目の履修に関しては「履修の手引」に記載している。

5. 「専門科目」は、各専門分野におけるより高度な専門知識・技能を修得するとともに、批判的思考力や問題の発見・解決能力を涵養することを目的として開講され、教育コース毎に講義、演習、実験、実習を体系的に組み合わせて実施する。講義系の授業群では、専門分野の知識を体系的に身につけ、また、その理解をレポートなどで文章化することが求められる。演習・実験・実習系の授業群では、卒業研究の準備として、基礎となる実験、文献やデータに基づく発表、英語科学論文の内容理解など、より実践的で能動的な態度と技能を身につけることが求められる。

6. 実習系の授業群の中には、地域の恵まれた環境を生かして、附属生物資源教育研究センターおよび各教育コースが開講する多様なフィールド教育科目がある。これらの科目では、自然現象を素直に感受し、その摂理を創造的に解析する力、生物・生命・生産・環境に関する諸問題を総合的に捉え、解決する力を養う。

7. 4年次には、「卒業研究」を履修する。担当教員の指導のもとに、自らが研究課題を定め、文献やデータなどの収集、解析を行い、卒業研究を完成する。口頭発表などの審査を含め、複数の教員による厳正な審査が行われる。

(3) 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

生物資源科学部の学位授与の方針

生物資源科学部では、学士課程において以下に掲げる能力を身に付けた者に学位「生物資源科学」を授与する。

1. 人間・社会・自然に関する幅広い教養を身につけている。
2. 理学や農学に関わる基礎的な知識を身につけている。
3. 研究の一環として、英語科学論文の内容を理解することができる。
4. 多角的な視点、批判的思考力を備え、各専門分野における課題の解決に主体的に取り組むことができる。
5. 研究の一環として、必要なデータを収集・整理し、それらを解析して結論を論理的に導くことができる。
6. 得られた研究成果を文章や口頭で適切に表現することができる。
7. 社会で活かすことができる専門知識や技能を身につけている。

II 教育課程編成の考え方・特色

新しく再編統合した3学科では、情報化やグローバル化による農林業を取り巻く社会的環境の変化に対応できる人材を育成するための教育を行う。生物学科と生命工学科を融合した生命学科では、基礎的な生物学から応用的なバイオテクノロジーまでを学び、生命を解析する高度な技術を身につける。農林生産学科では、農林畜産業を中心とした生物生産について学び、農産物および林産物に関する持続可能な生産技術や6次産業化、経営・経済についての総合的な知識を身につける。地域環境科学科に環境生物系部門を編入した環境共生科学科では、森、里、海と広範囲な環境を生態学および工学的観点から学び、中山間地域の資源及び生態環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する。このような教育を達成するためには、各分野での専門的教育に加え、より基礎的なレベルでの分野の枠を超えた幅広い知識・技能・思考力をも養成する必要がある。現在、生物資源科学研究科と総合理工学研究科を統合して自然科学研究科を設置する計画であるが、その基盤となる本学士課程では、従来の「基盤科目」に加え、総合理工学部が開講する「自然科学系学部共通科目」を専門教育科目として新たに設置し、より幅広いレベルの専門基礎科目を学ぶ。

本学士課程専門教育の各科目区分およびその特色は、以下のとおりである。

「自然科学系学部共通科目（4単位）」

全学科共通で、総合理工学部が開講する8科目の中から2科目を選択して履修する。従来の生物資源科学部開講の生物系、農学系の基盤科目に加えて、数理情報系、物理系、電気電子工学系など従来よりも幅広いレベルの専門基礎科目を学び、学際的視野を広げる。

「基盤科目（12～22単位）」

専門教育科目を履修する準備として、理学や農学に関わる基礎的な知識と総合的視点を身につける。学部共通で履修ができ、かつ、各分野の教育目標に合わせて履修プログラムが設定されている。

「専門科目（63～74単位）」

より高度な専門教育に必要な科目として設定されており、各学科の教育課程編成方針や到達目標、ならびに各学生の進路に基づく履修計画に応じて履修する。専門科目は原則として各学科が提供するが、他学科提供の専門科目についても、必要に応じて履修可能とする。

特に、今回の学科再編成にあたり、山陰地域のニーズとして要望が高い学問領域における人材を養成するための科目を開講することで、それぞれの分野の教育を強化している。さらに、PBL科目として、多様な自然環境に恵まれた学部立地条件を活かした実習科目によるフィールド教育を全学科で充実させ、さらに、「就業体験」等の履修により、自然観察・調査能力、現場での問題発見・解決能力などを身につける。

本学部では、授業レベルや科目分類を明示するための「科目ナンバリング」の導入により、学生がカリキュラムの履修において、教育課程の体系が容易に理解でき、その難易度や科目間の連携などが分かるようにしている。これにより、学生は計画的で体系的な学習が可能となっている。また、学生の学修到達度を数値化するため、GPA制度を導入し、学修成果を学生に明示して学習意欲の向上につなげるとともに、指導教員は学期毎の学習状況を把握し、きめ細かい指導の一助としている。

学生の指導体制

各学生には指導教員1名をつけ、学習指導、履修指導、生活指導等を行う。

学部内共通プログラム

学部-博士前期一貫プログラム

学科の何れかの教育コースに所属し、通常より早い3年次から研究室に配属し、博士前期課程にわたる一貫した教育、研究を行う。これにより、通常のプログラムに比べて、より高い研究能力、課題解決能力を持つ人材を育成する。同時に、大学院進学率の向上を図る。プログラム生は、学部または博士前期課程の早期卒業（修了）制度を利用して、学部入学から最短5年で博士前期課程を修了できるものとする。プログラム生の選考は学部2年開始時及び3年開始時に行う。

COC人材育成プログラム

地元就職して地域振興に貢献する人材を育成することを目的とし、将来地域に貢献したいという強い意欲を持つ学生を対象とする。学科の通常のプログラム生と同様に専門分野の基礎的知識・技能を修得する他、学科ごとに指定された地域に関連した科目を重点的に履修する。プログラム履修生は地域貢献人材育成入試により選考し、学科の何れかの教育コースに所属する。

生命科学科の特色

生命科学科では、微生物から動物・植物に至る多様な生物が示すさまざまな生命現象についての基本的な理解と根本原理の解明をめざすとともに、これら生物が有するさまざま有用機能を食品・化学工業、医薬・農薬製造業などの生物・化学産業に役立てるための教育と研究を行う。具体的には、DNAやタンパク質、代謝物などのミクロの世界から、細胞、組織・器官、そして個体・集団といったマクロの世界までを研究対象とし、生物学と化学の知識を基盤に構造的・機能的解析、遺伝子発現解析、遺伝子組換え、バイオイメージング、生命情報解析、有機合成、分子構造解析などのさまざまな手法や最新技術を駆使し、基盤的・応用的学問分野について理解を深める。生命現象の不思議さを追求し応用する過程を通し、論理的思考力、問題解決能力を身に付け、社会で活躍するための資質能力を向上させる。

教育の特色

生命科学科では、生命科学の基礎から応用まで幅広くしっかり学べるよう豊富な授業科目を用意している。1年時には基盤科目や生命科学基礎セミナーにより基礎学力を涵養し、さらに2年次からは特色のある4つの教育コース「細胞生物学」、「水圏・多様性生物学」、「生命機能化学」、「食生命科学」のいずれかの教育コースを選択することで、より専門的な知識を身に付ける。「細胞生物学」と「水圏・多様性生物学」の2コースは連携して、「生物学」を基礎とした理学的教育に重きをおいたカリキュラムを提供する。「生命機能科学」と「食生命科学」の2コースは連携して、「化学」と「生物」を基礎とし、生命の仕組みを食品・化学工業、医薬・農薬製造業などの生物・化学産業へと応用する農芸化学的教育に重点を置いたカリキュラムを提供する。特に、今回の学科再編成にあたり、山陰地域のニーズとして要望が高い食品製造業、ヘルスケア産業分野に対応した「食品バイオテクノロジー」、「食品微生物学」、「食品機能学」、「食品生化学」、「食品衛生学」、「食生命科学特論」、「栄養生命科学」、「免疫学」などを開設することで、これらの分野の教育を強化している。3年次の後期からは、各研究室に配属され、生命科学演習や卒業研究を通じて実践的な知識を学ぶほか、最先端の実験技術を駆使して生命科学の不思議を解明していく。生命科学科は、附属生物資源教育研究センター海洋生物科学部門（隠岐臨海実験所）、総合科学研究支援センター遺伝子機能解析部門と教育・研究で連携し、センター教員の指導を受けられる学際的卒業研究も行えるようにする（次頁の図「生命科学科履修モデル」を参照）。

生命科学科では、今回の学科再編成にあたり強化した教育分野の科目（例；食品バイオテクノロジー、食品微生物学、食品機能学など）を修得することで、地域社会からの要望が高い食品製造業やヘルスケア産業分野への就職の道を準備している（次頁の図「設置科目と人材養成像との関連」を参照）。

教育指導の工夫

地域社会から要請の高い上記分野の理系人材を育成するため、これらの分野に対応した講義科目を新設することに加え、これらの科目の受講学生への教育効果を高めることを目的として、就業体験科目、PBL型科目を設置し、新設科目を含むこれらの関連科目を担当する教員と、教育推進センター、地域未来戦略センター、産学連携センター等の学内リソースや学外リソース（公設試験機関、県内実業高校、県立大、高専等）と連携したFDを実施して、教育指導方法を工夫していく。

生命科学科履修モデル

教育コース	1年次	2年次	3年次	4年次
細胞生物学	全学共通教育科目			卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (基礎微積分学他)	専門科目		
	基盤科目 (生物学、微生物学他)	発生生物学、植物生理学、 動物生理学、免疫学他	植物分子生物学、細胞生理学、 環境生理学、形態形成学他	
	基礎セミナー	実験／セミナー	実験／セミナー	
水圏・多様性生物学	全学共通教育科目			卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (基礎微積分学他)	専門科目		
	基盤科目 (生物学、動物学他)	水圏・多様性生物学特論、 生態学通論、水圏生態学他	動物生理生態学、進化遺伝学、 海洋生物学、多様性植物学他	
	基礎セミナー	実験／セミナー	実験／セミナー	
生命機能化学	全学共通教育科目			卒業演習 卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (基礎線形代数学他)	専門科目		
	基盤科目 (有機化学、物理化学他)	化学生物学、生命分子分光学、 栄養生命科学、生物有機化学	分子認識工学、生物制御化学、 バイオシグナル工学他	
	基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験	
食生命科学	全学共通教育科目			卒業演習 卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (基礎線形代数学他)	専門科目		
	基盤科目 (生物学、植物学他)	分子生物学、食生命科学特論、 遺伝子工学、微生物機能学他	食品微生物学、食品機能学、 食分子細胞生物学他	
	基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験	

設置科目と人材養成像との関連

生命科学科

「食品バイオテクノロジー」
 「食品微生物学」「食品機能学」
 「食品生化学」「食品衛生学」
 「栄養生命科学」「免疫学」
 「食生命科学特論」など



生命現象の解明とその応用技術の
 開発や機能性食品・医薬品開発：
 食品製造業，ヘルスケア産業分野

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>卒業要件及び履修方法</p> <p>[卒業要件] 各コースは、全学共通教育科目、及び専門教育科目の自然科学系学部共通科目、基盤科目、専門科目から以下の単位数を修得し、合計128単位以上を修得すること。(1学期間における履修科目の登録の上限：28単位)</p> <p>[履修方法]</p> <p>生命科学科 細胞生物学コース 全学共通教育科目 34単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 16単位以上 (選択必修12単位) 専門科目 66単位以上 (必修36単位, 選択必修7単位)</p> <p>生命科学科 水圏・多様性生物学コース 全学共通教育科目 34単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 16単位以上 (選択必修12単位) 専門科目 66単位以上 (必修36単位, 選択必修8単位)</p> <p>生命科学科 生命機能化学コース 全学共通教育科目 32単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 16単位以上 (選択必修12単位) 専門科目 70単位以上 (必修34単位, 選択必修10単位)</p> <p>生命科学科 食生命科学コース 全学共通教育科目 32単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 16単位以上 (選択必修12単位) 専門科目 70単位以上 (必修34単位, 選択必修10単位)</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分
<p>【学部ー博士前期一貫プログラム】</p> <p>[卒業・修了要件] 所属する学科・コースの卒業・修了要件と同じ。</p> <p>[履修方法] ・プログラム生の選考は2年開始時または3年開始時に行う。 ・プログラム配属後は1学期間における履修科目の登録の上限は設けない。 ・プログラム配属後は科目の履修年次の制限を設けず、上級生向け科目も履修可能とする。 ・3年次から研究室に入り、研究を開始する。 ・4年次は大学院科目の早期履修を可能とする。 ・優秀な学生は、学部または博士前期課程の早期卒業(修了)制度を利用して、学部と博士前期課程を計5年で卒業・修了することも可能とする。</p> <p>【COC人材育成プログラム】</p> <p>[プログラム修了要件] 所属する学科・コースの卒業要件を満たし、かつ、各コースで指定した地域指向科目の中から定められた単位以上を修得すること。</p> <p>[履修方法] ・所属コースの履修方法に従って履修するとともに、地域指向科目の中から必要な単位を修得する。 ・1学期間における履修科目の登録の上限は所属する学科・コースと同じ。</p>		

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 農林生産学科 資源作物・畜産学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
自然科学系学部共通科目 (学部共通科目)		基礎微積分学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		アルゴリズム基礎	1後		2		○									兼1	
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○									兼1	
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○									兼1	
		化学基礎A	1前		2		○									兼1	
		化学基礎B	1前		2		○									兼1	
		地球環境科学概論	1後		2		○									兼1	
		電気電子工学概論	1前		2		○									兼3	オムニバス
		建築デザイン概論	1前		2		○									兼11	オムニバス
		小計(12科目)	—	0	22	0	—									兼23	—
基盤科目 (学部共通科目)		資源作物・畜産学概論	1後	1			○			1	1						オムニバス
		園芸生産学概論	1後	1			○			3							オムニバス
		森林学概論	1後	1			○			2	1		1				オムニバス
		食と農の経済概論	1後	1			○			2	2	1	2				オムニバス
		細胞生物学	1前		2		○									兼2	オムニバス
		遺伝学	1後		2		○				1					兼2	オムニバス
		動物学	1後		2		○			1						兼3	オムニバス
		植物学	1後		2		○			1	1					兼2	オムニバス
		微生物学	1後		2		○									兼3	オムニバス
		物理学	1前		2		○									兼6	オムニバス
		化学	1前		2		○				1					兼5	オムニバス
		生物学	1前		2		○			1						兼5	オムニバス
		地学	1前		2		○									兼2	オムニバス
		生物資源と農学	1後		2		○			2	1						オムニバス
		フードビジネス論入門	1後		2		○				1						
		生態学	1後		2		○									兼5	オムニバス
		統計学	1前		2		○			1	1					兼1	オムニバス
		基礎フィールド演習	1通		2			○			1					兼4	オムニバス
		物理化学	1後		2		○		○							兼1	
		有機化学Ⅰ	1後		2		○									兼1	
		基礎分子生物学	1後		2		○									兼1	
		生物化学Ⅰ	1後		2		○									兼1	
		基礎土壌学	1後		2		○									兼2	オムニバス
		農学原論	1後		2		○						1				
		水環境学	1後		2		○									兼2	オムニバス
		基礎水理学	1後		2		○									兼1	オムニバス
		経済原論	1後		2		○					1					
		農業キャリア論	3前		2		○									兼1	
	小計(28科目)	—	4	48	0	—				3	5	1	1		兼40	—	
		農林生産基礎セミナー	1前	2				○		6	6		4				オムニバス
		農林フィールド実習	1前	2					5	3		2			兼1	オムニバス	
		卒業研究	4通	4					8	10	1	7			兼1		
		農業生産学基礎実験Ⅰ	2前	2					3	5		2					オムニバス

資源作物・畜産学コース	農業生産学基礎実験Ⅱ	2後	2				○	2	5	2		オムニバ`ス
	専門英語	2後	2			○		5	7	3		オムニバ`ス
	作物学	2前	2		○				1			
	植物栄養化学	2後	2		○							兼1
	家畜栄養学	2前	2		○			1				
	特別研究	3通	4				○	5	7	3		兼1
	農場専門実習Ⅰ	2前	2				○	2	2	2		兼1
	農場専門実習Ⅱ	2後	2				○	2	2	2		兼1
	農業のための生物統計学	2後	2		○				1			
	耕地栽培学	2前	2		○				1	1	1	
	植物育種学	2前	2		○			1	1			オムニバ`ス
	果樹園芸学	2前	2		○			1	1			オムニバ`ス
	野菜園芸学	2前	2		○			2				オムニバ`ス
	資源作物学	2後	2		○				1		1	
	アグリバイオテクノロジー	2後	2		○			1	2			オムニバ`ス
	施設園芸学	2後	2		○			1	1			オムニバ`ス
	花卉園芸学	2後	2		○			1	1			オムニバ`ス
	植物利用化学	2後	2		○			1	1			オムニバ`ス
	家畜繁殖学	2前	2		○							兼1
	国際農業研究論	2後	2		○							兼1
	農と食と医療	3前	2		○			2	1		1	兼1
	農業と食育	2後	2				○				1	
	六次産業化概論	1後	2				○	3	3	1		兼7
	地域の六次産業化	2前	2				○	2	2			兼5
	応用生物学実験	3前	2				○	2	3		1	
	応用化学実験	3後	2				○	2	2		1	
	資源作物・畜産学専攻実験Ⅰ	3前	2				○	1	3		3	兼1
	資源作物・畜産学専攻実験Ⅱ	3後	2				○	1	3		3	兼1
	資源作物・畜産学特別研究演習Ⅰ	3前	2			○		1	3		3	兼1
	資源作物・畜産学特別研究演習Ⅱ	3後	2			○		1	3		3	兼1
	資源作物・畜産学英語演習Ⅰ	4前	2			○		1	3		3	兼1
	資源作物・畜産学英語演習Ⅱ	4後	2			○		1	3		3	兼1
	農業経済学	2後	2		○				1			
	農業経営学	2前	2		○			1				
	農政学	2前	2		○						1	
	林政学	2後	2		○			1				
	農業生産の基礎	1後	2		○				1		3	
	種子と果実の科学	3前	2		○			1	2			
	動物内分分泌生理学	3後	2		○						1	
	食農市場セミナー	2後	2		○				2		1	
	農学史	2後	2		○						1	
	農史	2後	2		○			1				
	地域経済学	3前	2		○					1		
経済統計解析学	2後	2		○			1					
農業会計情報学	3前	2		○				1				
国際農村発展論	3前	2		○						1		
地域資源管理学	3後	2		○				1				
農業経営形態論	3後	2		○				1				
測樹学	2後	2		○				1				
森林計画学	2前	2		○						1		
森林ジオインフォマティクス	2後	2		○				1				
山村経済学	3後	2		○			1					
森林利用学	3前	2		○			1					
森林統計学	2前	2		○			1					
森林経済学	2後	2		○							兼1	
森林法律	3前	2		○			1					
森林人間関係学	2前	2		○							兼1	
森林生態社会学	2前	2		○							兼1	

専門科目

専 門 科 目 （ 学 部 共 通 科 目 ）	臨海実習Ⅳ	2前	1				○													
	臨海実習Ⅴ	2前	1				○													
	森林実習Ⅴ	1前	1				○													
	里山フィールド演習	1前	2				○													
	果樹園芸の里フィールド演習	1前	2				○													
	里海フィールド演習	1前	2				○													
	森林フィールド演習	1前	2				○													
	酪農フィールド科学演習	1前	2				○													
	森・里・海フィールド演習	1前	2				○													
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1						○											
	作物生産科学フィールド演習	1前	2				○													
	臨海資源科学演習	1前	2				○													
	食品資源フィールド科学演習	1前	2				○													
	傾斜地フィールド演習	1前	2				○													
	島根県立大学開講科目（*）																			
	環境共生学（英語）		2				○													
	農林生産学概論（英語）		2				○													
	基礎生物学（英語）		2				○													
	小計（20科目）		—	0	32	0														—
	合計（177科目）			—	24	308	0													
学位又は称号		学士（生物資源科学）				学位又は学科の分野			理学関係		農学関係									

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要（事前伺い）

（生物資源科学部 農林生産学科 園芸植物科学コース）

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
自然科学系学部共通科目 （学部共通科目）		基礎微積分学Ⅰ	1前		2		○										兼1	
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2		○										兼1	
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○										兼1	
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○										兼1	
		アルゴリズム基礎	1後		2		○										兼1	
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○										兼1	
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○										兼1	
		化学基礎A	1前		2		○										兼1	
		化学基礎B	1前		2		○										兼1	
		地球環境科学概論	1後		2		○										兼1	
		電気電子工学概論	1前		2		○										兼3	オムニバス
		建築デザイン概論	1前		2		○										兼11	オムニバス
		小計（12科目）		—	0	22	0										兼23	—
		資源作物・畜産学概論	1後	1			○				1	1						オムニバス
		園芸生産学概論	1後	1			○				3							オムニバス
		森林学概論	1後	1			○				2	1		1				オムニバス
		食と農の経済概論	1後	1			○				2	2	1	2				オムニバス
		細胞生物学	1前		2		○										兼2	オムニバス
		遺伝学	1後		2		○					1					兼2	オムニバス
		動物学	1後		2		○				1						兼3	オムニバス
		植物学	1後		2		○				1	1					兼2	オムニバス
		微生物学	1後		2		○										兼3	オムニバス
		物理学	1前		2		○										兼6	オムニバス
		化学	1前		2		○					1					兼5	オムニバス

基盤科目 (学部共通科目)	生物学	1前	2	○		1				兼5	オムニバ`ス	
	地学	1前	2	○						兼2	オムニバ`ス	
	生物資源と農学	1後	2	○		2	1				オムニバ`ス	
	フードビジネス論入門	1後	2	○			1					
	生態学	1後	2	○						兼5	オムニバ`ス	
	統計学	1前	2	○		1	1			兼1	オムニバ`ス	
	基礎フィールド演習	1通	2		○		1			兼4	オムニバ`ス	
	物理化学	1後	2	○						兼1		
	有機化学 I	1後	2	○						兼1		
	基礎分子生物学	1後	2	○						兼1		
	生物化学 I	1後	2	○						兼1		
	基礎土壌学	1後	2	○						兼2	オムニバ`ス	
	農学原論	1後	2	○					1			
	水環境学	1後	2	○						兼2	オムニバ`ス	
	基礎水理学	1後	2	○						兼1	オムニバ`ス	
	経済原論	1後	2	○				1				
	農業キャリア論	3前	2	○						兼1		
	小計 (28科目)	—	4	48	0	—	3	5	1	1	兼40	—
		農林生産基礎セミナー	1前	2		○	6	5		4		オムニバ`ス
		農林フィールド実習	1前	2		○	5	3		2	兼1	オムニバ`ス
	卒業研究	4通	4		○	8	10	1	7	兼1		
	農業生産学基礎実験 I	2前	2		○	3	5		2		オムニバ`ス	
	農業生産学基礎実験 II	2後	2		○	2	5		2		オムニバ`ス	
	専門英語	2後	2		○	5	7		3		オムニバ`ス	
	果樹園芸学	2前	2	○		1	1				オムニバ`ス	
	野菜園芸学	2前	2	○		2					オムニバ`ス	
	花卉園芸学	2後	2	○		1	1				オムニバ`ス	
	特別研究	3通	4		○	5	7		3	兼1		
	農場専門実習 I	2前	2		○	2	2		2	兼1	オムニバ`ス	
	農場専門実習 II	2後	2		○	2	2		2	兼1	オムニバ`ス	
	作物学	2前	2	○			1					
	植物育種学	2前	2	○		1	1				オムニバ`ス	
	植物栄養化学	2後	2	○						兼1		
	アグリバイオテクノロジー	2後	2	○		1	2				オムニバ`ス	
	施設園芸学	2後	2	○		1	1				オムニバ`ス	
	植物利用化学	2後	2	○		1	1				オムニバ`ス	
	農と食と医療	3前	2	○		2	1		1	兼1	オムニバ`ス	
	六次産業化概論	1後	2		○	3	3	1		兼7	オムニバ`ス	
	地域の六次産業化	2前	2		○	2	2			兼5	オムニバ`ス	
	応用生物学実験	3前	2		○	2	3		1		オムニバ`ス	
	応用化学実験	3後	2		○	2	2		1		オムニバ`ス	
	園芸植物科学専攻実験 I	3前	2		○	4	4				オムニバ`ス	
	園芸植物科学専攻実験 II	3後	2		○	4	4				オムニバ`ス	
	園芸植物科学特別研究演習 I	3前	2		○	4	4				オムニバ`ス	
	園芸植物科学特別研究演習 II	3後	2		○	4	4				オムニバ`ス	
	園芸植物科学英語演習 I	4前	2		○	4	4				オムニバ`ス	
	園芸植物科学英語演習 II	4後	2		○	4	4				オムニバ`ス	
	農業経済学	2後	2	○			1					
	森林ジオインフォマティクス	2後	2	○			1					
	植物系統分類学	2前	2	○						兼1		
	分子生物学	2前	2	○						兼1		
	森林生態学	2後	2	○						兼1		
	森林植物学	2前	2	○						兼1		
	土壌微生物学	2前	2	○						兼1		
	環境昆虫学	2後	2	○						兼1		
	植物栄養生態学	3前	2	○						兼1		
	植物環境工学	3前	2	○						兼1		
	農業生産の基礎	1後	2	○			1		3		オムニバ`ス	

園芸植物科学コース	専門科目	種子と果実の科学	3前	2	○		1	2			オムニハス	
		動物内分泌生理学	3後	2	○					1		
		森林実習 I	1前	1		○						
		森林実習 II	1後	1		○						
		森林海外実習 I	1前	1		○	2	1		1		
		森林海外実習 II	1前	1		○	2	1		1		
		動物生理学	2前	2	○							兼2
		植物生理学	3後	2	○							兼1
		植物分子生物学	3前	2	○							兼1
		細胞生理学	3前	2	○							兼1
		免疫学	2後	2	○							兼1
		遺伝子機能学	2後	2	○							兼1
		多様性植物学	3後	2	○							兼1
		発生生物学	2後	2	○							兼1
		組織・細胞構造学	2後	2	○							兼1
		動物生理生態学	2後	2	○							兼1
		分子細胞学	2前	2	○							兼1
		進化遺伝学	3前	2	○							兼1
		動物系統学	2前	2	○							兼1
		生態学通論	2後	2	○							兼1
		環境生理学	2後	2	○							兼1
		形態形成学	3前	2	○							兼2
		海洋生物学	3前	2	○							兼1
		臨海実習 I	2前	1		○						兼2
		臨海実習 II	2前	1		○						兼2
		臨海実習 III	2前	1		○						兼2
		生物科学特論	2後	2	○							兼1
		細胞生物学特論	2前	2	○							兼1
		水圏・多様性生物学特論	2前	2	○							兼1
		分子細胞生物学 I	2前	2	○							兼1
		分子細胞生物学 II	2後	2	○							兼1
		遺伝子工学	2後	2	○							兼1
		生物化学 II	2前	2	○							兼1
		植物バイオテクノロジー	2後	2	○							兼1
		食品バイオテクノロジー	2後	2	○							兼1
		食品機能学	3前	2	○							兼1
		食品衛生学	3前	2	○							兼1
		生物有機化学	2後	2	○							兼1
		動物細胞工学	3前	2	○							兼1
		植物細胞工学	3前	2	○							兼1
		有機化学 II	2前	2	○							兼1
		化学生物学	2前	2	○							兼1
		生命分子分光学	2前	2	○							兼1
光情報生物化学	2後	2	○							兼1		
微生物機能学	2後	2	○							兼1		
栄養生命科学	2後	2	○							兼1		
バイオシグナル工学	3前	2	○							兼1		
分子認識工学	3前	2	○							兼1		
生物制御化学	3前	2	○							兼1		
食品微生物学	3前	2	○							兼1		
医薬バイオテクノロジー	3前	2	○							兼1		
食分子細胞生物学	3前	2	○							兼1		
食品生化学	3前	2	○							兼1		
生命機能化学特論	3前	2	○							兼1		
食生命科学特論	3前	2	○							兼1		
森林水文学	2後	2	○							兼1		
山地保全学	3後	2	○							兼1		
森林保護学	3前	2	○							兼1		

	水理学Ⅰ	2前		2		○									兼1
	水理学Ⅱ	2後		2		○									兼1
	環境汚染化学	1後		2		○									兼1
	土壌生化学	2前		2		○									兼1
	土壌生態学	2後		2		○									兼1
	土壌物理学	2前		2		○									兼2
	共生微生物学	3前		2		○									兼1
	水環境保全学	2後		2		○									兼1
	水圏生態学	2後		2		○									兼1
	汽水域生態学	3前		2		○									兼1
	実用分析化学	2前		2		○									兼1
	流域水文学	2後		2		○									兼1
	物理学概論(*)	2前				○									
	地学通論(*)	2後				○									
	基礎物理学実験(*)	2前								○					
	地学実験(*)	3前								○					
	小計(114科目)	—	20	197	0	—			8	10	1	7			兼55
専 門 科 目 (学 部 共 通 科 目)	就業体験Ⅰ	2前		1											
	就業体験Ⅱ	2前		1											
	臨海実習Ⅳ	2前		1											
	臨海実習Ⅴ	2前		1											
	森林実習Ⅴ	1前		1											
	里山フィールド演習	1前		2			○								
	果樹園芸の里フィールド演習	1前		2			○								
	里海フィールド演習	1前		2			○								
	森林フィールド演習	1前		2			○								
	酪農フィールド科学演習	1前		2			○								
	森・里・海フィールド演習	1前		2			○								
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前		1							○				
	作物生産科学フィールド演習	1前		2			○								
	臨海資源科学演習	1前		2			○								
	食品資源フィールド科学演習	1前		2			○								
	傾斜地フィールド演習	1前		2			○								
	島根県立大学開講科目(*)														
環境共生学(英語)			2			○									
農林生産学概論(英語)			2			○									
基礎生物学(英語)			2			○									
小計(20科目)	—	0	32	0	—										—
合計(174科目)			—	24	299	0	—								—
学位又は称号		学士(生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係		農学関係						

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 農林生産学科 農業経済学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
自然科学(学)		基礎微積分学Ⅰ	1前		2		○								兼1
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2		○								兼1
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○								兼1
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○								兼1
		アルゴリズム基礎	1後		2		○								兼1

十系学部 共通科目	基礎物理学Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	基礎物理学Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	化学基礎A	1前		2		○								兼1		
	化学基礎B	1前		2		○								兼1		
	地球環境科学概論	1後		2		○								兼1		
	電気電子工学概論	1前		2		○								兼3	オムニハス	
	建築デザイン概論	1前		2		○								兼11	オムニハス	
	小計(12科目)	—	0	22	0	—								兼23	—	
	基盤科目 (学部共通科目)	資源作物・畜産学概論	1後	1			○		1	1						オムニハス
		園芸生産学概論	1後	1			○		3							オムニハス
森林学概論		1後	1			○		2	1		1				オムニハス	
食と農の経済概論		1後	1			○		2	2	1	2				オムニハス	
細胞生物学		1前		2		○								兼2	オムニハス	
遺伝学		1後		2		○				1				兼2	オムニハス	
動物学		1後		2		○		1						兼3	オムニハス	
植物学		1後		2		○		1	1					兼2	オムニハス	
微生物学		1後		2		○								兼3	オムニハス	
物理学		1前		2		○								兼6	オムニハス	
化学		1前		2		○				1				兼5	オムニハス	
生物学		1前		2		○		1						兼5	オムニハス	
地学		1前		2		○								兼2	オムニハス	
生物資源と農学		1後		2		○		2	1						オムニハス	
フードビジネス論入門		1後		2		○				1						
生態学		1後		2		○								兼5	オムニハス	
統計学		1前		2		○		1	1					兼1	オムニハス	
基礎フィールド演習		1通		2			○			1				兼4	オムニハス	
物理化学		1後		2		○								兼1		
有機化学Ⅰ		1後		2		○								兼1		
基礎分子生物学		1後		2		○								兼1		
生物化学Ⅰ		1後		2		○								兼1		
基礎土壌学		1後		2		○								兼2	オムニハス	
農学原論		1後		2		○						1				
水環境学		1後		2		○								兼2	オムニハス	
基礎水理学		1後		2		○								兼1	オムニハス	
経済原論		1後		2		○					1					
農業キャリア論		3前		2		○								兼1		
小計(28科目)	—	4	48	0	—		3	5	1	1			兼40	—		
	農林生産基礎セミナー	1前	2				○	6	5		4				オムニハス	
	農林フィールド実習	1前	2				○	5	3		2			兼1	オムニハス	
	卒業研究	4通	8				○	8	10	1	7			兼1		
	農業経済学	2後	2			○			1							
	農業経営学	2前	2			○		1								
	農政学	2前	2			○					1					
	農業経済外書講読セミナー	2後	2				○		1							
	専攻演習Ⅰ	3前	1				○	2	2	1	2					
	専攻演習Ⅱ	3後	1				○	2	2	1	2					
	専攻演習Ⅲ	4前	1				○	2	2	1	2					
	専攻演習Ⅳ	4後	1				○	2	2	1	2					
	農業生産の基礎	1後		2		○			1			3				
	農場専門実習Ⅰ	2前		2			○	2	2		2			兼1	オムニハス	
	農場専門実習Ⅱ	2後		2			○	2	2		2			兼1	オムニハス	
	農業のための生物統計学	2後		2		○			1							
	作物学	2前		2		○			1							
	耕地栽培学	2前		2		○			1			1				
	植物育種学	2前		2		○		1	1						オムニハス	
	果樹園芸学	2前		2		○		1	1						オムニハス	
	野菜園芸学	2前		2		○		2							オムニハス	
資源作物学	2後		2		○			1			1			オムニハス		

農業経済学コース	専 門 科 目	施設園芸学	2後	2	○		1		1		兼1	オムニハス		
		花卉園芸学	2後	2	○		1	1				兼1	オムニハス	
		家畜栄養学	2前	2	○		1							
		家畜繁殖学	2前	2	○									
		国際農業研究論	2後	2	○									
		農業と食育	2後	2			○		1					
		六次産業化概論	1後	2			○	5	1	1	2		兼2	オムニハス
		地域の六次産業化	2前	2			○	2	1				兼5	オムニハス
		農業生産学基礎実験Ⅰ	2前	2			○						兼10	オムニハス
		農業生産学基礎実験Ⅱ	2後	2			○						兼10	オムニハス
		ミクロ経済学	2前	2		○			1					
		マクロ経済学	2前	2		○						1		
		食農市場セミナー	2後	2		○				2		1		オムニハス
		農学史	2後	2		○						1		
		農史	2後	2		○		1						
		農村調査分析論	2通	4		○		2		1	1			
		地域経済学	3前	2		○					1			
		農業経済統計解析学	2後	2		○		1						
		農業会計情報学	3前	2		○			1					
		国際農村発展論	3前	2		○						1		
		地域資源管理学	3後	2		○			1					
		農業経営形態論	3後	2		○			1					
		森林計画学	2前	2		○						1		
		山村経済学	3後	2		○		1						
		林政学	2後	2		○		1						
		森林利用学	3前	2		○		1						
		森林統計学	2前	2		○		1						
		森林経済学	2後	2		○							兼1	
		森林人間関係学	2前	2		○							兼1	
		森林生態社会学	2前	2		○							兼1	
		森林実習Ⅰ	1前	1			○							
		森林実習Ⅱ	1後	1			○							
		森林海外実習Ⅰ	1前	1			○	2	1		1			
		森林海外実習Ⅱ	1前	1			○	2	1		1			
		測樹学	2後	2		○							兼1	
		森林調査実習	3前	2			○						兼3	オムニハス
		森林学実習	3前	1			○						兼4	オムニハス
		森林測量学実習	3前	1			○						兼1	
		造林学	2後	2		○							兼1	
		森林土壌学	2後	2		○							兼1	
		植物病理学概論	2前	2		○							兼1	
		農薬環境科学	2後	2		○							兼1	
		送粉生態学	2前	2		○							兼1	
天敵利用学	3前	2		○							兼1			
植物保護学	3後	2		○							兼1			
地域計画学	2後	2		○							兼1			
農地保全学	3後	2		○							兼1			
水質水文学	3前	2		○							兼1			
バイオマス利用学	3前	2		○							兼1			
生物環境ロボティクス	2後	2		○							兼1			
水と緑の環境工学	3前	2		○							兼1			
構造力学の基礎	2前	2		○							兼1			
測量学Ⅰ	2前	2		○							兼1			
測量学Ⅱ	2後	2		○							兼1			
構造力学	2後	2		○							兼1			
土質工学Ⅰ	2前	2		○							兼1			
土質工学Ⅱ	2後	2		○							兼1			
かんがい排水学Ⅰ	3前	2		○							兼2	オムニハス		

	かんがい排水学Ⅱ	3後		2		○									兼2	オムニバス
	水利施設工学Ⅰ	3前		2		○									兼1	
	建設材料工学	3前		2		○									兼1	
	構造設計論	3後		2		○									兼1	
	農地工学	2後		2		○									兼1	
	水文統計学	3後		2		○									兼1	
	水利施設工学Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	経済政策論Ⅰ	2前		2		○										
	財政学Ⅰ	3前		2		○										
	物理学概論(*)	2前				○										
	地学通論(*)	2後				○										
	基礎物理学実験(*)	2前								○						
	地学実験(*)	3前								○						
	小計(92科目)	—	24	150	0	—				8	10	1	7		兼50	—
専門科目 (学部共通科目)	就業体験Ⅰ	2前		1						○						
	就業体験Ⅱ	2前		1						○						
	臨海実習Ⅳ	2前		1						○						
	臨海実習Ⅴ	2前		1						○						
	森林実習Ⅴ	1前		1						○						
	里山フィールド演習	1前		2			○									
	果樹園芸の里フィールド演習	1前		2			○									
	里海フィールド演習	1前		2			○									
	森林フィールド演習	1前		2			○									
	酪農フィールド科学演習	1前		2			○									
	森・里・海フィールド演習	1前		2			○									
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前		1						○						
	作物生産科学フィールド演習	1前		2			○									
	臨海資源科学演習	1前		2			○									
	食品資源フィールド科学演習	1前		2			○									
	傾斜地フィールド演習	1前		2			○									
	島根県立大学開講科目(*)															
環境共生学(英語)			2			○										
農林生産学概論(英語)			2			○										
基礎生物学(英語)			2			○										
小計(20科目)	—	0	32	0	—											—
合計(152科目)			—	28	252	0	—									—
学位又は称号		学士(生物資源科学)			学位又は学科の分野			理学関係			農学関係					

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 農林生産学科 森林学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然科学系学部共通科目		基礎微積分学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2		○									兼1
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○									兼1
		アルゴリズム基礎	1後		2		○									兼1
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○									兼1
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○									兼1
		化学基礎A	1前		2		○									兼1

目) 通 科 目	化学基礎B	1前		2		○								兼1
	地球環境科学概論	1後		2		○								兼1
	電気電子工学概論	1前		2		○								兼3 オムニバ ^ス
	建築デザイン概論	1前		2		○								兼11 オムニバ ^ス
	小計 (12科目)	—	0	22	0	—								兼23 —
基 盤 科 目 (学 部 共 通 科 目)	資源作物・畜産学概論	1後	1			○		1	1					オムニバ ^ス
	園芸生産学概論	1後	1			○		3						オムニバ ^ス
	森林学概論	1後	1			○		2	1		1			オムニバ ^ス
	食と農の経済概論	1後	1			○		2	2	1	2			オムニバ ^ス
	細胞生物学	1前		2		○								兼2 オムニバ ^ス
	遺伝学	1後		2		○			1					兼2 オムニバ ^ス
	動物学	1後		2		○		1						兼3 オムニバ ^ス
	植物学	1後		2		○		1	1					兼2 オムニバ ^ス
	微生物学	1後		2		○								兼3 オムニバ ^ス
	物理学	1前		2		○								兼6 オムニバ ^ス
	化学	1前		2		○			1					兼5 オムニバ ^ス
	生物学	1前		2		○		1						兼5 オムニバ ^ス
	地学	1前		2		○								兼2 オムニバ ^ス
	生物資源と農学	1後		2		○		2	1					オムニバ ^ス
	フードビジネス論入門	1後		2		○			1					
	生態学	1後		2		○								兼5 オムニバ ^ス
	統計学	1前		2		○		1	1					兼1 オムニバ ^ス
	基礎フィールド演習	1通		2			○		1					兼4 オムニバ ^ス
	物理化学	1後		2		○								兼1
	有機化学I	1後		2		○								兼1
	基礎分子生物学	1後		2		○								兼1
	生物化学I	1後		2		○								兼1
	基礎土壌学	1後		2		○								兼2 オムニバ ^ス
	農学原論	1後		2		○					1			
	水環境学	1後		2		○								兼2 オムニバ ^ス
	基礎水理学	1後		2		○								兼1 オムニバ ^ス
	経済原論	1後		2		○					1			
	農業キャリア論	3前		2		○								
小計 (28科目)	—	4	48	0	—		3	5	1	1			兼40 —	
	農林生産基礎セミナー	1前	2			○		6	5		4			オムニバ ^ス
	農林フィールド実習	1前	2				○	5	3		2			兼1 オムニバ ^ス
	卒業研究	4通	8				○	8	10	1	7			兼1
	測樹学	2後	2			○			1					
	森林計画学	2前	2			○					1			
	森林ジオインフォマティクス	2後	2			○			1					
	森林調査実習	3前	2				○	1	1		1			オムニバ ^ス
	山村経済学	3後	2			○		1						
	林政学	2後	2			○		1						
	森林利用学	3前	2			○		1						
	森林学実習	3前	1				○	2	1		1			オムニバ ^ス
	森林測量学実習	3前	1				○	1						
	森林統計学	2前	2			○		1						
	森林学英语演習	3前	1				○	2	1		1			オムニバ ^ス
	専攻演習I	3前	1				○	2	1		1			
	専攻演習II	3後	1				○	2	1		1			
	専攻演習III	4前	1				○	2	1		1			
	専攻演習IV	4後	1				○	2	1		1			
	森林経済学	2後	2			○								兼1
	森林人間関係学	2前	2			○								兼1
	森林生態社会学	2前	2			○								兼1
	林業技術実習I	2前	1				○	2	1		1			兼1
林業技術実習II	2後	1				○	2	1		1			兼1	
森林生態学	2後		2		○								兼1	

森林学 コース	専 門 科 目	森林植物学	2前	2	○							兼1		
		造林学	2後	2	○								兼1	
		森林土壌学	2後	2	○								兼1	
		森林水文学	2後	2	○								兼1	
		山地保全学	3後	2	○								兼1	
		農業生産の基礎	1後	2	○				1		3		オムニバス	
		農業のための生物統計学	2後	2	○				1					
		六次産業化概論	1後	2		○	3	1	1				兼7	オムニバス
		地域の六次産業化	2前	2		○	2	1					兼5	オムニバス
		ミクロ経済学	2前	2	○				1					
		マクロ経済学	2前	2	○							1		
		農業経済学	2後	2	○				1					
		食農市場セミナー	2後	2	○				2			1		オムニバス
		農業経営学	2前	2	○			1						
		農政学	2前	2	○							1		
		地域経済学	3前	2	○						1			
		地域資源管理学	3後	2	○				1					
		農業経済統計解析学	2後	2	○			1						
		国際農村発展論	3前	2	○							1		
		農業経営形態論	3後	2	○				1					
		森林法律	3前	2	○			1						
		森林実習Ⅰ	1前	1			○							
		森林実習Ⅱ	1後	1			○							
		森林実習Ⅲ	2前	1			○							
		森林実習Ⅳ	2後	1			○							
		森林海外実習Ⅰ	1前	1			○	2	1			1		
		森林海外実習Ⅱ	1前	1			○	2	1			1		
		植物系統分類学	2前	2	○									兼1
		森林保護学	3前	2	○									兼1
		植物病理学概論	2前	2	○									兼1
		土壌微生物学	2前	2	○									兼1
		環境昆虫学	2後	2	○									兼1
		植物保護学	3後	2	○									兼1
		共生微生物学	3前	2	○									兼1
		測量学Ⅰ	2前	2	○									兼1
		測量学Ⅱ	2後	2	○									兼1
		土壌生化学	2前	2	○									兼1
		土壌生態学	2後	2	○									兼1
		水環境保全学	2後	2	○									兼1
		流域水文学	2後	2	○									兼1
		汽水域生態学	3前	2	○									兼1
		環境と複雑系	3前	2	○									兼1
		生物環境ロボティクス	2後	2	○									兼1
		実用分析化学	2前	2	○									兼1
		水質水文学	3前	2	○									兼1
		バイオマス利用学	3前	2	○									兼1
		土壌物理学	2前	2	○									兼1
		水圏生態学	2後	2	○									兼1
		物理学概論(*)	2前		○									
		地学通論(*)	2後		○									
		基礎物理学実験(*)	2前				○							
		地学実験(*)	3前											
		小計(76科目)	—	43	92	0	—	8	10	1	7		兼38	—
			就業体験Ⅰ	2前	1			○						
			就業体験Ⅱ	2前	1			○						
			臨海実習Ⅳ	2前	1			○						
			臨海実習Ⅴ	2前	1			○						
			森林実習Ⅴ	1前	1			○						

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

① 社会的背景と設置目的

急速なグローバル化への対応、少子高齢化、エネルギー・食料供給の安定化、地球温暖化防止、環境保全など急激な変化に対応した方策が大学にも求められている。地方における人口減少や産業の衰退は大きな社会問題であり、この解決が地方大学の使命のひとつになっている。島根大学では、島根大学憲章に「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すことを謳い、これまで学生・教職員協働のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進してきた。より良い地域の未来創出のため、学部の教育研究体制を見直し、既設の生物資源科学部を改組する。その目的は、地域ニーズを適切に汲み上げ、産業振興による定住人口の拡大に資する理系人材の養成である。

② 教育体制の現状と課題

本学部は、「生物、生命、生産、生活を包含するライフを総合的に科学する学部」を理念として、農学部と理学部の生物学科を統合した新領域の学部として、平成7年10月に5学科（生物科学科、生態環境科学科、生命工学科、農業生産学科、地域開発科学科）で設置された。学部設置15年の間に、資源浪費型社会から生物資源・地域資源の環境に配慮した活用・創造・保全・管理が求められる環境調和型社会へと大きく変化してきた。即ち、環境への負荷を低減しつつ、高付加価値で低コスト化を実現する生産を継続的に行う生産・管理技術が求められるようになった。その結果、地域というエリア内で限られた生物資源・地域資源を環境に配慮して活用・創造・保全・管理していく実学的かつ統合的あるいは俯瞰的な教育を、特に生産、環境の分野において実施し、新技術革新を創造・管理できる人材を育成することが、従来にも増して求められるようになってきた。これに対応すべく、平成24年4月に5学科の内、3学科（生態環境科学科、農業生産学科、地域開発科学科）を再編統合して2学科（農林生産学科、地域環境科学科）を設置し、4学科（生物科学科、生命工学科、農林生産学科、地域環境科学科）に改組・再編し、現在に至っている。これまで、設置当初の理念通り、各学科ともに学生に対し、目的とする知識・技術を身に付けさせており、多くの卒業生が地域産業の技術者・研究者や公務員・関係団体職員等として就職し、各々の専門分野で活躍している。その意味では、学部設置当初に期待された通り、地域・社会の発展を支える人材養成・供給を行っており、一定の成果を上げている。

しかしながら、ここ5年余りの間に、情報化やグローバル化が急速に進展し、農林業を取り巻く社会的環境も大きく変化しつつあり、今後さらに、食料の安全性と品質の向上や持続性の高い食料生産の実現、森林・水・土環境の保全・修復、生命現象の解明とその応用技術の開発や機能性食品・医薬品開発などの領域で、農学系“理工系グローバル人材”を養成することが強く要請されている。特に山陰地域のニーズとして要望が高い食品製造業、ヘルスケア産業、6次産業化分野に資する人材の育成が強く求められているところである。また環境分野においても、人類の持続的社会と持続的生産性の維持という大きな課題のもと、農産物の生産基盤を維持する環境保全が重要な側面である。島根大学に近接する汽水域などの地域的な環境から、森・里・海という一連の広域的な生態的視野、加えて持続的生産性の向上とそれを支える生産基盤という課題を解決する人材養成が急務となっている。

一方で、大学教育に対する期待や価値観も多様性を増し、学士課程教育に求められる目的・期待は、単なる、特定の専門知識・技能の修得から、より幅広い教養的知識に支えられた人間力が必要とされるようになってきている。特に、生命科学や環境科学の分野では新規知見や研究手法の開発が急速に進んでおり、農学分野においても生命科学や環境科学を基盤にしたより幅広い知識や技術を修得した人材を輩出し、健康で豊かな生活の実現に貢献することが強く求められている。

③ 改組の方向性

現行の4学科（生物科学科、生命工学科、農林生産学科、地域環境科学科）を再編統合して3学科（生命科学科、農林生産学科、環境共生科学科）を設置する。

これまで20年間、独立の学科として教育研究体制を維持してきた生物科学科と生命工学科を融合し生命科学科を設置し、基礎的な生物学から応用的なバイオテクノロジーまでを学び、幅広く教育研究する学科とする。農林生産学科は、農林畜産業を中心とした生物生産や森林資源の保全・管理、その経営を学び、6次産業化を推進するための教育研究する学科とする。農林業生産分野に属していた森林環境系と生態環境系の教員を移行し地域環境科学科の教員とともに環境共生科学科を設置し、森、里、海と広範囲な環境を学び、持続的な生物資源を利活用するための教育研究を行なう学科とする。

生物資源科学部改組の必要性

鳥根県総合戦略 (H27.10) 及び鳥根総合発展計画 (H28.3) によると、鳥根県内企業 (製造業) が技術開発や販路開拓等に取り組む上で、高度な知識・経験を有する専門的な産業人材 (理系プロフェッショナル人材) が必要とされている。

実際、平成28年8月の山陰地方の企業・自治体を対象にしたアンケート調査でも、**食品製造業・ヘルスケア産業・6次産業化、環境技術**分野で活躍できる人材の養成が要望されている。また、生物資源科学部の「ミッションの再定義」(①汽水域の生物資源の利活用、②高齢化社会における豊かな農山村の創造に寄与する学際的研究) をさらに進展させるためにも、これらの分野で活躍できる高度技術者の養成が必要となっている。本学部が担うべき社会的責任に対応する「生命」、「生産」、「環境」に焦点を当て、これら3分野をより明確にした3学科に改組し、特に地域社会から要請の高い分野の理系人材を育成すること目標としている。

生命系・生産系・環境系の3学科に再編

生命系：生命機能の解明と生物資源の利活用 (食品製造業・ヘルスケア産業)

生産系：食料生産技術の開発と安定供給 (公務員・団体職員・6次産業化)

環境系：生態環境の保全・修復・管理・利用 (公務員・環境技術)

- ・生命工学科と生物科学科が融合した生命系学科を新設
- ・農林業の持続可能な生産技術・6次産業化を指向した生産系学科に再編
- ・地域環境科学科に農林生産学科生態分野を融合した環境系学科を新設
- ・一連の再編で地域人材の育成や自然科学研究科博士前期課程での理系人材の育成が可能となる

新たな人材養成像

(新) 生物資源科学部 [入学定員200名+3年次編入学定員15名]

生命科学、農林生産、食料、農業経営・経済、生態環境に関する幅広い知識と、生物資源を有効に利活用できる技術や知識、さらに生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を有し、国際的視野に立って、これらを活用した産業・地方自治体に貢献できる人材を育成する。

生命科学科(定員70名)

細胞生物学コース 水圏・多様性生物学コース 生命機能化学コース 食生命科学コース

基本的生命現象を総合的に理解する能力と、生命・生物資源を解析する高度な技術を身につけ、それらの知識や技術を利用することにより社会に貢献できる人材を養成する。

農林生産学科(定員60名)

資源作物・畜産学コース 園芸植物科学コース 農業経済学コース 森林学コース

農林産物に関する持続可能な生産技術や、農業経営・経済についての総合的な知識を身につけ、農林業がもたらす豊かな人間生活の実現に貢献できる人材を養成する。

環境共生科学科(定員70名)

環境生物学コース 生態環境学コース 環境動態学コース 地域工学コース

環境調和型社会の確立を目指し土・水・生物などの資源の調査・評価及び生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を習得し社会に貢献できる人材を養成する。

(現) 生物資源科学部

[入学定員200名+3年次編入学定員20名]

生物科学科 (30)

生命工学科 (40)

農林生産学科 (85)

農業生産学コース
森林学コース
農林生態科学コース
農村経済学コース

地域環境科学科 [45]

生態環境科学コース
環境資源工学コース
地域工学コース

学内連携

研究センター 医学部
人間科学部 法文学部 教育学部

④教育研究の理念と目標

(1)生物資源科学部の教育・研究の理念と目標

設置当初の「ライフを総合的に科学する学部」を教育・研究の理念とすることには変わりはないが、これからの時代を担うべき社会的責任に対応する「生命」、「生産」、「環境」に焦点を当て、これら3分野をより明確にした3学科に改組することで、特に地域社会から要請の高い分野の理系人材を育成することを目標としている。

(2)農林生産学科の教育・研究の理念と目標

農産物および林産物に関する持続可能な生産技術や、経営・経済についての総合的な知識を身につけることにより、生産現場が抱えるさまざまな問題を解決し、農林業がもたらす豊かな人間生活の実現に貢献できる人材を育成するため、下記の4つの教育コースを設置する。

「資源作物・畜産学コース」

イネ、イモ、ダイズなどの作物および牛や羊などの反すう家畜による食用カロリー、タンパク源生産などのための農産物の生理・機能性、効率的・持続可能な生産技術に関する理解を深めることで作物生産や畜産分野で活躍する技能を有した人材を育成する。

「園芸植物科学コース」

野菜、花き、果樹などの園芸作物を材料とし、植物資源開発、植物工場、園芸植物利用に関する理解を深めることで園芸生産や利用分野で活躍する技能を有した人材を育成する。

「農業経済学コース」

食料、農業、農村をめぐる社会経済問題を総合的に理解し、社会科学の視点から独自に考察・提案する能力を育むことで、農業を基軸とする持続可能な地域社会を創造するために必要な技能を有した人材を育成する。

「森林学コース」

森林資源の育成・管理、モニタリング、森林政策、木材生産、エネルギー利用を中心に、森林・林業に関する総合的な知識を身につけ、地域や社会の要請に応じて中山間地域の振興から地球環境問題まで幅広い問題を解決する能力を備えた人材を育成する。

⑤養成する人材像

(1)生物資源科学部

生命科学、農林生産、食料、農業経営・経済、生態環境に関する幅広い知識と、生物資源を有効に利活用できる技術や知識、さらに生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を有し、国際的視野に立って、これらを活用した産業・地方自治体に貢献できる人材を育成する。

(2)農林生産学科

農林産物に関する持続可能な生産技術や、農業経営・経済についての総合的な知識を身につけ、農林業がもたらす豊かな人間生活の実現に貢献できる人材を養成する。特に、食料の安全性と品質の向上や持続性の高い食料生産の領域で、農学系“理工系グローバル人材”を養成することが強く要請されており、農林生産学科では、特に山陰地域のニーズとして要望が高い6次産業化分野に資する人材を育成する。

⑥3つの方針（ポリシー）

(1)アドミッションポリシー

農林生産学科の入学受け入れ方針

農林生産学科では、自然、生物、食に興味があり、農林水産業の実態・技術・研究・普及に関する知識と技能を深めようとする、次のような人を受け入れる。

1. 高等学校教育レベルの基礎的な学力を十分に身に付けている人
2. 自ら学ぼうとする姿勢を持ち、他者と協力して学べる誠実な人
3. 山陰地域の農林水産業が抱える課題とその解決に強い関心を持っている人
4. 国内外の農林水産業の発展に貢献しようとする強い意欲を持っている人

(2)教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

生物資源科学部の教育課程編成・実施の方針

1. 1年次～2年次では、主として全学共通教育を履修する。全学共通教育は、基礎科目として「外国語」「健康・スポーツ、文化・芸術」「情報科学」の科目群、教養育成科目として「人文・社会分野」「自然分野」「学際分野」の科目群がある。全学共通教育は教育目標として「知の探求者として育つ」「市民社会の形成者として育つ」「地域社会の創造者として育つ」「国際社会の貢献者として育つ」「自己の開拓者として育つ」の5つを掲げており、これらの科目を修得することで、専門教育の基礎となる力を養うとともに、教養ある社会人として必要な、幅広い知識、思考力、語学力、コミュニケーション能力を涵養する。

2. 1年次の前期には、それぞれの教育コースで「初年次教育科目」を設けている。専門教育科目を履修する準備として、レポートを書く力やプレゼンテーションする力などの「学ぶ技術」を養う。また、グループ学習によって、他者と協調・協働して行動する力などを身につけることができる。

3. 1年次では、学科・教育コースを問わない学部共通科目として開講される「基盤科目」の中から、それぞれの教育コースで、必修、選択必修、または選択科目に定められた科目を選択して履修する。専門教育科目を履修する準備として、理学や農学に関わる基礎的な知識と総合的視点を身につけることができる。

4. 2年次以降は、それぞれの教育コースで定められたカリキュラムにそって「専門科目」を履修する。なお、各教育コースでの詳細な専門科目の履修に関しては「履修の手引」に記載している。

5. 「専門科目」は、各専門分野におけるより高度な専門知識・技能を修得するとともに、批判的思考力や問題の発見・解決能力を涵養することを目的として開講され、教育コース毎に講義、演習、実験、実習を体系的に組み合わせて実施する。講義系の授業群では、専門分野の知識を体系的に身につけ、また、その理解をレポートなどで文章化することが求められる。演習・実験・実習系の授業群では、卒業研究の準備として、基礎となる実験、文献やデータに基づく発表、英語科学論文の内容理解など、より実践的で能動的な態度と技能を身につけることが求められる。

6. 実習系の授業群の中には、地域の恵まれた環境を生かして、附属生物資源教育研究センターおよび各教育コースが開講する多様なフィールド教育科目がある。これらの科目では、自然現象を素直に感受し、その摂理を創造的に解析する力、生物・生命・生産・環境に関する諸問題を総合的に捉え、解決する力を養う。

7. 4年次には、「卒業研究」を履修する。担当教員の指導のもとに、自らが研究課題を定め、文献やデータなどの収集、解析を行い、卒業研究を完成する。口頭発表などの審査を含め、複数の教員による厳正な審査が行われる。

(3) 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

生物資源科学部の学位授与の方針

生物資源科学部では、学士課程において以下に掲げる能力を身に付けた者に学位「生物資源科学」を授与する。

1. 人間・社会・自然に関する幅広い教養を身につけている。
2. 理学や農学に関わる基礎的な知識を身につけている。
3. 研究の一環として、英語科学論文の内容を理解することができる。
4. 多角的な視点、批判的思考力を備え、各専門分野における課題の解決に主体的に取り組むことができる。
5. 研究の一環として、必要なデータを収集・整理し、それらを解析して結論を論理的に導くことができる。
6. 得られた研究成果を文章や口頭で適切に表現することができる。
7. 社会で活かすことができる専門知識や技能を身につけている。

II 教育課程編成の考え方・特色

新しく再編統合した3学科では、情報化やグローバル化による農林業を取り巻く社会的環境の変化に対応できる人材を育成するための教育を行う。生物科学科と生命工学科を融合した生命科学科では、基礎的な生物学から応用的なバイオテクノロジーまでを学び、生命を解析する高度な技術を身につける。農林生産学科では、農林畜産業を中心とした生物生産について学び、農産物および林産物に関する持続可能な生産技術や6次産業化、経営・経済についての総合的な知識を身につける。地域環境科学科に環境生物系部門を編入した環境共生科学科では、森、里、海と広範囲な環境を生態学的および工学的観点から学び、中山間地域の資源及び生態環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する。このような教育を達成するためには、各分野での専門的教育に加え、より基礎的なレベルでの分野の枠を超えた幅広い知識・技能・思考力をも養成する必要がある。現在、生物資源科学研究科と総合理工学研究科を統合して自然科学研究科を設置する計画であるが、その基盤となる本学士課程では、従来の「基盤科目」に加え、総合理工学部が開講する「自然科学系学部共通科目」を専門教育科目として新たに設置し、より幅広いレベルの専門基礎科目を学ぶ。

本学士課程専門教育の各科目区分およびその特色は、以下のとおりである。

「自然科学系学部共通科目（4単位）」

全学科共通で、総合理工学部が開講する8科目の中から2科目を選択して履修する。従来の生物資源科学部開講の生物系、農学系の基盤科目に加えて、数理情報系、物理系、電気電子工学系など従来よりも幅広いレベルの専門基礎科目を学び、学際的視野を広げる。

「基盤科目（12～22単位）」

専門教育科目を履修する準備として、理学や農学に関わる基礎的な知識と総合的視点を身につける。学部共通で履修ができ、かつ、各分野の教育目標に合わせて履修プログラムが設定されている。

「専門科目（63～74単位）」

より高度な専門教育に必要な科目として設定されており、各学科の教育課程編成方針や到達目標、ならびに各学生の進路に基づく履修計画に応じて履修する。専門科目は原則として各学科が提供するが、他学科提供の専門科目についても、必要に応じて履修可能とする。

特に、今回の学科再編成にあたり、山陰地域のニーズとして要望が高い学問領域における人材を養成するための科目を開講することで、それぞれの分野の教育を強化している。さらに、PBL科目として、多様な自然環境に恵まれた学部立地条件を活かした実習科目によるフィールド教育を全学科で充実させ、さらに、「就業体験」等の履修により、自然観察・調査能力、現場での問題発見・解決能力などを身につける。

本学部では、授業レベルや科目分類を明示するための「科目ナンバリング」の導入により、学生がカリキュラムの履修において、教育課程の体系が容易に理解でき、その難易度や科目間の連携などが分かるようにしている。これにより、学生は計画的で体系的な学習が可能となっている。また、学生の学修到達度を数値化するため、GPA制度を導入し、学修成果を学生に明示して学習意欲の向上につなげるとともに、指導教員は学期毎の学習状況を把握し、きめ細かい指導の一助としている。

学生の指導体制

各学生には指導教員1名をつけ、学習指導、履修指導、生活指導等を行う。

学部内共通プログラム

学部-博士前期一貫プログラム

学科の何れかの教育コースに所属し、通常より早い3年次から研究室に配属し、博士前期課程にわたる一貫した教育、研究を行う。これにより、通常のプログラムに比べて、より高い研究能力、課題解決能力を持つ人材を育成する。同時に、大学院進学率の向上を図る。プログラム生は、学部または博士前期課程の早期卒業（修了）制度を利用して、学部入学から最短5年で博士前期課程を修了できるものとする。プログラム生の選考は学部2年開始時及び3年開始時に行う。

COC人材育成プログラム

地元就職して地域振興に貢献する人材を育成することを目的とし、将来地域に貢献したいという強い意欲を持つ学生を対象とする。学科の通常のプログラム生と同様に専門分野の基礎的知識・技能を修得する他、学科ごとに指定された地域に関連した科目を重点的に履修する。プログラム履修生は地域貢献人材育成入試により選考し、学科の何れかの教育コースに所属する。

農林生産学科の特色

農林生産学科では、農林業生産による豊かな人間社会の実現を目指して、農林産物に関する持続可能な生産技術、生産組織の経営や地域経済への影響についての教育と研究を行う。本学科のカリキュラムは、現場からの思考に基づく課題発見と問題解決を重視しており、農林業に関する知識・技術の普及に対しても意欲的に取り組む人材を養成することに特色がある。自然環境に恵まれた山陰地域を主要なフィールドとしながら日本の中山間地域を活性化するため、イネ、ダイズなどの資源作物および牛や羊などの家畜の効率的・持続可能な生産技術、園芸作物を対象とした植物資源開発、栽培管理技術、園芸加工、農業経営や地域社会をフィールドとした産業・地域振興、森林の育成や保全、森林資源の管理・計画および森林に関する政策や経済等に関する、さまざまな手法や最新技術を駆使し、基盤的・応用的学問分野について理解を深める。地域社会と連携して六次産業化にも取り組むことで、農林業の収益力の向上と中山間地域の経済的な自立にも寄与し、論理的思考力、問題解決能力を身に付け、社会で活躍するための資質能力を向上させる。

教育の特色

農林生産学科では、国内外の農林業生産の基礎から応用まで幅広く学べるよう豊富な授業科目を用意している。1年時には基盤科目や農林生産基礎セミナー、農林フィールド実習により基礎学力を涵養し、さらに2年次からは特色のある4つの教育コース「資源作物・畜産学」、「園芸植物科学」、「農業経済学」、「森林学」のいずれかの教育コースを選択することで、より専門的な知識を身に付ける。また、本学科では、幅広い学問分野によって構成されているという特長を生かし、相互に連携することにより、農林業生産を幅広く俯瞰することができる能力を養成する。国内外の農林業生産に関する講義、演習、実験、自然環境に恵まれた山陰地域での実習、卒業研究等からなるカリキュラムを提供する。特に、今回の学科再編成にあたり、山陰地域のニーズとして要望が高い6次産業化分野に対応した「六次産業化概論」、「地域の六次産業化」、「農業と食育」、「農と食と医療」、「農業経済学」、「農業経営学」、「食農市場セミナー」などを開設することで、これらの分野の教育を強化している。3年次からは、各研究室に配属され、演習や卒業研究を通じて実践的な知識を学ぶ。農林生産学科は、附属生物資源教育研究センター農業生産科学部門（農場）および森林科学部門（演習林）と教育・研究で連携し、センター教員の指導を受けられるフィールドを活用した卒業研究も行えるようにする（次頁の図「農林生産学科履修モデル」を参照）。

農林生産学科では、今回の学科再編成にあたり強化した教育分野の科目（例；六次産業化概論、地域の六次産業化、農業と食育など）を修得することで、地域社会からの要望が高い6次産業化分野への就職の道を準備している（次頁の図「設置科目と人材養成像との関連」を参照）。

教育指導の工夫

地域社会から要請の高い上記分野の理系人材を育成するため、これらの分野に対応した講義科目を新設することに加え、これらの科目の受講学生への教育効果を高めることを目的として、就業体験科目、PBL型科目を設置し、新設科目を含むこれらの関連科目を担当する教員と、教育推進センター、地域未来戦略センター、産学連携センター等の学内リソースや学外リソース（公設試験機関、県内実業高校、県立大、高専等）と連携したFDを実施して、教育指導方法を工夫していく。

農林生産学科履修モデル

教育コース	1年次	2年次	3年次	4年次
資源作物・畜産学	全学共通教育科目			
	自然科学系学部共通科目 (地球環境科学概論他)	専門科目		英語演習 卒業研究
	基盤科目 (植物学、動物学他)	資源作物学、植物育種学、 作物学、農業と食育他	動物内分泌・分子生物学、 アグリバイオテクノロジー他	
基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験		
園芸植物科学	全学共通教育科目			
	自然科学系学部共通科目 (基礎微分積分学他)	専門科目		英語演習 卒業研究
	基盤科目 (植物学、統計学他)	耕地栽培学、果樹園芸学、 作物栄養学、野菜園芸学他	花卉園芸学、施設園芸学、 種子と果実の科学他	
基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験		
農業経済学	全学共通教育科目			
	自然科学系学部共通科目 (基礎線形代数学他)	専門科目		卒業演習 卒業研究
	基盤科目 (農学原論、経済原論他)	地域の六次産業化、農政学、 農学史、農業経営学、他	農業経済学、地域経済学、 食農市場セミナー他	
基礎セミナー・実習	セミナー／演習	セミナー／演習		
森林学	全学共通教育科目			
	自然科学系学部共通科目 (アルゴリズム基礎他)	専門科目		卒業演習 卒業研究
	基盤科目 (植物学、統計学他)	森林計画学、森林統計学、 測樹学、森林情報学他	山村経済学、森林利用学、 森林法律、林政学他	
基礎セミナー・実習	実習／演習	実習／演習		

設置科目と人材養成像との関連

農林生産学科

「六次産業化概論」
 「地域の六次産業化」
 「農と食と医療」「農業と食育」
 「農業経済学」「農業経営学」
 「食農市場セミナー」など



食料の安全性と品質の向上や持続
 性の高い食料生産：
 6次産業化分野

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>卒業要件及び履修方法</p> <p>[卒業要件] 各コースは、全学共通教育科目、及び専門教育科目の自然科学系学部共通科目、基盤科目、専門科目から以下の単位数を修得し、合計128単位以上を修得すること。(1学期間における履修科目の登録の上限：28単位)</p> <p>[履修方法]</p> <p>農林生産学科 資源作物・畜産学コース 全学共通教育科目 30単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 22単位以上(必修4単位) 専門科目 64単位以上(必修20単位、選択必修34単位)</p> <p>農林生産学科 園芸植物科学コース 全学共通教育科目 30単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 22単位以上(必修4単位) 専門科目 64単位以上(必修20単位、選択必修34単位)</p> <p>農林生産学科 農業経済学コース 全学共通教育科目 30単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 18単位以上(必修4単位) 専門科目 66単位以上(必修24単位、選択必修20単位)</p> <p>農林生産学科 森林学コース 全学共通教育科目 30単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 18単位以上(必修4単位) 専門科目 66単位以上(必修43単位、選択必修8単位)</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分
<p>【学部－博士前期一貫プログラム】</p> <p>[卒業・修了要件] 所属する学科・コースの卒業・修了要件と同じ。</p> <p>[履修方法] ・プログラム生の選考は2年開始時または3年開始時に行う。 ・プログラム配属後は1学期間における履修科目の登録の上限は設けない。 ・プログラム配属後は科目の履修年次の制限を設けず、上級生向け科目も履修可能とする。 ・3年次から研究室に入り、研究を開始する。 ・4年次は大学院科目の早期履修を可能とする。 ・優秀な学生は、学部または博士前期課程の早期卒業(修了)制度を利用して、学部と博士前期課程を計5年で卒業・修了することも可能とする。</p> <p>【COC人材育成プログラム】</p> <p>[プログラム修了要件] 所属する学科・コースの卒業要件を満たし、かつ、各コースで指定した地域指向科目の中から定められた単位以上を修得すること。</p> <p>[履修方法] ・所属コースの履修方法に従って履修するとともに、地域指向科目の中から必要な単位を修得する。 ・1学期間における履修科目の登録の上限は所属する学科・コースと同じ。</p>		

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 環境共生科学科 環境生物学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
自然科学系学部共通科目 (学部共通科目)		基礎微分積分学Ⅰ	1前		2		○									兼1		
		基礎微分積分学Ⅱ	1後		2		○									兼1		
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○									兼1		
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○									兼1		
		アルゴリズム基礎	1後		2		○									兼1		
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○									兼1		
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○									兼1		
		化学基礎A	1前			2		○								兼1		
		化学基礎B	1前			2		○								兼1		
		地球環境科学概論	1後			2		○								兼1		
		電気電子工学概論	1前			2		○								兼3	オムニバス	
		建築デザイン概論	1前			2		○								兼11	オムニバス	
		小計(12科目)		—	0	22	0			—							兼23	—
基盤科目 (学部共通科目)		統計学	1前	2			○				1					兼2	オムニバス	
		細胞生物学	1前		2		○									兼2	オムニバス	
		遺伝学	1後		2		○									兼3	オムニバス	
		動物学	1後		2		○									兼4	オムニバス	
		植物学	1後		2		○									兼4	オムニバス	
		微生物学	1後		2		○				1					兼2	オムニバス	
		物理学	1前		2		○				2	1				兼3	オムニバス	
		化学	1前		2		○				1			1		兼4	オムニバス	
		生物学	1前		2		○					1		1		兼4	オムニバス	
		地学	1前		2		○				2						オムニバス	
		生物資源と農学	1後		2		○									兼3	オムニバス	
		フードビジネス論入門	1後		2		○									兼1		
		生態学	1後		2		○				1	2				兼2	オムニバス	
		基礎フィールド演習	1通		2			○				1				兼4	オムニバス	
		物理化学	1後		2		○									兼1		
		有機化学Ⅰ	1後		2		○									兼1		
		基礎分子生物学	1後		2		○									兼1		
		生物化学Ⅰ	1後		2		○									兼1		
		基礎土壌学	1後		2		○				1					兼1	オムニバス	
		農学原論	1後		2		○									兼1		
		水環境学	1後		2		○				2						オムニバス	
		基礎水理学	1後		2		○					1						
		経済原論	1後		2		○						1					
		農業キャリア論	3前		2		○										兼1	
		資源作物・畜産学概論	1後		1		○									兼2	オムニバス	
		園芸生産学概論	1後		1		○									兼3	オムニバス	
		森林学概論	1後		1		○									兼4	オムニバス	
		食と農の経済概論	1後		1		○									兼7	オムニバス	
	小計(28科目)		—	2	50	0			—	7	6		2			兼24	—	
		環境共生科学入門	1前	2			○				10	14	1	8		兼1	オムニバス	
		環境共生科学概論	1後	2			○				10	14	1	8		兼1	オムニバス	
		環境共生科学基礎セミナー	1前	1				○			10	14	1	8		兼1	オムニバス	
		卒論演習	4通	2				○			10	14	1	8		兼1		

環境生物学コース	専門科目	卒業研究	4通	8				○	10	14	1	8	兼1	
		動物生態学実験	2後	1				○	1	2				
		植物病理学実験	2前	1				○	2					
		微生物生態学実験	2後	1				○		1		1		
		森林生態学実習	2前	1				○		2				
		森林環境学実習	2後	1				○		1		1		兼1
		専攻実験A	3前	1				○	10	14	1	8		兼1
		専攻実験B	3後	1				○	10	14	1	8		兼1
		環境生物学専攻演習 I	3前	1			○		4	6		2		兼1
		植物病理学概論	2前	2			○		1					
		土壌微生物学	2前	2			○		1					
		共生微生物学	3前	2			○					1		
		環境昆虫学	2後	2			○			1				
		農薬環境科学	2後	2			○			1				
		送粉生態学	2前	2			○		1					
		天敵利用学	3前	2			○			1				
		植物保護学	3後	2			○		1					
		森林生態学	2後	2			○			1				
		森林植物学	2前	2			○			1				
		森林土壌学	2後	2			○				1		1	
		森林水文学	2後	2			○			1				
		水圏生態学	2後	2			○		1					
		汽水域生態学	3前	2			○			1				
		土壌生態学	2後	2			○			1				
		植物栄養生態学	3前	2			○		1					
		外書講読 I	2後	1			○		10	14	1	8		兼1
		外書講読 II	2後	1			○		10	14	1	8		兼1
		専攻特別実験A	3前	1					○	10	14	1	8	兼1
		専攻特別実験B	3後	1					○	10	14	1	8	兼1
		専攻演習B	3後	1			○		10	14	1	8		兼1
		造林学	2後	2			○			1				
		山地保全学	3前	2			○			1				
		森林保護学	3前	2			○							兼1
		水環境保全学	2後	2			○			1				
		水質環境工学	3前	2			○		1			1		兼1
		実用分析化学	2前	2			○			1				
		植物環境工学	3前	2			○		1					
		水質水文学	3前	2			○		1					
		土壌生化学	2前	2			○			1				
		バイオマス利用学	3前	2			○					1		
		応用数学 I	1前	2			○		1					
		環境と複雑系	3前	2			○			1				
		環境汚染化学	1後	2			○			1				
		生物環境ロボティクス	2後	2			○			1				
水と緑の環境工学	3前	2			○		1							
土壌物理学	2前	2			○				1	1		兼1		
構造力学の基礎	2前	2			○			1						
応用数学 II	1後	2			○			1						
水理学 I	2前	2			○			1						
測量学 I	2前	2			○					1				
測量学 II	2後	2			○				1					
構造力学	2後	2			○			1						
土質工学 I	2前	2			○					1				
土質工学 II	2後	2			○					1				
かんがい排水学 I	3前	2			○		1		1			兼1		
かんがい排水学 II	3後	2			○		1		1			兼1		
流域水文学	2後	2			○		1							
水利施設工学 I	3前	2			○			1						

専門科目	建設材料工学	3前	2	○			1							
	地域計画学	2後	2	○			1							
	水理学Ⅱ	2後	2	○			1							
	構造設計論	3後	2	○			1							
	応用数学Ⅲ	2前	2	○		1								
	農地工学	2後	2	○					1					
	農地保全学	3後	2	○						1				
	水文統計学	3後	2	○							1			
	水利施設工学Ⅱ	3後	2	○				1						
	測量実習Ⅰ	2前	1			○								兼1
	測量実習Ⅱ	2後	1			○								兼1
	植物系統分類学	2前	2	○										兼1
	環境生理学	2後	2	○										兼2 オムニバス
	多様性植物学	3後	2	○										兼1
	生態学通論	2後	2	○										兼1
	海洋生物学	3前	2	○										兼1
	生物統計解析学	3前	2	○										兼2 オムニバス
	光情報生物化学	2後	2	○										兼1
	微生物機能学	2後	2	○										兼1
	生物統計学	2後	2	○										兼1
	地域資源管理学	3後	2	○										兼1
	森林計画学	2前	2	○										兼1
	森林ジオインフォマティクス	2後	2	○										兼1
	林政学	2後	2	○										兼1
	森林利用学	3前	2	○										兼1
	森林人間関係学	2前	2	○										兼1
	森林生態社会学	2前	2	○										兼1
	森林実習Ⅰ	1前	1			○								
	森林実習Ⅱ	1後	1			○								
	物理学概論(*)	2前			○									
	地学通論(*)	2後			○									
	基礎物理学実験(*)	2前					○							
地学実験(*)	3前					○								
小計(95科目)	—	55	115	0	—		10	14	1	8			兼18	
専門科目 (学部 共通科目)	就業体験Ⅰ	2前	1			○								
	就業体験Ⅱ	2前	1			○								
	臨海実習Ⅳ	2前	1			○								
	臨海実習Ⅴ	2前	1			○								
	森林実習Ⅴ	1前	1			○								
	里山フィールド演習	1前	2		○									
	果樹園芸の里フィールド演習	1前	2		○									
	里海フィールド演習	1前	2		○									
	森林フィールド演習	1前	2		○									
	酪農フィールド科学演習	1前	2		○									
	森・里・海フィールド演習	1前	2		○									
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1			○								
	作物生産科学フィールド演習	1前	2		○									
	臨海資源科学演習	1前	2		○									
	食品資源フィールド科学演習	1前	2		○									
	傾斜地フィールド演習	1前	2		○									
	島根県立大学開講科目(*)													
環境共生学(英語)		2		○										
農林生産学概論(英語)		2		○										
基礎生物学(英語)		2		○										
小計(20科目)	—	0	32	0	—								—	
合計(155科目)	—	57	219	0	—								—	
学位又は称号	学士(生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係	農学関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 環境共生科学科 生態環境学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
自然科学系学部共通科目(学部共通科目)		基礎微分積分学Ⅰ	1前		2		○									兼1		
		基礎微分積分学Ⅱ	1後		2		○									兼1		
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○									兼1		
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○									兼1		
		アルゴリズム基礎	1後		2		○									兼1		
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○									兼1		
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○									兼1		
		化学基礎A	1前		2		○									兼1		
		化学基礎B	1前		2		○									兼1		
		地球環境科学概論	1後		2		○									兼1		
		電気電子工学概論	1前		2		○									兼3	オムニバス	
		建築デザイン概論	1前		2		○									兼11	オムニバス	
		小計(12科目)		—	0	22	0	—								兼23	—	
基盤科目(学部共通科目)		統計学	1前	2			○				1					兼2	オムニバス	
		細胞生物学	1前		2		○									兼2	オムニバス	
		遺伝学	1後		2		○									兼3	オムニバス	
		動物学	1後		2		○									兼4	オムニバス	
		植物学	1後		2		○									兼4	オムニバス	
		微生物学	1後		2		○				1					兼2	オムニバス	
		物理学	1前		2		○				2	1				兼3	オムニバス	
		化学	1前		2		○				1			1		兼4	オムニバス	
		生物学	1前		2		○					1		1		兼4	オムニバス	
		地学	1前		2		○				2						オムニバス	
		生物資源と農学	1後		2		○									兼3	オムニバス	
		フードビジネス論入門	1後		2		○									兼1		
		生態学	1後		2		○				1	2				兼2	オムニバス	
		基礎フィールド演習	1通		2			○				1				兼4	オムニバス	
		物理化学	1後		2		○									兼1		
		有機化学Ⅰ	1後		2		○									兼1		
		基礎分子生物学	1後		2		○									兼1		
		生物化学Ⅰ	1後		2		○									兼1		
		基礎土壌学	1後		2		○				1					兼1	オムニバス	
		農学原論	1後		2		○									兼1		
		水環境学	1後		2		○				2						オムニバス	
		基礎水理学	1後		2		○					1						
		経済原論	1後		2		○						1					
		農業キャリア論	3前		2		○										兼1	
		資源作物・畜産学概論	1後		1		○									兼2	オムニバス	
		園芸生産学概論	1後		1		○									兼3	オムニバス	
		森林学概論	1後		1		○									兼4	オムニバス	
		食と農の経済概論	1後		1		○									兼7	オムニバス	
	小計(28科目)		—	2	50	0	—			7	5		2		兼24	—		
		環境共生科学入門	1前	2			○				10	14	1	8		兼1	オムニバス	
		環境共生科学概論	1後	2			○				10	14	1	8		兼1	オムニバス	
		環境共生科学基礎セミナー	1前	1				○			10	14	1	8		兼1	オムニバス	
		卒論演習	4通	2				○			10	14	1	8		兼1		

生態環境学コース	卒業研究	4通	8				○	10	14	1	8	兼1
	生態環境科学実習	2後	1				○	2	2			
	環境分析化学実験	2前	1				○		1		1	
	専攻実験A	3前	1				○	10	14	1	8	兼1
	専攻実験B	3後	1				○	10	14	1	8	兼1
	送粉生態学	2前	2			○		1				
	森林生態学	2後	2			○			1			
	水環境保全学	2後	2			○			1			
	水圏生態学	2後	2			○		1				
	汽水域生態学	3前	2			○			1			
	土壌生態学	2後	2			○				1		
	植物栄養生態学	3前	2			○		1				
	水質環境工学	3前	2			○		1			1	オムニバス
	実用分析化学	2前	2			○			1			
	植物環境工学	3前	2			○		1				
	バイオマス利用学	3前	2			○						1
	外書講読Ⅰ	2後	1				○	10	14	1	8	兼1
	外書講読Ⅱ	2後	1				○	10	14	1	8	兼1
	動物生態学実験	2後	1				○	1	2			
	微生物生態学実験	2後	1				○		1		1	
	森林生態学実習	2前	1				○		2			
	森林環境学実習	2後	1				○		1		1	兼1
	環境資源工学実習	2後	1				○	1	1		1	
	専攻特別実験A	3前	1				○	10	14	1	8	兼1
	専攻特別実験B	3後	1				○	10	14	1	8	兼1
	専攻演習B	3後	1				○	10	14	1	8	兼1
	植物病理学概論	2前	2			○		1				
	土壌微生物学	2前	2			○		1				
	共生微生物学	3前	2			○					1	
	環境昆虫学	2後	2			○			1			
	森林植物学	2前	2			○			1			
	森林土壌学	2後	2			○					1	
	森林水文学	2後	2			○			1			
	山地保全学	3前	2			○			1			
	森林保護学	3前	2			○						兼1
	土壌生化学	2前	2			○			1			
	環境汚染化学	1後	2			○			1			
	水と緑の環境工学	3前	2			○		1				
	土壌物理学	2前	2			○				1	1	オムニバス
	水理学Ⅰ	2前	2			○			1			
	流域水文学	2後	2			○		1				
	水理学Ⅱ	2後	2			○			1			
	植物生理学	3後	2			○						兼1
免疫学	2後	2			○						兼1	
動物生理生態学	2後	2			○						兼1	
遺伝子機能学	2後	2			○						兼1	
植物系統分類学	2前	2			○						兼1	
環境生理学	2後	2			○						兼2	
進化遺伝学	3前	2			○						兼1	
多様性植物学	3後	2			○						兼1	
生態学通論	2後	2			○						兼1	
海洋生物学	3前	2			○						兼1	
動物系統学	2前	2			○						兼1	
生物統計解析学	3前	2			○						兼2	
臨海実習Ⅰ	2前	1				○					兼3	
臨海実習Ⅱ	2前	1				○					兼3	
臨海実習Ⅲ	2前	1				○					兼3	
水圏・多様性生物学特論	2前	2			○						兼1	

専
門
科
目

	動物生理学	2前		2		○														兼2
	発生生物学	2後		2		○														兼1
	組織・細胞構造学	2後		2		○														兼1
	植物分子生物学	3前		2		○														兼1
	細胞生理学	3前		2		○														兼1
	分子細胞学	2前		2		○														兼1
	形態形成学	3前		2		○														兼2
	生物科学特論	2後		2		○														兼1
	細胞生物学特論	2前		2		○														兼1
	分子細胞生物学Ⅰ	2前		2		○														兼1
	分子細胞生物学Ⅱ	2後		2		○														兼1
	遺伝子工学	2後		2		○														兼1
	生物化学Ⅱ	2前		2		○														兼1
	有機化学Ⅱ	2前		2		○														兼1
	分子生物学	2前		2		○														兼1
	化学生物学	2前		2		○														兼1
	生命分子分光学	2前		2		○														兼1
	植物バイオテクノロジー	2後		2		○														兼1
	光情報生物化学	2後		2		○														兼1
	微生物機能学	2後		2		○														兼1
	食品バイオテクノロジー	2後		2		○														兼1
	栄養生命科学	2後		2		○														兼1
	生物有機化学	2後		2		○														兼1
	動物細胞工学	3前		2		○														兼1
	バイオシグナル工学	3前		2		○														兼1
	分子認識工学	3前		2		○														兼1
	生物制御化学	3前		2		○														兼1
	食品微生物学	3前		2		○														兼1
	医薬バイオテクノロジー	3前		2		○														兼1
	食品機能学	3前		2		○														兼1
	植物細胞工学	3前		2		○														兼1
	食分子細胞生物学	3前		2		○														兼1
	食品生化学	3前		2		○														兼1
	食品衛生学	3前		2		○														兼1
	生命機能化学特論	3前		2		○														兼1
	食生命科学特論	3前		2		○														兼1
	作物学	2前		2		○														兼1
	耕地栽培学	2前		2		○														兼1
	植物栄養化学	2後		2		○														兼1
	森林ジオインフォマティクス	2後		2		○														兼1
	アグリバイオテクノロジー	2後		2		○														兼3 オムニバス
	植物利用化学	2後		2		○														兼2 オムニバス
	種子と果実の科学	3前		2		○														兼3 オムニバス
	動物内分泌生理学	3後		2		○														兼1
	生物学実験	3後		2		○														兼9
	物理学概論(*)	2前				○														
	地学通論(*)	2後				○														
	基礎物理学実験(*)	2前								○										
	地学実験(*)	3前								○										
	小計(111科目)	—	41	161	0	—				10	14	1	8							兼32
専 門 科	就業体験Ⅰ	2前		1						○										
	就業体験Ⅱ	2前		1						○										
	臨海実習Ⅳ	2前		1						○										
	臨海実習Ⅴ	2前		1						○										
	森林実習Ⅴ	1前		1						○										
	里山フィールド演習	1前		2					○											
	果樹園芸の里フィールド演習	1前		2					○											
里海フィールド演習	1前		2					○												

目 (学部共通科目)	森林フィールド演習	1前		2				○													
	酪農フィールド科学演習	1前		2				○													
	森・里・海フィールド演習	1前		2				○													
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前		1					○												
	作物生産科学フィールド演習	1前		2				○													
	臨海資源科学演習	1前		2				○													
	食品資源フィールド科学演習	1前		2				○													
	傾斜地フィールド演習	1前		2				○													
	島根県立大学開講科目(*)																				
	環境共生学(英語)			2				○													
	農林生産学概論(英語)			2				○													
	基礎生物学(英語)			2				○													
	小計(20科目)		—	0	32	0			—												—
合計(171科目)			—	43	265	0		—													—
学位又は称号		学士(生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係		農学関係												

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要(事前伺い)																
(生物資源科学部 環境共生科学科 環境動態学コース)																
教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然科学系学部共通科目 (学部共通科目)		基礎微積分学Ⅰ	1前		2			○								兼1
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2			○								兼1
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2			○								兼1
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2			○								兼1
		アルゴリズム基礎	1後		2			○								兼1
		基礎物理学Ⅰ	1前		2			○								兼1
		基礎物理学Ⅱ	1後		2			○								兼1
		化学基礎A	1前		2			○								兼1
		化学基礎B	1前		2			○								兼1
		地球環境科学概論	1後		2			○								兼1
		電気電子工学概論	1前		2			○								兼3
		建築デザイン概論	1前		2			○								兼11
	小計(12科目)		—	0	22	0		—								兼23
基盤科目 (学部共通)		統計学	1前	2				○			1					兼2
		細胞生物学	1前		2			○								兼2
		遺伝学	1後		2			○								兼3
		動物学	1後		2			○								兼4
		植物学	1後		2			○								兼4
		微生物学	1後		2			○			1					兼2
		物理学	1前		2			○			2	1				兼3
		化学	1前		2			○			1			1		兼4
		生物学	1前		2			○				1		1		兼4
		地学	1前		2			○			2					兼1
		生物資源と農学	1後		2			○								兼3
		フードビジネス論入門	1後		2			○								兼1
		生態学	1後		2			○			1	2				兼2
		基礎フィールド演習	1通		2				○			1				兼4
		物理化学	1後		2				○							兼1
	有機化学Ⅰ	1後		2				○							兼1	
	基礎分子生物学	1後		2				○							兼1	

科目)	生物化学 I	1後	2		○								兼1		
	基礎土壌学	1後	2		○			1					兼1	オムニバ ^ス	
	農学原論	1後	2		○								兼1		
	水環境学	1後	2		○			2						オムニバ ^ス	
	基礎水理学	1後	2		○				1						
	経済原論	1後	2		○					1					
	農業キャリア論	3前	2		○								兼1		
	資源作物・畜産学概論	1後	1		○								兼2	オムニバ ^ス	
	園芸生産学概論	1後	1		○								兼3	オムニバ ^ス	
	森林学概論	1後	1		○								兼4	オムニバ ^ス	
	食と農の経済概論	1後	1		○								兼7	オムニバ ^ス	
	小計 (28科目)	—	2	50	0		—		7	5		2		兼24	—
	環境動態学コース	環境共生科学入門	1前	2		○			10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス
		環境共生科学概論	1後	2		○			10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス
		環境共生科学基礎セミナー	1前	1			○		10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス
		卒論演習	4通	2			○		10	14	1	8		兼1	
		卒業研究	4通	8				○	10	14	1	8		兼1	
		環境分析化学実験	2前	1				○		1		1			
		環境資源工学実習	2後	1				○	1	1		1			
		専攻実験B	3後	1				○	10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス
水環境保全学		2後	2		○				1						
水圏生態学		2後	2		○			1							
水質環境工学		3前	2		○			1			1			オムニバ ^ス	
実用分析化学		2前	2		○				1						
水質水文学		3前	2		○			1							
バイオマス利用学		3前	2		○						1				
水と緑の環境工学		3前	2		○			1							
土壌物理学		2前	2		○						1	1		オムニバ ^ス	
水理学 I		2前	2		○				1						
かんがい排水学 I		3前	2		○			1			1			オムニバ ^ス	
流域水文学		2後	2		○			1							
農地工学		2後	2		○						1				
農地保全学		3後	2		○						1				
外書講読 I		2後	1			○		10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス	
外書講読 II		2後	1			○		10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス	
専攻実験A		3前	1				○	10	14	1	8		兼1		
水理学実験		3前	1				○	1			1				
土質理工学実験		3前	1				○				1	1			
土木材料学実験		3前	1				○			1		1			
専攻特別実験A		3前	1				○	10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス	
専攻特別実験B		3後	1				○	10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス	
専攻演習B		3後	1			○		10	14	1	8		兼1	オムニバ ^ス	
植物病理学概論		2前	2		○			1							
土壌微生物学		2前	2		○			1							
共生微生物学		3前	2		○						1				
環境昆虫学		2後	2		○					1					
農薬環境科学		2後	2		○					1					
送粉生態学		2前	2		○			1							
天敵利用学		3前	2		○					1					
植物保護学		3後	2		○			1							
森林生態学		2後	2		○					1					
森林植物学		2前	2		○					1					
造林学	2後	2		○					1						
森林土壌学	2後	2		○							1				
森林水文学	2後	2		○					1						
山地保全学	3前	2		○					1						
森林保護学	3前	2		○								兼1			
専	汽水域生態学	3前	2		○				1						

共通科目	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1					○													
	作物生産科学フィールド演習	1前	2					○													
	臨海資源科学演習	1前	2					○													
	食品資源フィールド科学演習	1前	2					○													
	傾斜地フィールド演習	1前	2					○													
	島根県立大学開講科目 (*)																				
	環境共生学 (英語)		2					○													
	農林生産学概論 (英語)		2					○													
	基礎生物学 (英語)		2					○													
	小計 (20科目)		—	0	32	0			—												—
合計 (152科目)			—	46	227	0		—													—
学位又は称号		学士 (生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係 農学関係														

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格 A 4 縦型)

教育課程等の概要 (事前伺い)

(生物資源科学部 環境共生科学科 地域工学コース)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
自然科学系学部共通科目 (学部共通科目)		基礎微積分学Ⅰ	1前		2		○											兼1	
		基礎微積分学Ⅱ	1後		2		○											兼1	
		基礎線形代数学Ⅰ	1前		2		○											兼1	
		基礎線形代数学Ⅱ	1後		2		○											兼1	
		アルゴリズム基礎	1後		2		○											兼1	
		基礎物理学Ⅰ	1前		2		○											兼1	
		基礎物理学Ⅱ	1後		2		○											兼1	
		化学基礎A	1前		2		○											兼1	
		化学基礎B	1前		2		○											兼1	
		地球環境科学概論	1後		2		○											兼1	
		電気電子工学概論	1前		2		○											兼3	オムニバス
		建築デザイン概論	1前		2		○											兼11	オムニバス
		小計 (12科目)		—	0	22	0		—										兼23
基盤科目 (学部共通科目)		統計学	1前	2			○				1							兼2	オムニバス
		細胞生物学	1前		2		○											兼2	オムニバス
		遺伝学	1後		2		○											兼3	オムニバス
		動物学	1後		2		○											兼4	オムニバス
		植物学	1後		2		○											兼4	オムニバス
		微生物学	1後		2		○				1							兼2	オムニバス
		物理学	1前		2		○				2	1						兼3	オムニバス
		化学	1前		2		○				1			1				兼4	オムニバス
		生物学	1前		2		○					1		1				兼4	オムニバス
		地学	1前		2		○				2								オムニバス
		生物資源と農学	1後		2		○											兼3	オムニバス
		フードビジネス論入門	1後		2		○											兼1	
		生態学	1後		2		○				1	2						兼2	オムニバス
		基礎フィールド演習	1通		2				○			1						兼4	オムニバス
		物理化学	1後		2			○										兼1	
	有機化学Ⅰ	1後		2			○										兼1		
	基礎分子生物学	1後		2			○										兼1		
	生物化学Ⅰ	1後		2			○										兼1		
	基礎土壌学	1後		2			○			1							兼1	オムニバス	
	農学原論	1後		2			○										兼1		

	水環境学	1後	2	0	○		2						オムニバ ^ス
	基礎水理学	1後	2	0	○			1					
	経済原論	1後	2	0	○								兼1
	農業キャリア論	3前	2	0	○								兼1
	資源作物・畜産学概論	1後	1	0	○								兼2 オムニバ ^ス
	園芸生産学概論	1後	1	0	○								兼3 オムニバ ^ス
	森林学概論	1後	1	0	○								兼4 オムニバ ^ス
	食と農の経済概論	1後	1	0	○								兼7 オムニバ ^ス
	小計 (28科目)	—	2	50	0	—	5	4	0	2			兼29 —
地域工学コース	環境共生科学入門	1前	2	0	○		10	14	1	8			兼1 オムニバ ^ス
	環境共生科学概論	1後	2	0	○		10	14	1	8			兼1 オムニバ ^ス
	環境共生科学基礎セミナー	1前	1	0	○		10	14	1	8			兼1 オムニバ ^ス
	外書講読Ⅲ	2後	1	0	○		10	14	1	8			兼1 オムニバ ^ス
	卒論演習	4通	2	0	○		10	14	1	8			兼1
	卒業研究	4通	8	0	○		10	14	1	8			兼1
	水理学実験	3前	1	0	○		1				1		
	土質理工学実験	3前	1	0	○					1	1		
	土木材料学実験	3前	1	0	○				1		1		
	エンジニアリングデザイン演習	3後	1	0	○		1	2	1		3		オムニバ ^ス
	水質水文学	3前	2	0	○		1						
	水と緑の環境工学	3前	2	0	○		1						
	土壌物理学	2前	2	0	○					1	1		オムニバ ^ス
	構造力学の基礎	2前	2	0	○				1				
	水理学Ⅰ	2前	2	0	○				1				
	測量学Ⅰ	2前	2	0	○						1		
	測量学Ⅱ	2後	2	0	○					1			
	構造力学	2後	2	0	○				1				
	土質工学Ⅰ	2前	2	0	○							1	
	土質工学Ⅱ	2後	2	0	○							1	
	かんがい排水学Ⅰ	3前	2	0	○		1			1			オムニバ ^ス
	かんがい排水学Ⅱ	3後	2	0	○		1			1			オムニバ ^ス
	流域水文学	2後	2	0	○		1						
	水利施設工学Ⅰ	3前	2	0	○				1				
	建設材料工学	3前	2	0	○				1				
	地域計画学	2後	2	0	○				1				
	農地工学	2後	2	0	○					1			
	農地保全学	3後	2	0	○					1			
	測量実習Ⅰ	2前	1	0	○								兼1
	測量実習Ⅱ	2後	1	0	○								兼1
	専攻特別実験A	3前	1	0	○		10	14	1		8		兼1
	専攻特別実験B	3後	1	0	○		10	14	1		8		兼1
	植物病理学概論	2前	2	0	○		1						
	農薬環境科学	2後	2	0	○				1				
	送粉生態学	2前	2	0	○		1						
	天敵利用学	3前	2	0	○				1				
	植物保護学	3後	2	0	○		1						
	造林学	2後	2	0	○				1				
	森林土壌学	2後	2	0	○							1	
	バイオマス利用学	3前	2	0	○							1	
	応用数学Ⅰ	1前	2	0	○		1						
	環境汚染化学	1後	2	0	○				1				
生物環境ロボティクス	2後	2	0	○				1					
応用数学Ⅱ	1後	2	0	○				1					
水理学Ⅱ	2後	2	0	○				1					
構造設計論	3後	2	0	○				1					
応用数学Ⅲ	2前	2	0	○		1							
水文統計学	3後	2	0	○							1		
水利施設工学Ⅱ	3後	2	0	○				1					

専門科目

耕地栽培学	2前	2	○									兼1
農業経済学	2後	2	○									兼1
農業経営学	2前	2	○									兼1
農政学	2前	2	○									兼1
地域経済学	3前	2	○									兼1
作物学	2前	2	○									兼1
植物育種学	2前	2	○									兼2 オムニバス
果樹園芸学	2前	2	○									兼2 オムニバス
野菜園芸学	2前	2	○									兼2 オムニバス
資源作物学	2後	2	○									兼2 オムニバス
施設園芸学	2後	2	○									兼2 オムニバス
花卉園芸学	2後	2	○									兼2 オムニバス
家畜栄養学	2前	2	○									兼1
家畜繁殖学	2前	2	○									兼1
国際農業研究論	2後	2	○									兼1
六次産業化概論	1後	2				○						兼7 オムニバス
地域の六次産業化	2前	2				○						兼5 オムニバス
測樹学	2後	2	○									兼1
森林計画学	2前	2	○									兼1
山村経済学	3後	2	○									兼1
林政学	2後	2	○									兼1
森林利用学	3前	2	○									兼1
森林統計学	2前	2	○									兼1
食農市場セミナー	2後	2	○									兼3 オムニバス
農学史	2後	2	○									兼1
農史	2後	2	○									兼1
農村調査分析論	2通	4	○									兼4
農業経済統計解析学	2後	2	○									兼1
農業会計情報学	3前	2	○									兼1
国際農村発展論	3前	2	○									兼1
地域資源管理学	3後	2	○									兼1
農業経営形態論	3後	2	○									兼1
森林経済学	2後	2	○									兼1
農業と食育	2後	2				○						兼1
農業生産の基礎	1後	2	○									兼4
物理学概論(*)	2前		○									
地学通論(*)	2後		○									
基礎物理学実験(*)	2前					○						
地学実験(*)	3前					○						
小計(88科目)	—	58	108	0	—		10	14	1	8		兼9
専門科目 (学部共通科目)	就業体験Ⅰ	2前	1			○						
	就業体験Ⅱ	2前	1			○						
	臨海実習Ⅳ	2前	1			○						
	臨海実習Ⅴ	2前	1			○						
	森林実習Ⅴ	1前	1			○						
	里山フィールド演習	1前	2			○						
	果樹園芸の里フィールド演習	1前	2			○						
	里海フィールド演習	1前	2			○						
	森林フィールド演習	1前	2			○						
	酪農フィールド科学演習	1前	2			○						
	森・里・海フィールド演習	1前	2			○						
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1			○						
	作物生産科学フィールド演習	1前	2			○						
	臨海資源科学演習	1前	2			○						
	食品資源フィールド科学演習	1前	2			○						
	傾斜地フィールド演習	1前	2			○						
島根県立大学開講科目(*)												
環境共生学(英語)		2			○							

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

① 社会的背景と設置目的

急速なグローバル化への対応、少子高齢化、エネルギー・食料供給の安定化、地球温暖化防止、環境保全など急激な変化に対応した方策が大学にも求められている。地方における人口減少や産業の衰退は大きな社会問題であり、この解決が地方大学の使命のひとつになっている。島根大学では、島根大学憲章に「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すことを謳い、これまで学生・教職員協働のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進してきた。より良い地域の未来創出のため、学部の教育研究体制を見直し、既設の生物資源科学部を改組する。その目的は、地域ニーズを適切に汲み上げ、産業振興による定住人口の拡大に資する理系人材の養成である。

② 教育体制の現状と課題

本学部は、「生物、生命、生産、生活を包含するライフを総合的に科学する学部」を理念として、農学部と理学部の生物学科を統合した新領域の学部として、平成7年10月に5学科（生物科学科、生態環境科学科、生命工学科、農業生産学科、地域開発科学科）で設置された。学部設置15年の間に、資源浪費型社会から生物資源・地域資源の環境に配慮した活用・創造・保全・管理が求められる環境調和型社会へと大きく変化してきた。即ち、環境への負荷を低減しつつ、高付加価値で低コスト化を実現する生産を継続的に行う生産・管理技術が求められるようになった。その結果、地域というエリア内で限られた生物資源・地域資源を環境に配慮して活用・創造・保全・管理していく実学的かつ統合的あるいは俯瞰的な教育を、特に生産、環境の分野において実施し、新技術革新を創造・管理できる人材を育成することが、従来にも増して求められるようになってきた。これに対応すべく、平成24年4月に5学科の内、3学科（生態環境科学科、農業生産学科、地域開発科学科）を再編統合して2学科（農林生産学科、地域環境科学科）を設置し、4学科（生物科学科、生命工学科、農林生産学科、地域環境科学科）に改組・再編し、現在に至っている。これまで、設置当初の理念通り、各学科ともに学生に対し、目的とする知識・技術を身に付けさせており、多くの卒業生が地域産業の技術者・研究者や公務員・関係団体職員等として就職し、各々の専門分野で活躍している。その意味では、学部設置当初に期待された通り、地域・社会の発展を支える人材養成・供給を行っており、一定の成果を上げている。

しかしながら、ここ5年余りの間に、情報化やグローバル化が急速に進展し、農林業を取り巻く社会的環境も大きく変化しつつあり、今後さらに、食料の安全性と品質の向上や持続性の高い食料生産の実現、森林・水・土環境の保全・修復、生命現象の解明とその応用技術の開発や機能性食品・医薬品開発などの領域で、農学系“理工系グローバル人材”を養成することが強く要請されている。特に山陰地域のニーズとして要望が高い食品製造業、ヘルスケア産業、6次産業化分野に資する人材の育成が強く求められているところである。また環境分野においても、人類の持続的社会と持続的生産性の維持という大きな課題のもと、農産物の生産基盤を維持する環境保全が重要な側面である。島根大学に近接する汽水域などの地域的な環境から、森・里・海という一連の広域的な生態的視野、加えて持続的生産性の向上とそれを支える生産基盤という課題を解決する人材養成が急務となっている。

一方で、大学教育に対する期待や価値観も多様性を増し、学士課程教育に求められる目的・期待は、単なる、特定の専門知識・技能の修得から、より幅広い教養的知識に支えられた人間力が必要とされるようになってきている。特に、生命科学や環境科学の分野では新規知見や研究手法の開発が急速に進んでおり、農学分野においても生命科学や環境科学を基盤にしたより幅広い知識や技術を修得した人材を輩出し、健康で豊かな生活の実現に貢献することが強く求められている。

③改組の方向性

現行の4学科（生物科学科、生命工学科、農林生産学科、地域環境科学科）を再編統合して3学科（生命科学科、農林生産学科、環境共生科学科）を設置する。

これまで20年間、独立の学科として教育研究体制を維持してきた生物科学科と生命工学科を融合し生命科学科を設置し、基礎的な生物学から応用的なバイオテクノロジーまでを学び、幅広く教育研究する学科とする。農林生産学科は、農林畜産業を中心とした生物生産や森林資源の保全・管理、その経営を学び、6次産業化を推進するための教育研究する学科とする。農林業生産分野に属していた森林環境系と生態環境系の教員を移行し地域環境科学科の教員とともに環境共生科学科を設置し、森、里、海と広範囲な環境を学び、持続的な生物資源を利活用するための教育研究を行なう学科とする。

生物資源科学部改組の必要性

島根県総合戦略 (H27.10) 及び島根総合発展計画 (H28.3) によると、島根県内企業(製造業)が技術開発や販路開拓等に取り組む上で、高度な知識・経験を有する専門的な産業人材(理系プロフェッショナル人材)が必要とされている。

実際、平成28年8月の山陰地方の企業・自治体を対象にしたアンケート調査でも、**食品製造業・ヘルスケア産業・6次産業化、環境技術**分野で活躍できる人材の養成が要望されている。また、生物資源科学部の「ミッションの再定義」(①汽水域の生物資源の利活用、②高齢化社会における豊かな農山村の創造に寄与する学際的研究)をさらに進展させるためにも、これらの分野で活躍できる高度技術者の養成が必要となっている。本学部が担うべき社会的責任に対応する「生命」、「生産」、「環境」に焦点を当て、これら3分野をより明確にした3学科に改組し、特に地域社会から要請の高い分野の理系人材を育成すること目標としている。

生命系・生産系・環境系の3学科に再編

生命系：生命機能の解明と生物資源の利活用(食品製造業・ヘルスケア産業)

生産系：食料生産技術の開発と安定供給(公務員・団体職員・6次産業化)

環境系：生態環境の保全・修復・管理・利用(公務員・環境技術)

- ・生命工学科と生物科学科が融合した生命系学科を新設
- ・農林業の持続可能な生産技術・六次産業化を指向した生産系学科に再編
- ・地域環境科学科に農林生産学科生態分野を融合した環境系学科を新設
- ・一連の再編で地域人材の育成や自然科学研究科博士前期課程での理系人材の育成が可能となる

新たな人材養成像

(新) 生物資源科学部 [入学定員200名+3年次編入学定員15名]

生命科学、農林生産、食料、農業経営・経済、生態環境に関する幅広い知識と、生物資源を有効に活用できる技術や知識、さらに生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を有し、国際的視野に立って、これらを活用した産業・地方自治体に貢献できる人材を育成する。

生命科学科(定員70名)

細胞生物学コース 水圏・多様性生物学コース 生命機能化学コース 食生命科学コース

基本的生命現象を総合的に理解する能力と、生命・生物資源を解析する高度な技術を身につけ、それらの知識や技術を利用することにより社会に貢献できる人材を養成する。

農林生産学科(定員60名)

資源作物・畜産学コース 園芸植物科学コース 農業経済学コース 森林学コース

農林産物に関する持続可能な生産技術や、農業経営・経済についての総合的な知識を身につけ、農林業がもたらす豊かな人間生活の実現に貢献できる人材を養成する。

環境共生科学科(定員70名)

環境生物学コース 生態環境学コース 環境動態学コース 地域工学コース

環境調和型社会の確立を目指し土・水・生物などの資源の調査・評価及び生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を習得し社会に貢献できる人材を養成する。

(現) 生物資源科学部

[入学定員200名+3年次編入学定員20名]

生物科学科 (30)

生命工学科 (40)

農林生産学科 (85)

農業生産学コース
森林学コース
農林生態科学コース
農村経済学コース

地域環境科学科 [45]

生態環境科学コース
環境資源工学コース
地域工学コース

学内連携

研究センター 医学部
人間科学部 法文学部 教育学部

④教育研究の理念と目標

(1)生物資源科学部の教育・研究の理念と目標

設置当初の「ライフを総合的に科学する学部」を教育・研究の理念とすることには変わりはないが、これからの時代を担うべき社会的責任に対応する「生命」、「生産」、「環境」に焦点を当て、これら3分野をより明確にした3学科に改組することで、特に地域社会から要請の高い分野の理系人材を育成することを目標としている。

(2)環境共生科学科の教育・研究の理念と目標

環境調和型社会の確立を目指し、宍道湖・中海や中国山地などの豊かな自然と食糧生産の基盤である農山村地域をフィールドとして、土・水・生物などの中山間地域の資源及び生態環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する人材を育成するため、下記の4つの教育コースを設置する。

「環境生物学コース」

人と自然との共存や生態系の保全を目指し、中山間地域の森林・里山から農耕地を経て河川・汽水域に至る広域な環境を対象として、生態学的手法により、地域の環境に存在する生物資源を利活用するための知識と技術を取得した人材を育成する。

「生態環境学コース」

自然と人間生活との調和と環境資源の有効活用を目指し、森林や耕地・水域などの生物の生態や場のもつ生態系機能を科学的に理解し、それをベースとしてそれらの機能を応用し、自然と共存しながら有効に利活用するための知識と技術を取得した人材を育成する。

「環境動態学コース」

地域資源循環型社会の構築を目指し、地域資源を有効かつ持続的に利用して、物質の移動や循環をミクロ及びマクロの視点から制御することや水・土壌環境を保全・修復するための知識と技術を取得した人材を育成する。

「地域工学コース」

農村地域や中山間地域の有する地域資源（水と土と社会基盤）を有効に活用することによって、工学的な観点から、地域の豊かな生産環境・生活環境・自然環境を創造、管理、保全するための専門的な基礎学力と技術を身につけた人材を育成する。

⑤養成する人材像

(1)生物資源科学部

生命科学、農林生産、食料、農業経営・経済、生態環境に関する幅広い知識と、生物資源を有効に利活用できる技術や知識、さらに生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を有し、国際的視野に立って、これらを活用した産業・地方自治体に貢献できる人材を育成する。

(2)環境共生科学科

環境調和型社会の確立を目指し土・水・生物などの資源の調査・評価及び生態環境を総合的に保全・管理するための知識と技術を習得し社会に貢献できる人材を養成する。特に、森林・水・土環境の保全・修復などの領域で、農学系“理工系グローバル人材”を養成することが強く要請されており、環境共生科学科では、特に山陰地域のニーズとして要望が高い汽水域などの地域的な環境から、森・里・海という一連の広域的な生態的視野、加えて持続的生産性の向上とそれを支える生産基盤という課題を解決する人材を養成する。

⑥3つの方針（ポリシー）

(1)アドミッションポリシー

環境共生科学科の入学者受け入れ方針

環境共生科学科では、資源と環境を適切に保全・管理しながら持続的に利用する環境調和型社会の創造に関心を持ち、その実践のために必要となる専門知識や技術を学ぶ意欲のある、次のような人を受け入れる。

1. 高等学校卒業段階の基礎的な学力を十分に身につけている人
2. 論理的に思考し、客観的な事実から判断を行い、その結果を的確に表現する能力を身につけている人
3. 旺盛な学習意欲と明確な目的意識を持ち、主体性をもって多様な人々と協働して専門知識や技術を学ぶ態度を身につけている人
4. 山陰地域が有する豊かな資源と環境を保全・管理するために必要な専門知識や技術を学び、将来、地域に貢献したいと考えている人

(2)教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

生物資源科学部の教育課程編成・実施の方針

1. 1年次～2年次では、主として全学共通教育を履修する。全学共通教育は、基礎科目として「外国語」「健康・スポーツ、文化・芸術」「情報科学」の科目群、教養育成科目として「人文・社会分野」「自然分野」「学際分野」の科目群がある。全学共通教育は教育目標として「知の探求者として育つ」「市民社会の形成者として育つ」「地域社会の創造者として育つ」「国際社会の貢献者として育つ」「自己の開拓者として育つ」の5つを掲げており、これらの科目を修得することで、専門教育の基礎となる力を養うとともに、教養ある社会人として必要な、幅広い知識、思考力、語学力、コミュニケーション能力を涵養する。

2. 1年次の前期には、それぞれの教育コースで「初年次教育科目」を設けている。専門教育科目を履修する準備として、レポートを書く力やプレゼンテーションする力などの「学ぶ技術」を養う。また、グループ学習によって、他者と協調・協働して行動する力などを身につけることができる。

3. 1年次では、学科・教育コースを問わない学部共通科目として開講される「基盤科目」の中から、それぞれの教育コースで、必修、選択必修、または選択科目に定められた科目を選択して履修する。専門教育科目を履修する準備として、理学や農学に関わる基礎的な知識と総合的視点を身につけることができる。

4. 2年次以降は、それぞれの教育コースで定められたカリキュラムにそって「専門科目」を履修する。なお、各教育コースでの詳細な専門科目の履修に関しては「履修の手引」に記載している。

5. 「専門科目」は、各専門分野におけるより高度な専門知識・技能を修得するとともに、批判的思考力や問題の発見・解決能力を涵養することを目的として開講され、教育コース毎に講義、演習、実験、実習を体系的に組み合わせて実施する。講義系の授業群では、専門分野の知識を体系的に身につけ、また、その理解をレポートなどで文章化することが求められる。演習・実験・実習系の授業群では、卒業研究の準備として、基礎となる実験、文献やデータに基づく発表、英語科学論文の内容理解など、より実践的で能動的な態度と技能を身につけることが求められる。

6. 実習系の授業群の中には、地域の恵まれた環境を生かして、附属生物資源教育研究センターおよび各教育コースが開講する多様なフィールド教育科目がある。これらの科目では、自然現象を素直に感受し、その摂理を創造的に解析する力、生物・生命・生産・環境に関する諸問題を総合的に捉え、解決する力を養う。

7. 4年次には、「卒業研究」を履修する。担当教員の指導のもとに、自らが研究課題を定め、文献やデータなどの収集、解析を行い、卒業研究を完成する。口頭発表などの審査を含め、複数の教員による厳正な審査が行われる。

(3)学位授与の方針（ディプロマポリシー）

生物資源科学部の学位授与の方針

生物資源科学部では、学士課程において以下に掲げる能力を身に付けた者に学位「生物資源科学」を授与する。

1. 人間・社会・自然に関する幅広い教養を身につけている。
2. 理学や農学に関わる基礎的な知識を身につけている。
3. 研究の一環として、英語科学論文の内容を理解することができる。
4. 多角的な視点、批判的思考力を備え、各専門分野における課題の解決に主体的に取り組むことができる。
5. 研究の一環として、必要なデータを収集・整理し、それらを解析して結論を論理的に導くことができる。
6. 得られた研究成果を文章や口頭で適切に表現することができる。
7. 社会で活かすことができる専門知識や技能を身につけている。

II 教育課程編成の考え方・特色

新しく再編統合した3学科では、情報化やグローバル化による農林業を取り巻く社会的環境の変化に対応できる人材を育成するための教育を行う。生物科学科と生命工学科を融合した生命科学科では、基礎的な生物学から応用的なバイオテクノロジーまでを学び、生命を解析する高度な技術を身につける。農林生産学科では、農林畜産業を中心とした生物生産について学び、農産物および林産物に関する持続可能な生産技術や6次産業化、経営・経済についての総合的な知識を身につける。地域環境科学科に環境生物系部門を編入した環境共生科学科では、森、里、海と広範囲な環境を生態学および工学的観点から学び、中山間地域の資源及び生態環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する。このような教育を達成するためには、各分野での専門的教育に加え、より基礎的なレベルでの分野の枠を超えた幅広い知識・技能・思考力をも養成する必要がある。現在、生物資源科学研究科と総合理工学研究科を統合して自然科学研究科を設置する計画であるが、その基盤となる本学士課程では、従来の「基盤科目」に加え、総合理工学部が開講する「自然科学系学部共通科目」を専門教育科目として新たに設置し、より幅広いレベルの専門基礎科目を学ぶ。

本学士課程専門教育の各科目区分およびその特色は、以下のとおりである。

「自然科学系学部共通科目（4単位）」

全学科共通で、総合理工学部が開講する8科目の中から2科目を選択して履修する。従来の生物資源科学部開講の生物系、農学系の基盤科目に加えて、数理情報系、物理系、電気電子工学系など従来よりも幅広いレベルの専門基礎科目を学び、学際的視野を広げる。

「基盤科目（12～22単位）」

専門教育科目を履修する準備として、理学や農学に関わる基礎的な知識と総合的視点を身につける。学部共通で履修ができ、かつ、各分野の教育目標に合わせて履修プログラムが設定されている。

「専門科目（63～74単位）」

より高度な専門教育に必要な科目として設定されており、各学科の教育課程編成方針や到達目標、ならびに各学生の進路に基づく履修計画に応じて履修する。専門科目は原則として各学科が提供するが、他学科提供の専門科目についても、必要に応じて履修可能とする。

特に、今回の学科再編成にあたり、山陰地域のニーズとして要望が高い学問領域における人材を養成するための科目を開設することで、それぞれの分野の教育を強化している。さらに、PBL科目として、多様な自然環境に恵まれた学部立地条件を活かした実習科目によるフィールド教育を全学科で充実させ、さらに、「就業体験」等の履修により、自然観察・調査能力、現場での問題発見・解決能力などを身につける。

本学部では、授業レベルや科目分類を明示するための「科目ナンバリング」の導入により、学生がカリキュラムの履修において、教育課程の体系が容易に理解でき、その難易度や科目間の連携などが分かるようにしている。これにより、学生は計画的で体系的な学習が可能となっている。また、学生の学修到達度を数値化するため、GPA制度を導入し、学修成果を学生に明示して学習意欲の向上につなげるとともに、指導教員は学期毎の学習状況を把握し、きめ細かい指導の一助としている。

学生の指導体制

各学生には指導教員1名をつけ、学習指導、履修指導、生活指導等を行う。

学部内共通プログラム

学部-博士前期一貫プログラム

学科の何れかの教育コースに所属し、通常より早い3年次から研究室に配属し、博士前期課程にわたる一貫した教育、研究を行う。これにより、通常のプログラムに比べて、より高い研究能力、課題解決能力を持つ人材を育成する。同時に、大学院進学率の向上を図る。プログラム生は、学部または博士前期課程の早期卒業（修了）制度を利用して、学部入学から最短5年で博士前期課程を修了できるものとする。プログラム生の選考は学部2年開始時及び3年開始時に行う。

COC人材育成プログラム

地元就職して地域振興に貢献する人材を育成することを目的とし、将来地域に貢献したいという強い意欲を持つ学生を対象とする。学科の通常のプログラム生と同様に専門分野の基礎的知識・技能を修得する他、学科ごとに指定された地域に関連した科目を重点的に履修する。プログラム履修生は地域貢献人材育成入試により選考し、学科の何れかの教育コースに所属する。

環境共生科学科の特色

環境共生科学科では、環境調和型社会の確立を目指し、豊かな自然と食糧生産の基盤である農山村地域をフィールドとして、地域資源及び生態環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を養成する。取り扱う地域資源とアプローチの仕方により環境生物学、生態環境学、環境動態学、地域工学の4つの教育コースがあり、生物、生態系、土壌、水、物質、地域環境、社会基盤を地域資源として科学的に理解し、それらを保全、活用、創造、修復、管理して共存していくための専門的知識と技術を身に付け、社会で活躍するための資質能力を向上させる。

教育の特色

環境共生科学科では、ディプロマ・ポリシーの実現に向けた本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいて以下のような教育を行う。1年時には、導入・基礎として、社会に柔軟に対応していくために外国語等の基礎科目と幅広い分野の教養養成科目を履修し、また、基盤科目により本学科に必要な基礎力を養う。同時に、基礎セミナーや入門及び概論による初年時教育を行いながら環境共生学さらには各教育コースへの導入を図る。2年次には、「環境生物学」、「生態環境学」、「環境動態学」及び「地域工学」からなる4つの教育コースのうちいずれか1つを選択し、応用・展開として、外書講読および各教育コース内の様々な分野の実験・実習や講義を履修し、高度な専門知識や実験・観測の手法を身につける。同時に、各学生の志向に応じて学科・学部内の授業を選択履修し生物資源科学の学際的視野を広げる。特に、今回の学科再編成にあたり、山陰地域のニーズとして要望が高い生態系及び農産物の生産基盤を維持する環境の保全・修復・管理・利用に関する分野に対応した「植物保護学」、「汽水域生態学」、「土壌生態学」、「山地保全学」、「水と緑の環境工学」、「流域水文学」、「農地保全学」などを開設することで、これらの分野の教育を強化している。3年次には、発展・探求として、専門分野を選択して、専攻実験や専攻演習を履修し、専門知識、課題探求力、研究遂行力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などを涵養してゆく。4年次には、卒業研究や卒論演習により、ここまで培ってきた能力を發揮し、さらには深化・向上させ、自らの力で研究・開発や高度な職務を遂行する能力を身に付ける（次頁の図「環境共生科学科履修モデル」を参照）。

環境共生科学科では、今回の学科再編成にあたり強化した教育分野の科目（例：植物保護学、汽水域生態学、土壌生態学など）を修得することで、地域社会からの要望が高い生態系及び農産物の生産基盤を維持する環境の保全・修復・管理・利用に関する企業や自治体への就職の道を準備している（次頁の図「設置科目と人材養成像との関連」を参照）。

教育指導の工夫

地域社会から要請の高い上記分野の理系人材を育成するため、これらの分野に対応した講義科目を新設することに加え、これらの科目の受講学生への教育効果を高めることを目的として、就業体験科目、PBL型科目を設置し、新設科目を含むこれらの関連科目を担当する教員と、教育推進センター、地域未来戦略センター、産学連携センター等の学内リソースや学外リソース（公設試験機関、県内実業高校、県立大、高専等）と連携したFDを実施して、教育指導方法を工夫していく。

環境共生科学科履修モデル

教育コース	1年次	2年次	3年次	4年次
環境生物学	全学共通教育科目			卒業演習 卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (地球環境科学概論他)	専門科目		
	基盤科目 (植物学、動物学他)	植物病理学概論、送粉生態学、 土壌微生物学、森林植物学他	天敵利用学、森林生態学、 山地保全学、共生微生物学他	
	基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験	
生態環境学	全学共通教育科目			卒業演習 卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (地球環境科学概論他)	専門科目		
	基盤科目 (植物学、基礎土壌学他)	水環境保全学、水圏生態学、 土壌生態学、土壌生化学他	汽水域生態学、水質環境工学、 バイオマス利用学他	
	基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験	
環境動態学	全学共通教育科目			卒業演習 卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (基礎線形代数学他)	専門科目		
	基盤科目 (物理学、水環境学他)	応用数学、環境汚染化学、 水と緑の環境工学他	植物環境工学、実用分析化学、 生態環境ロボティクス他	
	基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験	
地域工学	全学共通教育科目			卒業演習 卒業研究
	自然科学系学部共通科目 (建築デザイン概論他)	専門科目		
	基盤科目 (地学、基礎水理学他)	土壌物理学、土質工学、 構造力学の基礎、水理学他	かんがい排水学、流域水文学、 建設材料工学、農地工学他	
	基礎セミナー・実習	実験／演習	専攻実験	

設置科目と人材養成像との関連

環境共生科学科

「植物保護学」「汽水域生態学」
 「土壌生態学」「山地保全学」
 「水と緑の環境工学」
 「流域水文学」「農地保全学」など



生態系及び農産物の生産基盤を維持する環境の保全・修復・管理・利用に関する企業、自治体

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>卒業要件及び履修方法</p> <p>[卒業要件] 各コースは、全学共通教育科目、及び専門教育科目の自然科学系学部共通科目、基盤科目、専門科目から以下の単位数を修得し、合計128単位以上を修得すること。(1学期間における履修科目の登録の上限：28単位)</p> <p>[履修方法]</p> <p>環境共生科学科 環境生物学コース 全学共通教育科目 32単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 16単位以上(必修2単位) 専門科目 66単位以上(必修55単位、選択必修1単位)</p> <p>環境共生科学科 生態環境学コース 全学共通教育科目 32単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 16単位以上(必修2単位) 専門科目 70単位以上(必修41単位、選択必修1単位)</p> <p>環境共生科学科 環境動態学コース 全学共通教育科目 32単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 16単位以上(必修2単位) 専門科目 63単位以上(必修44単位、選択必修3単位)</p> <p>環境共生科学科 地域工学コース 全学共通教育科目 32単位以上 専門教育科目 自然科学系学部共通科目 4単位以上 基盤科目 12単位以上(必修2単位) 専門科目 74単位以上(必修58単位)</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分
<p>【学部－博士前期一貫プログラム】</p> <p>[卒業・修了要件] 所属する学科・コースの卒業・修了要件と同じ。</p> <p>[履修方法] ・プログラム生の選考は2年開始時または3年開始時に行う。 ・プログラム配属後は1学期間における履修科目の登録の上限は設けない。 ・プログラム配属後は科目の履修年次の制限を設けず、上級生向け科目も履修可能とする。 ・3年次から研究室に入り、研究を開始する。 ・4年次は大学院科目の早期履修を可能とする。 ・優秀な学生は、学部または博士前期課程の早期卒業(修了)制度を利用して、学部と博士前期課程を計5年で卒業・修了することも可能とする。</p> <p>【COC人材育成プログラム】</p> <p>[プログラム修了要件] 所属する学科・コースの卒業要件を満たし、かつ、各コースで指定した地域指向科目の中から定められた単位以上を修得すること。</p> <p>[履修方法] ・所属コースの履修方法に従って履修するとともに、地域指向科目の中から必要な単位を修得する。 ・1学期間における履修科目の登録の上限は所属する学科・コースと同じ。</p>		

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 生物科学科)【既設】

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
生物科学教育コース	基盤科目(学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○										オムニハス	
		遺伝学	1後		2		○			1	1			1			オムニハス	
		動物学	1後		2		○				3						オムニハス	
		植物学	1後		2		○										オムニハス	
		微生物学	1後		2		○			1	2						オムニハス	
		物理学	1前		2		○				1	1					オムニハス	
		化学	1前		2		○				2						兼2	オムニハス
		生物学	1前		2		○				1							オムニハス
		地学	1前		2		○											オムニハス
		生物資源と農学	1後		2		○											オムニハス
		地域社会セミナー	1後		2				○			1						オムニハス
		生態学	1後		2			○			1							オムニハス
		統計学	1前		2			○			1	1						オムニハス
		基礎フィールド演習	1通		2				○		1							オムニハス
		物理学基礎実験	2前		1					○								
		地学基礎実習	2後		1					○								
		物理化学	1後		2			○										
		有機化学I	1後		2			○										
		基礎分子生物学	1後		2			○										オムニハス
		生物化学I	1後		2			○			1							
		基礎土壌学	1後		2			○					1					
		農学原論	1後		2			○			3	4						オムニハス
		環境生物学	1後		2			○										オムニハス
		水環境学	1後		2			○										オムニハス
		基礎水理学	1後		2			○										オムニハス
		経済原論	1後		2			○										オムニハス
		農業キャリア論	3前		2			○										兼1
		農業生産学概論	1前		1			○			4							オムニハス
		森林学概論	1前		1			○			1	1						オムニハス
		食と農の経済概論	1前		1			○			1							
		農林生態科学概論	1前		1			○			3	4						オムニハス
小計(31科目)		—	0	56	0		—		6	3	2	2	0	兼8	—			
専攻科目	生物科学セミナーⅠ	1前後	4					○										
	生物科学セミナーⅡ	2前後	4					○										
	生物科学セミナーⅢ	3後	2					○										
	基礎生物科学実験	1後	2								○							
	生物科学実験Ⅰ	2前	2								○							
	生物科学実験Ⅱa	2後	2								○							
	生物科学実験Ⅱb	2後	2								○							
	卒業論文	4通	8									○						
	動物生理学	1前		2			○											
	発生生物学	1後		2			○											
	比較解剖学	1後		2			○											
	極限環境生物学	2後		2			○											
	エネルギー代謝学	2前		2			○											
	細胞構造学	2後		2			○											
	植物生理学	3後		2			○											
	植物分子生物学	3前		2			○											
細胞生理学	3前		2			○												
免疫学	2後		2			○												

生物科学教育コース 専攻科目	動物生理生態学	2後	2	○														
	分子細胞学	2前	2	○														
	生物科学実験Ⅲa	3前	2				○											
	生命体構造学	2前	2	○														
	遺伝子機能学	2後	2	○														
	系統分類学	1前	2	○														
	比較内分泌学	2後	2	○														
	生体情報学	2後	2	○														
	形態形成学	3前	2	○														
	進化遺伝学	3前	2	○														
	多様性植物学	3後	2	○														
	生物科学実験Ⅲb	3前	2				○											
	生態学通論	2後	2	○														
	臨海実習Ⅰ	2前	1				○											
	臨海実習Ⅱ	1後	1				○											
	臨海実習Ⅲ	2前	1				○											
	生物科学特論Ⅰ	2後	2	○														
	生物科学特論Ⅱ	2前	2	○														
	生物科学特論Ⅲ	2後	2	○														
	生物科学特論Ⅳ	2前	2	○														
	遺伝子工学	2後	2	○														
	分析化学	2前	2	○														
	土壌微生物学	2前	2	○														
	昆虫学	2後	2	○														
	環境汚染化学	1後	2	○														
	水圏生態学	2後	2	○														
基礎物理学実験(*)	2前	2						○										
基礎化学実験(*)	3前	2						○										
地学実習(*)	3前	2						○										
小計(47科目)	—	26	75	0	—		9	4	0	0	0	0	0	—				
学部共通科目	就業体験Ⅰ	2前	1					○										
	就業体験Ⅱ	2前	1					○										
	臨海実習Ⅳ	2前	1					○										
	臨海実習Ⅴ	2前	1					○										
	森林実習Ⅴ	1前	1					○										
	特別施設園芸実習	2前	1					○										
	里山フィールド演習	1前	2			○												
	果樹園芸の里フィールド演習	1前	2			○												
	里海フィールド演習	1前	2			○												
	森林フィールド演習	1前	2			○												
	酪農フィールド科学演習	1前	2			○												
	森・里・海フィールド演習	1前	2			○												
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1					○										
	作物生産科学フィールド演習	1前	2			○												
	臨海資源科学演習	1前	2			○												
	食品資源フィールド科学演習	1前	2			○												
	傾斜地フィールド演習	1前	2			○												
	島根県立大学開講科目(*)																	
小計(18科目)	—	0	27	0	—									—				
合計(96科目)		—	26	158	0	—								—				
学位又は称号	学士(生物資源科学)	学位又は学科の分野		理学関係	農学関係													

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 生命工学科)【既設】

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
生命工学教育コース	基盤科目(学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○										オムニハス	
		遺伝学	1後		2		○			1	1			1			オムニハス	
		動物学	1後		2		○				3						オムニハス	
		植物学	1後		2		○										オムニハス	
		微生物学	1後		2		○			1	2						オムニハス	
		物理学	1前		2		○				1	1					オムニハス	
		化学	2前		2		○				2						兼2	オムニハス
		生物学	1前		2		○				1							オムニハス
		地学	1前		2		○											オムニハス
		生物資源と農学	1後		2		○											オムニハス
		地域社会セミナー	1後		2				○			1						オムニハス
		生態学	1後		2			○			1							オムニハス
		統計学	1前		2			○			1	1						オムニハス
		基礎フィールド演習	1通		2				○		1							オムニハス
		物理学基礎実験	2前		1					○								
		地学基礎実習	2後		1					○								
		物理化学	1後		2			○										
		有機化学I	1後		2			○										
		基礎分子生物学	1後		2			○										オムニハス
		生物化学I	1後		2			○			1							
		基礎土壌学	1後		2			○					1					
		農学原論	1後		2			○			3	4						オムニハス
		環境生物学	1後		2			○										オムニハス
		水環境学	1後		2			○										
		基礎水理学	1後		2			○										オムニハス
		経済原論	1後		2			○										オムニハス
		農業キャリア論	3前		2			○										兼1
		農業生産学概論	1前		1			○			4							オムニハス
		森林学概論	1前		1			○			1	1						オムニハス
		食と農の経済概論	1前		1			○			1							
		農林生態科学概論	1前		1			○			3	4						オムニハス
小計(31科目)			—	0	56	0	—	—	6	3	2	2	0	兼8	—			
専攻科目	生命工学基礎セミナー	1前	2					○										
	基礎化学実験I	2前	1															
	有機合成化学実験	2前	1															
	物理化学実験	2前	1															
	基礎生命工学実験I	2後	1															
	基礎生命工学実験II	2後	1															
	基礎生化学実験I	2後	1															
	基礎生化学実験II	2後	1															
	遺伝子工学実験	3前	1															
	タンパク質工学実験	3前	1															
	生物物理化学実験	3前	1															
	生命有機化学実験	3前	1															
	分子細胞工学実験	3前	1															
	専攻特別実験	3後	4															
	化学英語演習	2前	1															
生化学英語演習	2後	1																
生命工学英語演習	3前	1																
生命工学演習I	3後	1																

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 農林生産学科 農業生産学教育コース)【既設】

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
農業生産学教育コース	基盤科目(学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○										オムニハス	
		遺伝学	1後		2		○			1	1			1			オムニハス	
		動物学	1後		2		○				3						オムニハス	
		植物学	1後		2		○										オムニハス	
		微生物学	1後		2		○			1	2						オムニハス	
		物理学	1前		2		○				1	1					オムニハス	
		化学	1前		2		○				2						兼2	オムニハス
		生物学	1前		2		○				1							オムニハス
		地学	1前		2		○											オムニハス
		生物資源と農学	1後		2		○											オムニハス
		地域社会セミナー	1後		2				○			1						オムニハス
		生態学	1後		2			○			1							オムニハス
		統計学	1前		2			○			1	1						オムニハス
		基礎フィールド演習	1通		2				○		1							オムニハス
		物理学基礎実験	2前		1					○								
		地学基礎実習	2後		1					○								
		物理化学	1後		2			○										
		有機化学I	1後		2			○										
		基礎分子生物学	1後		2			○										オムニハス
		生物化学I	1後		2			○			1							
		基礎土壌学	1後		2			○					1					
		農学原論	1後		2			○			3	4						オムニハス
		環境生物学	1後		2			○										オムニハス
		水環境学	1後		2			○										オムニハス
		基礎水理学	1後		2			○										オムニハス
		経済原論	1後		2			○										オムニハス
		農業キャリア論	3前		2			○										兼1
		農業生産学概論	1前	1				○			4							オムニハス
		森林学概論	1前	1				○			1	1						オムニハス
		食と農の経済概論	1前	1				○			1							
		農林生態科学概論	1前	1				○			3	4						オムニハス
小計(31科目)		—		4	52	0		—	6	3	2	2	0	兼8	—			
専攻科目	農業生産基礎セミナー	1前	2					○										
	農場基礎実習I	1前	2															
	農場基礎実習II	1後	2															
	農業生産学基礎実験I	1前	2															
	農業生産学基礎実験II	1後	2															
	農業生産の基礎	1後	2				○											
	専門英語	2前	2				○											
	農場専門実習	2前		2														
	農作業学	2前		2			○											
	生物統計学	2後		2			○											
	作物学	2前		2			○											
	耕地栽培学	2前		2			○											
	植物育種学	2前		2			○											
	果樹園芸学	2前		2			○											
	野菜園芸学	2前		2			○											
	資源作物学	2後		2			○											
作物栄養学	2後		2			○												
アグリバイオテクノロジー	2後		2			○												

農業生産学教育コース	専攻科目	農業思想史	3後	2	○															
		環境経済学	3後	2	○															
		畜産実習	2前	2			○													
		動物生理学	1前	2		○														
		エネルギー代謝学	2前	2		○														
		植物生理学	3後	2		○														
		植物分子生物学	3前	2		○														
		細胞生理学	3前	2		○														
		免疫学	2後	2		○														
		遺伝子機能学	2後	2		○														
		系統分類学	1前	2		○														
		多様性植物学	3後	2		○														
		分析化学	2前	2		○														
		生物化学Ⅱ	2前	2		○														
		分子生物学	2前	2		○														
		遺伝子工学	2後	2		○														
		タンパク質工学	2後	2		○														
		食品バイオテクノロジー	2後	2		○														
		生物有機化学	2後	2		○														
		動物細胞工学	3前	2		○														
		食品機能工学	3前	2		○														
		植物細胞工学	3前	2		○														
		食品衛生学	3前	2		○														
		土壌物理学	2前	2		○														
		植物栄養生態学	3前	2		○														
		植物環境工学	3前	2		○														
		バイオマス利用学	3前	2		○														
		水と緑の環境工学	3前	2		○														
		水圏植物学	2前	2		○														
		水理学Ⅰ	2前	2		○														
		測量学Ⅰ	2前	2		○														
		生物環境ロボティクス	2後	2		○														
		土壌生態学	2後	2		○														
		土壌生化学	2前	2		○														
		農地工学	2後	2		○														
農地保全学	3後	2		○																
小計（113科目）	—	14	224	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—		
学部共通科目	就業体験Ⅰ	2前	1			○														
	就業体験Ⅱ	2前	1			○														
	臨海実習Ⅳ	2前	1			○														
	臨海実習Ⅴ	2前	1			○														
	森林実習Ⅴ	1前	1			○														
	特別施設園芸実習	2前	1			○														
	里山フィールド演習	1前	2			○														
	果樹園芸の里フィールド演習	1前	2			○														
	里海フィールド演習	1前	2			○														
	森林フィールド演習	1前	2			○														
	酪農フィールド科学演習	1前	2			○														
	森・里・海フィールド演習	1前	2			○														
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1				○													
	作物生産科学フィールド演習	1前	2			○														
	臨海資源科学演習	1前	2			○														
	食品資源フィールド科学演習	1前	2			○														
	傾斜地フィールド演習	1前	2			○														
	島根県立大学開講科目（*）																			
小計（18科目）	—	0	27	0	—													—		
合計（162科目）	—	18	303	0	—													—		
学位又は称号	学士（生物資源科学）			学位又は学科の分野			理学関係 農学関係													

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 農林生産学科 森林学教育コース)【既設】

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
森林学教育コース	基盤科目(学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○										○ムニバス		
		遺伝学	1後		2		○			1	1			1			○ムニバス		
		動物学	1後		2		○				3						○ムニバス		
		植物学	1後		2		○										○ムニバス		
		微生物学	1後		2		○			1	2						○ムニバス		
		物理学	1前		2		○				1	1					○ムニバス		
		化学	1前		2		○				2						兼2	○ムニバス	
		生物学	1前		2		○				1							○ムニバス	
		地学	1前		2		○											○ムニバス	
		生物資源と農学	1後		2		○											○ムニバス	
		地域社会セミナー	1後		2			○				1						○ムニバス	
		生態学	1後	2			○			1								○ムニバス	
		統計学	1前		2		○			1	1							○ムニバス	
		基礎フィールド演習	1通		2			○		1								○ムニバス	
		物理学基礎実験	2前		1				○									○ムニバス	
		地学基礎実習	2後		1					○								○ムニバス	
		物理化学	1後		2			○										○ムニバス	
		有機化学I	1後		2			○										○ムニバス	
		基礎分子生物学	1後		2			○										○ムニバス	
		生物化学I	1後		2			○			1							○ムニバス	
		基礎土壌学	1後	2				○					1					○ムニバス	
		農学原論	1後		2			○			3	4						○ムニバス	
		環境生物学	1後		2			○										○ムニバス	
		水環境学	1後		2			○										○ムニバス	
		基礎水理学	1後		2			○										○ムニバス	
		経済原論	1後		2			○										○ムニバス	
		農業キャリア論	3前		2			○										兼1	○ムニバス
		農業生産学概論	1前		1			○			4							○ムニバス	
		森林学概論	1前		1			○			1	1						○ムニバス	
		食と農の経済概論	1前		1			○			1							○ムニバス	
		農林生態科学概論	1前		1			○			3	4						○ムニバス	
小計(31科目)		—	8	48	0	—	—	—	6	3	2	2	0	兼8	—				
森林学教育コース	専攻科目	森林学基礎セミナー	1前		2			○											
		三瓶の森実習	1前		1														
		森林生態学	1後		2			○											
		樹木実習	2前		1														
		森林植物学	2前		2			○											
		造林学	2後		2			○											
		森林学実習I	3前		1														
		測樹学	1後		2			○											
		森林計画学	2前		2			○											
		森林情報学	2後		2			○											
		森林調査実習	3前		2														
		森林化学実験	2後		1														
		森林土壌学	2後		2			○											
		森林水文学	3前		2			○											
		森林立地学実習	3前		1														
		森林防災学	3後		2			○											
山村経済学	3後		2			○													
林政学	2後		2			○													

「晴れの国岡山」農場体験実習	1前		1			○														
作物生産科学フィールド演習	1前		2			○														
臨海資源科学演習	1前		2			○														
食品資源フィールド科学演習	1前		2			○														
傾斜地フィールド演習	1前		2			○														
島根県立大学開講科目(*)																				
小計(18科目)		—	0	27	0	—														—
合計(113科目)		—	61	136	0	—														—
学位又は称号	学士(生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係 農学関係														

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要(事前伺い)																							
(生物資源科学部 農林生産学科 農林生態科学教育コース)【既設】																							
教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考								
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手									
農林生態科学教育コース	基盤科目(学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○														○ムニバス		
		遺伝学	1後		2		○			1	1											○ムニバス	
		動物学	1後	2			○				3											○ムニバス	
		植物学	1後	2			○															○ムニバス	
		微生物学	1後	2			○			1	2											○ムニバス	
		物理学	1前		2		○				1	1										○ムニバス	
		化学	1前		2		○				2											兼2	○ムニバス
		生物学	1前		2		○				1												○ムニバス
		地学	1前		2		○																○ムニバス
		生物資源と農学	1後		2		○																○ムニバス
		地域社会セミナー	1後		2				○			1											○ムニバス
		生態学	1後	2			○				1												○ムニバス
		統計学	1前	2			○				1	1											○ムニバス
		基礎フィールド演習	1通		2				○		1												○ムニバス
		物理学基礎実験	2前		1					○													○
		地学基礎実習	2後		1					○													○
		物理化学	1後		2			○															
		有機化学I	1後		2			○															
		基礎分子生物学	1後		2			○															○ムニバス
		生物化学I	1後		2			○			1												
		基礎土壌学	1後		2			○						1									
		農学原論	1後		2			○			3	4											○ムニバス
		環境生物学	1後	2				○															○ムニバス
		水環境学	1後		2			○															
		基礎水理学	1後		2			○															○ムニバス
		経済原論	1後		2			○															○ムニバス
		農業キャリア論	3前		2			○															兼1
		農業生産学概論	1前	1				○			4												○ムニバス
		森林学概論	1前	1				○			1	1											○ムニバス
		食と農の経済概論	1前	1				○			1												
農林生態科学概論	1前	1				○			3	4											○ムニバス		
小計(31科目)		—	16	40	0	—			6	3	2	2	0	兼8	—								
専攻科目	農林生態科学基礎セミナー	1前	2					○															
	農林生態科学実習	1前	1																				
	動物生態学実験	2通	2																				
	植物病理学実験	2通	2																				
	微生物生態学実験	2通	4																				
	農林生態科学外書講読	2前	1				○																
植物病理学概論	2前	2				○																	

農林生態科学教育コース	専攻科目	森林学実習Ⅱ	3前	1				○												
		森林測量学実習	3前	1				○												
		森林統計学	2前	2		○														
		森林学特論	3前	2		○														
		森林保護学	3前	2		○														
		森林風致学	3前	2		○														
		野生動物管理学	3前	2		○														
		農業市場経済学	2後	2		○														
		農学史	2後	2		○														
		農史	2後	2		○														
		地域経済学	3前	2		○														
		経済統計解析学	2後	2		○														
		農業会計情報学	3前	2		○														
		開発経済学	3前	2		○														
		農業経営形態論	3後	2		○														
		農業思想史	3後	2		○														
		環境経済学	3後	2		○														
		環境と複雑系	3前	2		○														
		汽水域生態学	3前	2		○														
		土壌物理学	2前	2		○														
		植物栄養生態学	3前	2		○														
		植物環境工学	3前	2		○														
		水圏動物学	2前	2		○														
		バイオマス利用学	3前	2		○														
		実用分析化学	2前	2		○														
		流域水文学	2後	2		○														
		環境リスク学	2前	2		○														
		水と緑の環境工学	3前	2		○														
		水環境保全学	2後	2		○														
		水圏植物学	2前	2		○														
		水圏生態学	2後	2		○														
		水質環境工学	3前	2		○														
		水質水文学	3前	2		○														
		水文統計学	3後	2		○														
		水理学Ⅰ	2前	2		○														
		水理学Ⅱ	2後	2		○														
		生物環境ロボティクス	2後	2		○														
		地域計画学	1後	2		○														
土壌生化学	2前	2		○																
土壌生態学	2後	2		○																
農地工学	2後	2		○																
農地保全学	3後	2		○																
小計(167科目)	—	44	283	0	—	—	—	—	6	3	2	2	0	兼8	—					
学部共通科目	就業体験Ⅰ	2前	1					○												
	就業体験Ⅱ	2前	1					○												
	臨海実習Ⅳ	2前	1					○												
	臨海実習Ⅴ	2前	1					○												
	森林実習Ⅴ	1前	1					○												
	特別施設園芸実習	2前	1					○												
	里山フィールド演習	1前	2			○														
	果樹園芸の里フィールド演習	1前	2			○														
	里海フィールド演習	1前	2			○														
	森林フィールド演習	1前	2			○														
	酪農フィールド科学演習	1前	2			○														
	森・里・海フィールド演習	1前	2			○														
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1					○												
	作物生産科学フィールド演習	1前	2			○														
	臨海資源科学演習	1前	2			○														
	食品資源フィールド科学演習	1前	2			○														

傾斜地フィールド演習	1前		2		○									
島根県立大学開講科目 (*)														
小計 (18科目)	—	0	27	0	—									—
合計 (216科目)	—	60	350	0	—									—
学位又は称号	学士 (生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係 農学関係								

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要 (事前伺い)																
(生物資源科学部 農林生産学科 農村経済学教育コース) 【既設】																
教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
農村経済学教育コース	基盤科目 (学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○								オムニバス	
		遺伝学	1後		2		○			1	1		1		オムニバス	
		動物学	1後		2		○				3				オムニバス	
		植物学	1後		2		○								オムニバス	
		微生物学	1後		2		○			1	2				オムニバス	
		物理学	1前		2		○				1	1			オムニバス	
		化学	1前		2		○				2				兼2 オムニバス	
		生物学	1前		2		○				1				オムニバス	
		地学	1前		2		○								オムニバス	
		生物資源と農学	1後		2		○								オムニバス	
		地域社会セミナー	1後		2			○				1			オムニバス	
		生態学	1後		2		○			1					オムニバス	
		統計学	1前	2			○			1	1				オムニバス	
		基礎フィールド演習	1通		2			○		1					オムニバス	
		物理学基礎実験	2前		1				○							
		地学基礎実験	2後		1					○						
		物理化学	1後		2			○								
		有機化学 I	1後		2			○								
		基礎分子生物学	1後		2			○								オムニバス
		生物化学 I	1後		2			○			1					
		基礎土壌学	1後		2			○					1			
		農学原論	1後		2			○			3	4				オムニバス
		環境生物学	1後		2			○								オムニバス
		水環境学	1後		2			○								オムニバス
		基礎水理学	1後		2			○								オムニバス
		経済原論	1後	2				○								オムニバス
		農業キャリア論	3前		2			○								兼1
		農業生産学概論	1前	1				○			4					オムニバス
		森林学概論	1前	1				○			1	1				オムニバス
		食と農の経済概論	1前	1				○			1					
		農林生態科学概論	1前	1				○			3	4				オムニバス
小計 (31科目)	—	8	48	0		—			6	3	2	2	0	兼8		
専攻科目	ミクロ経済学	2前	2			○										
	マクロ経済学	2前	2			○										
	農場基礎実習Ⅲ	2前	2					○								
	農業経済学	2後	2			○										
	農業市場経済学	2後	2			○										
	農業経営学	2後	2			○										
	農学史	2後	2			○										
	農史	2後	2			○										
	農村経済学セミナー	2後	2					○								
	農村調査分析論	2通	4			○										
	農政学	3前	2			○										

農 村 経 済 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	地域経済学	3前	2		○															
		専攻演習Ⅰ	3前	1				○													
		専攻演習Ⅱ	3後	1				○													
		専攻演習Ⅲ	4前	1				○													
		専攻演習Ⅳ	4後	1				○													
		卒業論文	4通	8						○											
		植物病理学概論	2前		2			○													
		土壌微生物学	2前		2			○													
		昆虫学	2後		2			○													
		森林生態学	1後		2			○													
		農村経済学基礎セミナー	1前		2					○											
		経済統計解析学	2後		2			○													
		農業会計情報学	3前		2			○													
		開発経済学	3前		2			○													
		農業経営形態論	3後		2			○													
		農業思想史	3後		2			○													
		資源管理学	3後		2			○													
		環境経済学	3後		2			○													
		農場基礎実習Ⅳ	2後		2					○											
		農業生産の基礎	1後		2			○													
		農作業学	2前		2			○													
		作物学	2前		2			○													
		耕地栽培学	2前		2			○													
		植物育種学	2前		2			○													
		果樹園芸学	2前		2			○													
		野菜園芸学	2前		2			○													
		資源作物学	2後		2			○													
		作物栄養学	2後		2			○													
		アグリバイオテクノロジー	2後		2			○													
		家畜栄養学	2前		2			○													
		造林学	2後		2			○													
		森林計画学	2前		2			○													
		森林防災学	3後		2			○													
		森林経済学	2後		2			○													
		林政学	2後		2			○													
		山村経済学	3後		2			○													
		森林法律	3前		2			○													
		総合防除学	2前		2			○													
		地域計画学	2前		2			○													
		経済政策論Ⅰ	2前		2			○													
		経済政策論Ⅱ	2後		2			○													
		企業法Ⅰ	3後		2			○													
		財政学Ⅰ	3前		2			○													
		財政学Ⅱ	3後		2			○													
		民法Ⅰ	4前		2			○													
		小計 (56科目)		—	38	78	0	—			9	4	0	0	0	0	0	0	—		
		学 部 共 通 科 目	就業体験Ⅰ	2前		1					○										
			就業体験Ⅱ	2前		1					○										
			臨海実習Ⅳ	2前		1					○										
			臨海実習Ⅴ	2前		1					○										
			森林実習Ⅴ	1前		1					○										
			特別施設園芸実習	2前		1					○										
			里山フィールド演習	1前		2				○											
			果樹園芸の里フィールド演習	1前		2				○											
			里海フィールド演習	1前		2				○											
			森林フィールド演習	1前		2				○											
酪農フィールド科学演習	1前			2				○													
森・里・海フィールド演習	1前			2				○													
「晴れの国岡山」農場体験実習	1前			1					○												

作物生産科学フィールド演習	1前		2			○														
臨海資源科学演習	1前		2			○														
食品資源フィールド科学演習	1前		2			○														
傾斜地フィールド演習	1前		2			○														
島根県立大学開講科目（*）																				
小計（18科目）	—	0	27	0	—															—
合計（105科目）	—	46	153	0	—															—
学位又は称号	学士（生物資源科学）		学位又は学科の分野			理学関係		農学関係												

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学部 地域環境科学科 生態環境科学教育コース) 【既設】

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
生態環境科学教育コース	基盤科目(学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○										オムニハス	
		遺伝学	1後		2		○			1	1			1			オムニハス	
		動物学	1後		2		○				3						オムニハス	
		植物学	1後		2		○										オムニハス	
		微生物学	1後		2		○			1	2						オムニハス	
		物理学	1前		2		○				1	1					オムニハス	
		化学	1前		2		○				2						兼2	オムニハス
		生物学	1前		2		○				1							オムニハス
		地学	1前		2		○											オムニハス
		生物資源と農学	1後		2		○											オムニハス
		地域社会セミナー	1後		2				○			1						オムニハス
		生態学	1後	2			○				1							オムニハス
		統計学	1前	2			○				1	1						オムニハス
		基礎フィールド演習	1通		2				○		1							オムニハス
		物理学基礎実験	2前		1					○								
		地学基礎実習	2後		1													
		物理化学	1後		2			○										
		有機化学I	1後		2			○										
		基礎分子生物学	1後		2			○										オムニハス
		生物化学I	1後		2			○			1							
		基礎土壌学	1後	2				○					1					
		農学原論	1後		2			○			3	4						オムニハス
		環境生物学	1後	2				○										オムニハス
		水環境学	1後	2				○										オムニハス
		基礎水理学	1後		2			○										オムニハス
		経済原論	1後		2			○										オムニハス
		農業キャリア論	3前		2			○										兼1
		農業生産学概論	1前		1			○			4							オムニハス
		森林学概論	1前		1			○			1	1						オムニハス
		食と農の経済概論	1前		1			○			1							
		農林生態科学概論	1前		1			○			3	4						オムニハス
小計(31科目)		—		10	46	0			—	6	3	2	2	0	兼8	—		
専攻科目	卒業論文	4通		8														
	水環境保全学	2後		2			○											
	水圏生態学	2後		2			○											
	汽水域生態学	3前		2			○											
	土壌生態学	2後		2			○											
	植物栄養生態学	3前		2			○											
	水質環境工学	3前		2			○											
	環境リスク学	2前		2			○											
	実用分析化学	2前		2			○											
	植物環境工学	3前		2			○											
	水質水文学	3前		2			○											
	卒論演習	4通		2					○									
	地域環境科学入門	1前		1				○										
	生態環境科学実習	2後		1									○					
	外書講読I	2前		1				○										
環境分析化学実験	2前		1									○						
専攻特別実験I	3前			1												○		

環境資源工学教育コース	基盤科目(学部共通科目)	微生物学	1後	2		○			1	2						オムニハス		
		物理学	1前	2		○				1	1					オムニハス		
		化学	1前	2		○					2					兼2	オムニハス	
		生物学	1前	2		○					1						オムニハス	
		地学	1前	2		○											オムニハス	
		生物資源と農学	1後	2		○												
		地域社会セミナー	1後	2			○					1					オムニハス	
		生態学	1後	2		○				1							オムニハス	
		統計学	1前	2		○				1	1						オムニハス	
		基礎フィールド演習	1通	2			○			1							オムニハス	
		物理学基礎実験	2前	1				○										
		地学基礎実習	2後	1					○									
		物理化学	1後	2		○												
		有機化学 I	1後	2		○												
		基礎分子生物学	1後	2		○											オムニハス	
		生物化学 I	1後	2		○				1								
		基礎土壌学	1後	2		○							1					
		農学原論	1後	2		○				3	4						オムニハス	
		環境生物学	1後	2		○											オムニハス	
		水環境学	1後	2		○												
		基礎水理学	1後	2		○											オムニハス	
		経済原論	1後	2		○											オムニハス	
		農業キャリア論	3前	2		○											兼1	
		農業生産学概論	1前	1		○				4							オムニハス	
		森林学概論	1前	1		○				1	1						オムニハス	
		食と農の経済概論	1前	1		○				1								
		農林生態科学概論	1前	1		○				3	4						オムニハス	
		小計(31科目)	—	12	44	0	—	—	—	6	3	2	2	0	兼8	—		
		専攻科目	卒業論文	4通	8				○									
			水環境保全学	2後	2		○											
			水圏生態学	2後	2		○											
			水質環境工学	3前	2		○											
			環境リスク学	2前	2		○											
バイオマス利用学	3前		2		○													
実用分析化学	2前		2		○													
水と緑の環境工学	3前		2		○													
土壌物理学	2前		2		○													
水理学 I	2前		2		○													
かんがい排水学 I	3前		2		○													
水質水文学	3前		2		○													
地域計画学	1後		2		○													
農地保全学	3後		2		○													
農地工学	2後		2		○													
環境汚染化学	1後		2		○													
流域水文学	2後		2		○													
卒論演習	4通		2			○												
地域環境科学入門	1前		1		○													
環境資源工学実習	2後		1				○											
外書講読 I	2前		1		○													
環境分析化学実験	2前		1				○											
専攻特別実験 I	3前			1			○											
専攻特別実験 II	3前			1			○											
専攻特別実験 III	3前			1			○											
水理学実験	3前			1			○											
土質理工学実験	3前		1			○												
土木材料学実験	3前		1			○												
汽水域生態学	3前		2		○													
土壌生態学	2後		2		○													
土壌生化学	2前		2		○													

専攻科目	植物栄養生態学	3前	2	○																	
	水圏植物学	2前	2	○																	
	水圏動物学	2前	2	○																	
	応用数学Ⅰ	1前	2	○																	
	植物環境工学	3前	2	○																	
	環境と複雑系	3前	2	○																	
	生物環境ロボティクス	2後	2	○																	
	構造力学の基礎	2前	2	○																	
	応用数学Ⅱ	1後	2	○																	
	測量学Ⅰ	2前	2	○																	
	測量学Ⅱ	2後	2	○																	
	構造力学	2後	2	○																	
	土質工学Ⅰ	2前	2	○																	
	土質工学Ⅱ	2後	2	○																	
	かんがい排水学Ⅱ	3後	2	○																	
	水利施設工学Ⅰ	3前	2	○																	
	コンクリート工学	3前	2	○																	
	水理学Ⅱ	2後	2	○																	
	構造設計論	3後	2	○																	
	応用数学Ⅲ	2前	2	○																	
水文統計学	3後	2	○																		
水利施設工学Ⅱ	3後	2	○																		
材料再生利用工学	3前	2	○																		
バイオマス変換工学	3前	2	○																		
生態環境科学実習	2後	1								○											
測量実習Ⅰ	2前	1								○											
測量実習Ⅱ	2後	1								○											
地域環境工学演習	3後	1								○											
外書講読Ⅱ	2後	1								○											
生態環境科学特論	2前	1								○											
環境資源工学特論	2後	1								○											
動物生理学	1前	2								○											
極限環境生物学	2後	2								○											
植物生理学	3後	2								○											
免疫学	2後	2								○											
遺伝子機能学	2後	2								○											
系統分類学	2前	2								○											
生物学実験	3後	2								○											
微生物工学	3前	2								○											
生物統計学	2後	2								○											
作物学	2前	2								○											
耕地栽培学	2前	2								○											
野菜園芸学	2前	2								○											
資源作物学	2後	2								○											
作物栄養学	2後	2								○											
熱帯農学	2後	2								○											
森林生態学	1後	2								○											
造林学	2後	2								○											
森林水文学	3前	2								○											
森林バイオマス資源学	3前	2								○											
森林学特論	3前	2								○											
土壌微生物学	2前	2								○											
総合防除学	2前	2								○											
昆虫学	2後	2								○											
農薬環境科学	2後	2								○											
授粉生態学	3前	2								○											
植物保護学	3後	2								○											
農業経済学	2後	2								○											
農業市場経済学	2後	2								○											

	農業経営学	2後		2		○													
	小計 (91科目)	—	46	125	0	—													
学部共通科目	就業体験Ⅰ	2前		1				○											
	就業体験Ⅱ	2前		1				○											
	臨海実習Ⅳ	2前		1				○											
	臨海実習Ⅴ	2前		1				○											
	森林実習Ⅴ	1前		1				○											
	特別施設園芸実習	2前		1				○											
	里山フィールド演習	1前		2			○												
	果樹園芸の里フィールド演習	1前		2			○												
	里海フィールド演習	1前		2			○												
	森林フィールド演習	1前		2			○												
	酪農フィールド科学演習	1前		2			○												
	森・里・海フィールド演習	1前		2			○												
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前		1				○											
	作物生産科学フィールド演習	1前		2			○												
	臨海資源科学演習	1前		2			○												
	食品資源フィールド科学演習	1前		2			○												
	傾斜地フィールド演習	1前		2			○												
	島根県立大学開講科目 (*)																		
	小計 (18科目)	—	0	27	0	—													—
合計 (140科目)		—	58	196	0	—													—
学位又は称号	学士 (生物資源科学)		学位又は学科の分野			理学関係		農学関係											

(別添2-2)

(用紙 日本工業規格 A 4 縦型)

教育課程等の概要 (事前伺い)

(生物資源科学部 地域環境科学科 地域工学教育コース) 【既設】

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手							
地域工学教育コース (J A B E E コース)	基盤科目 (学部共通科目)	細胞生物学	1前		2		○													オムニバス	
		遺伝学	1後		2		○			1	1			1						オムニバス	
		動物学	1後		2		○				3										オムニバス
		植物学	1後		2		○														オムニバス
		微生物学	1後		2		○			1	2										オムニバス
		物理学	1前	2			○				1	1									オムニバス
		化学	1前		2		○				2										兼2 オムニバス
		生物学	1前		2		○				1										オムニバス
		地学	1前		2		○														オムニバス
		生物資源と農学	1後		2		○														オムニバス
		地域社会セミナー	1後		2			○				1									オムニバス
		生態学	1後		2		○				1										オムニバス
		統計学	1前	2			○				1	1									オムニバス
		基礎フィールド演習	1通		2			○			1										オムニバス
		物理学基礎実験	2前		1					○											○
		地学基礎実習	2後		1					○											○
		物理化学	1後		2			○													
		有機化学Ⅰ	1後		2			○													
		基礎分子生物学	1後		2			○													オムニバス
		生物化学Ⅰ	1後		2			○			1										
基礎土壌学	1後		2			○							1								
農学原論	1後		2			○			3	4									オムニバス		
環境生物学	1後		2			○													オムニバス		
水環境学	1後		2			○															
基礎水理学	1後	2				○													オムニバス		

	経済原論	1後	2	○											オムニハス
	農業キャリア論	3前	2	○											兼1
	農業生産学概論	1前	1	○			4								オムニハス
	森林学概論	1前	1	○			1	1							オムニハス
	食と農の経済概論	1前	1	○			1								オムニハス
	農林生態科学概論	1前	1	○			3	4							オムニハス
	小計 (31科目)	—	6	50	0	—	6	3	2	2	0	兼8	—		
地域工学教育コース (J A B E E コース)	卒業論文	4通	8												
	卒論演習	4通	2												
	応用数学 I	1前	2	○											
	環境汚染化学	1後	2	○											
	水と緑の環境工学	3前	2	○											
	土壌物理学	2前	2	○											
	構造力学の基礎	2前	2	○											
	応用数学 II	1後	2	○											
	水理学 I	2前	2	○											
	測量学 I	2前	2	○											
	測量学 II	2後	2	○											
	構造力学	2後	2	○											
	土質工学 I	2前	2	○											
	土質工学 II	2後	2	○											
	かんがい排水学 I	3前	2	○											
	かんがい排水学 II	3後	2	○											
	水質水文学	3前	2	○											
	流域水文学	2後	2	○											
	水利施設工学 I	3前	2	○											
	コンクリート工学	3前	2	○											
	地域計画学	1後	2	○											
	農地保全学	3後	2	○											
	農地工学	2後	2	○											
	地域環境科学入門	1前	1	○											
	測量実習 I	2前	1				○								
	測量実習 II	2後	1				○								
	水理学実験	3前	1				○								
	土質理工学実験	3前	1				○								
	土木材料学実験	3前	1				○								
	地域環境工学演習	3後	1				○								
	水環境保全学	2後	2	○											
	水圏生態学	2後	2	○											
	汽水域生態学	3前	2	○											
	土壌生態学	2後	2	○											
	土壌生化学	2前	2	○											
	植物栄養生態学	3前	2	○											
	水質環境工学	3前	2	○											
	水圏植物学	2前	2	○											
	環境リスク学	2前	2	○											
	水圏動物学	2前	2	○											
バイオマス利用学	3前	2	○												
実用分析化学	2前	2	○												
植物環境工学	3前	2	○												
環境と複雑系	3前	2	○												
生物環境ロボティクス	2後	2	○												
水理学 II	2後	2	○												
構造設計論	3後	2	○												
応用数学 III	2前	2	○												
水文統計学	3後	2	○												
水利施設工学 II	3後	2	○												
生態環境科学実習	2後	1				○									
環境分析化学実験	2前	1				○									

専攻科目	環境資源工学実習	2後	1				○										
	外書講読Ⅰ	2前	1		○												
	外書講読Ⅱ	2後	1		○												
	生態環境科学特論	2前	1		○												
	環境資源工学特論	2後	1		○												
	生物学実験	3後	2				○										
	耕地栽培学	2前	2		○												
	農業経済学	2後	2		○												
	農業市場経済学	2後	2		○												
	農業経営学	2後	2		○												
	小計(62科目)	—	59	57	0	—			9	4	0	0	0	0	0	0	—
学部共通科目	就業体験Ⅰ	2前	1				○										
	就業体験Ⅱ	2前	1				○										
	臨海実習Ⅳ	2前	1				○										
	臨海実習Ⅴ	2前	1				○										
	森林実習Ⅴ	1前	1				○										
	特別施設園芸実習	2前	1				○										
	里山フィールド演習	1前	2			○											
	果樹園芸の里フィールド演習	1前	2			○											
	里海フィールド演習	1前	2			○											
	森林フィールド演習	1前	2			○											
	酪農フィールド科学演習	1前	2			○											
	森・里・海フィールド演習	1前	2			○											
	「晴れの国岡山」農場体験実習	1前	1				○										
	作物生産科学フィールド演習	1前	2			○											
	臨海資源科学演習	1前	2			○											
	食品資源フィールド科学演習	1前	2			○											
	傾斜地フィールド演習	1前	2			○											
	島根県立大学開講科目(*)																
小計(18科目)	—	0	27	0	—												
合計(111科目)	—	65	134	0	—												
学位又は称号	学士(生物資源科学)		学位又は学科の分野				理学関係 農学関係										